

【石川県地域がん情報管理事業報告書】

石川県におけるがん登録

(平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計)

平成22年3月

石 川 県

目 次

I 石川県地域がん情報管理事業の概要	1
1 目 的	1
2 実施体制の概要	3
3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物	5
II 地域がん登録の評価（登録精度）	6
1 届出の精度	6
2 診断の精度	7
III 罹患集計	8
1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率	8
2 年齢階級別罹患率	12
IV 死亡集計	17
1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	17
2 年齢階級別死亡率	21
V 受療状況	23
1 来院の動機	23
2 自覚症状の有無	24
3 病巣のひろがり	25
4 診断方法	26
5 治療方法	28
VI 地域特性	32
1 医療圏別罹患率及び死亡率	32
2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率	36
VII 全国推計値との比較	40
1 罹患率の比較	40
2 年齢調整罹患率の比較	42
3 死亡率の比較	43
4 年齢調整死亡率の比較	44
VIII 生存率集計	45
1 生存率集計対象及び方法	45
2 生存率の概要	46
3 生存率と受療状況	49
<参考> 二次医療圏域	50

付 表

I 罹患集計関係

表 1-1	罹患数、罹患率、年齢調整罹患率	51
表 1-2	部位別罹患率経年変化(平成4年～18年)	51
表 1-3	部位別年齢調整罹患率経年変化(平成4年～18年)	52
表 1-4	年齢階級別罹患数	53
表 1-5	年齢階級別罹患率	55
表 1-6	年齢階級別罹患順位及び罹患数	57

II 死亡集計関係

表 2-1	死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	58
表 2-2	部位別死亡率経年変化(平成4年～18年)	58
表 2-3	部位別年齢調整死亡率経年変化(平成4年～18年)	59
表 2-4	年齢階級別死亡率	60

III 受療状況関係

表 3-1	来院の動機	62
表 3-2	自覚症状の有無	63
表 3-3	病巣のひろがり	64
表 3-4	診断方法	65
表 3-5	治療方法	66
表 3-6	手術	67

IV 地域特性

表 4-1	医療圏別罹患数、罹患率、年齢調整罹患率 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	68
-------	--	----

V 全国推計値との比較関係

表 5-1	罹患率の比較	72
表 5-2	年齢調整罹患率の比較	72
表 5-3	死亡率の比較	73
表 5-4	年齢調整死亡率の比較	73

VI 生存率集計関係

表 6-1	部位別、性別5年生存率、5年相対生存率	74
表 6-2	検診群、外来群別5年生存率	74
表 6-3	病巣のひろがり別5年生存率	74

資 料

石川県地域がん情報管理事業実施要綱	75
石川県地域がん情報管理事業実施要領	76
石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領	77
石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則	78
石川県地域がん情報管理事業業務区分	80
障害対策及びセキュリティ対策	81
石川県生活習慣病検診等管理指導協議会設置要綱	82
石川県生活習慣病検診等管理指導協議会委員名簿	84
石川県悪性新生物届出票	85
記入・届出上の留意事項	86
石川県がん情報管理事業におけるがん登録届出医療機関名及び届出数	88

I 石川県地域がん情報管理事業の概要

- 1 目的
- 2 実施体系の概要
- 3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物

1 目的

がん(悪性新生物)は、図1に示すとおり、死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっている。その対策を実効的かつ効率的に推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上で極めて重要な課題である。そのためには「がん登録」によってがん罹患数等を的確に把握し、がんに関する動向、地域性等を踏まえて、がん対策を検討・実施することが必要不可欠である。

石川県地域がん情報管理事業では、県内で発症したがんについてその発病から治癒または死亡に至るまでの全経過に関する医療情報を多方面から集め、個々の悪性新生物ごとに集約し、これらの情報を使用して、次の諸活動に資することとしている。

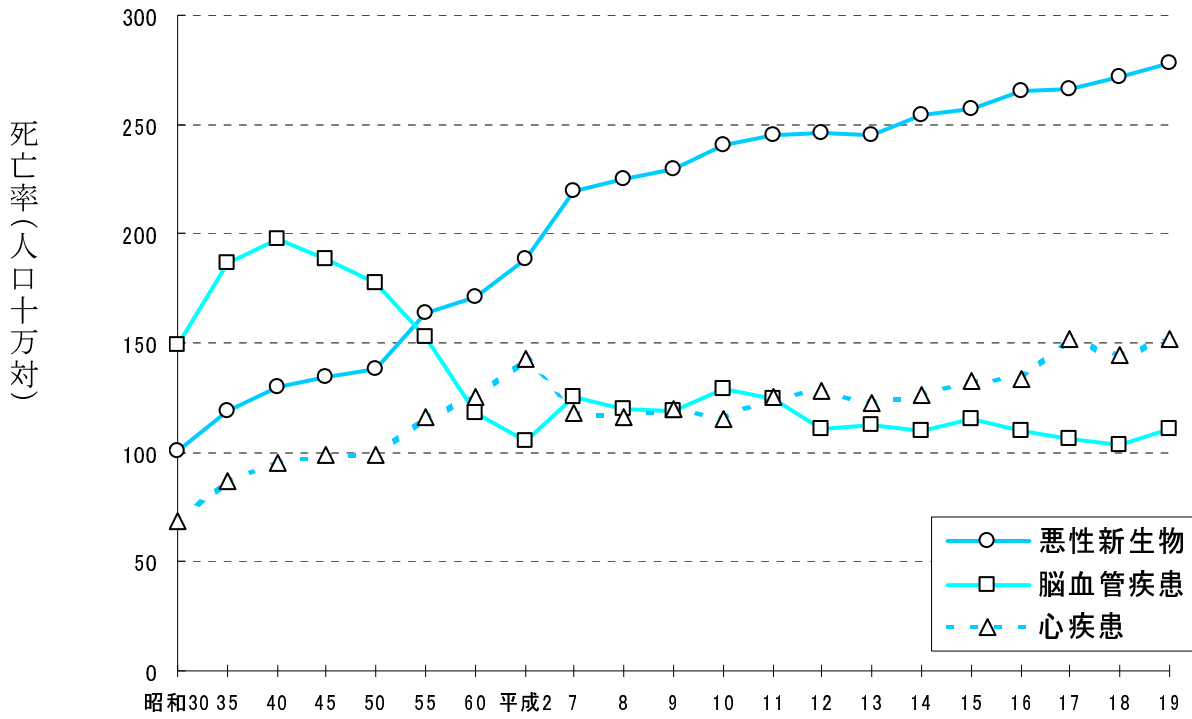
- (1) がん登録統計[※]の作成、解析、報告
 - ① 罹患数の集計及び罹患率の動向の把握
 - ② 受療状況の把握
 - ③ 生存率の動向の把握
 - ④ がん登録統計の解析と報告
- (2) がん統計^{※※}の活用
 - ① がんの予防、医療活動の企画と評価
 - ② 医療施設における対がん活動の援助
 - ③ がん予防、医療活動の普及、啓発
 - ④ 生活習慣、生活環境のモニタリングの一環
- (3) 地域がん情報の活用
 - ① がん検診の精度評価
 - ② 医療施設におけるがん医療の評価の支援
 - ③ 疫学研究への活用

注) 用語の定義

※ がん登録統計とは、がん登録(主治医や検診機関からの届出)によって集計される統計をいう。

※※ がん統計とは、上記のがん登録統計にがん死亡(人口動態調査死亡票によるもの)統計を加えた統計をいう。

図1 石川県の死因別死亡率の年次推移



【参考】平成7年に死因分類国際統計分類第10回修正ICD-10及び死亡診断書の改正(「疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」の注意書きが加えられた。)等の変更があった。

2 実施体制の概要

(1) 実施体制

この事業は、平成3年(1月から試行、10月から本格実施)から石川県が実施主体となり、社団法人石川県医師会、県内全医療施設及び金沢市保健所の協力を得て実施している(p4、実施体制図参照)。

(2) 事業の精度管理・評価、プライバシー保護等に関する指導、助言

地域がん情報管理事業を進めるにあたり「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」において、がん登録資料の利用に際し、個人の秘密保護及び情報管理に必要な事項を審議する。また、集計、解析結果の評価及びがんの動向等について専門的見地からの指導、助言を求めている(p4、実施体制図参照)。

(3) 地域がん情報の収集・集計・解析・報告等の方法

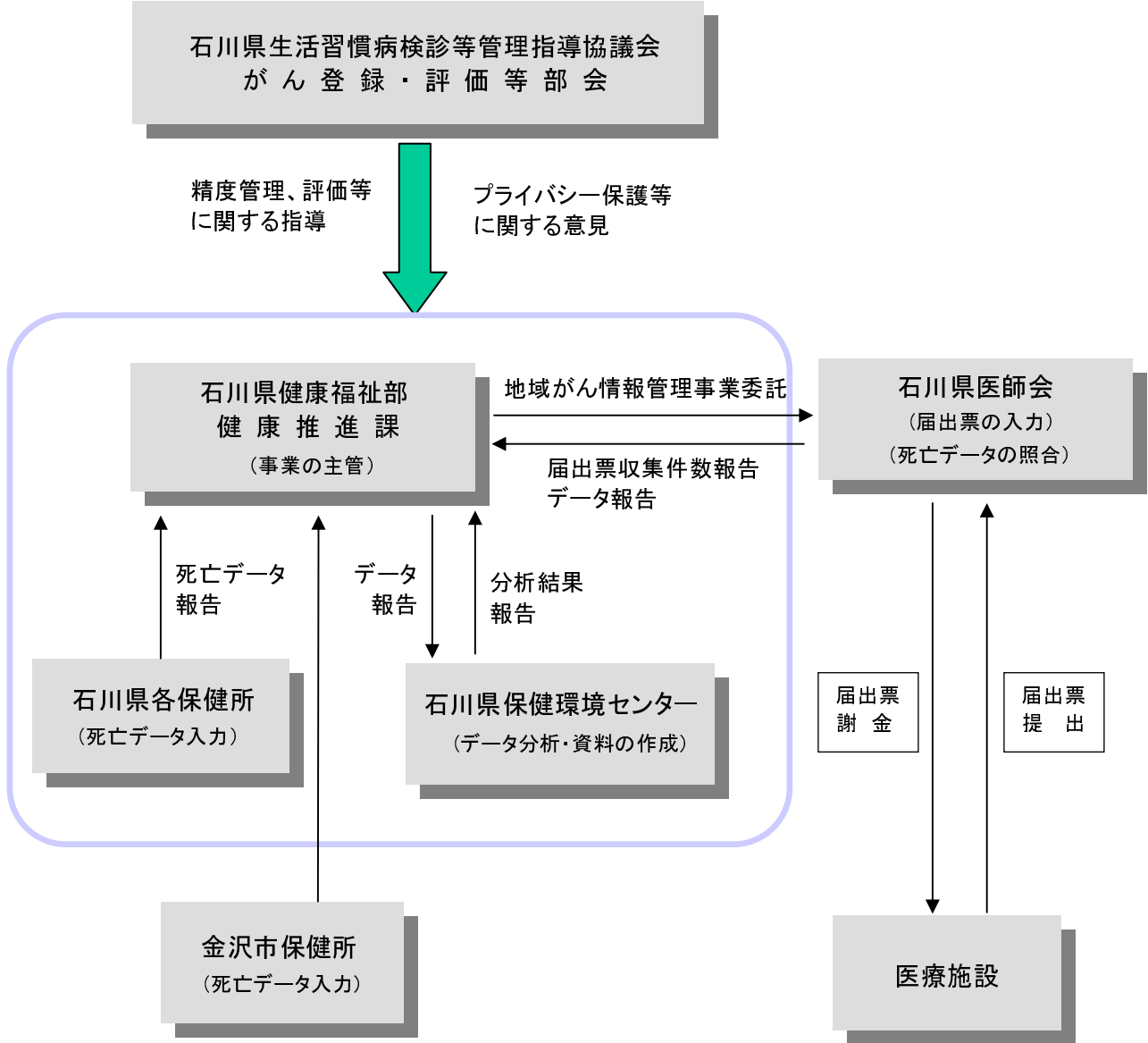
「地域がん情報」には大きく分けて①がん罹患・受療情報、②がん死亡情報、の2種類がある。このうち、がん罹患・受療情報の収集は県医師会に委託している。県医師会は県内医療施設の医師から届出される「石川県悪性新生物届出票」を精査、補足し、届出票の内容を入力している。

一方、がん死亡情報は県保健所及び金沢市保健所が人口動態調査死亡票の内容を入力し、県健康推進課がそれを取りまとめ、県医師会に送付する^{注)}。

県医師会は罹患情報と死亡情報との照合、同定を行い、当事業の対象情報を登録する。登録情報は、県保健環境センターに送付され、そこで罹患数(率)、受療状況、生存率等について集計、解析する。その結果は県健康推進課が報告書として公表する。

注) 死亡票の使用に関して厚生労働省「指定統計調査調査票使用」の許可を得て行っている。

地域がん情報管理事業の実施体制図



3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物

(1) 登録対象者

県内に住み、県内医療施設において登録対象がんに罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象とする（外国人を含む）。その登録は次の2つのルートによる。

① 罹患患者の登録

県内医療施設が登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」（以下、「届出票」という。）を県医師会で収集しその内容を入力する。

② 死亡患者の登録

保健所で人口動態調査死亡票(以下、「死亡票」という。)を収集しその内容を入力する。

(2) 対象となる悪性新生物

届出対象となる悪性新生物の範囲は「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正（ICD-10）」のうち原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位（以下、「登録部位」という。）とした。

なお、当事業は精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始したが、その罹患数合計は、全国推定罹患数（「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成10年度報告書：主任研究者 大島明）により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占める。

(3) 人口及び標準人口

罹患率・死亡率の計算には、国勢調査年次は国勢調査人口を用い、中間年は石川県推計人口を用いた。年齢調整の標準人口には昭和60年モデル人口を用いた。

(4) 平成18年標準集計

登録された悪性新生物のうち、平成18年1月1日から平成18年12月31日の間に罹患日を持つもの（死亡票のみで登録されたがんについては、死亡日を罹患日とした。）について、集計・解析した^{注)}。

注) 地域がん登録全国協議会「地域がん登録の手引き-改訂第5版」(2007)において、罹患数集計は登録精度向上のため罹患日を起点として罹患年+1年の期間を必要とするとしている。

表1 届出対象部位

国際基本分類 (ICD-10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう(嚢)及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

II 地域がん登録の評価（登録精度）

- 1 届出の精度
- 2 診断の精度

1 届出の精度

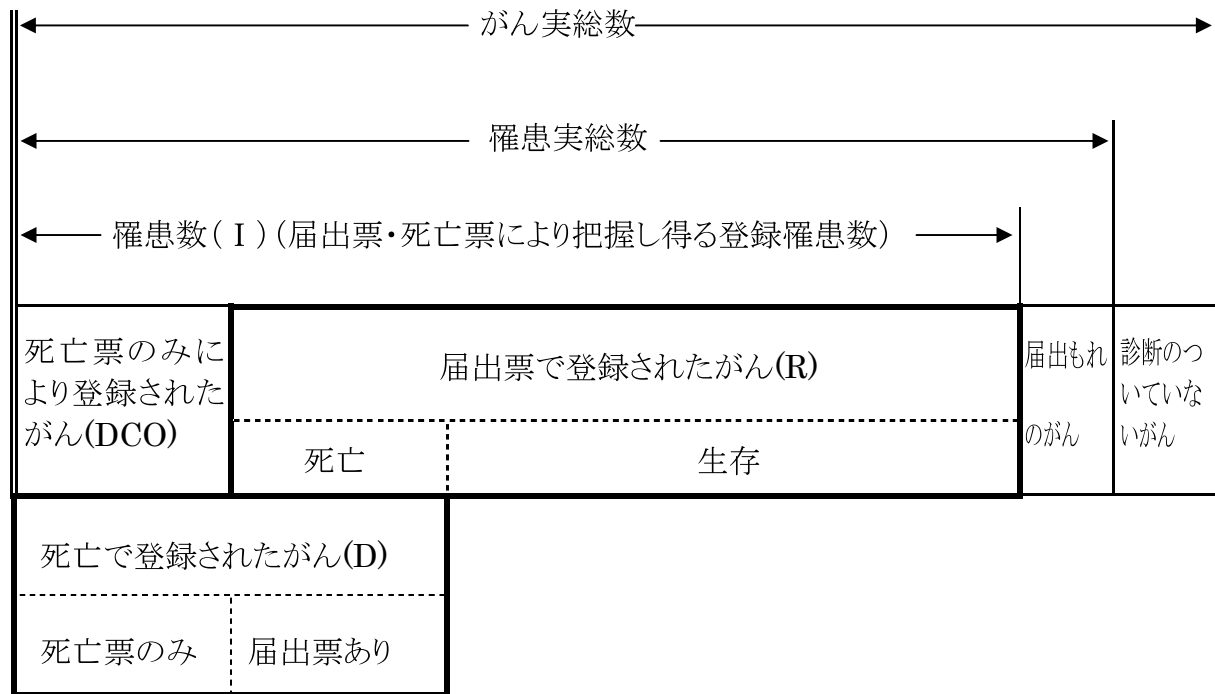
(1) 死亡票のみによる登録の割合＝DCO割合（Death Certificate Only）^{注1)}

平成 18 年中の罹患数は 3,878(平成 17 年 3,455)、そのうち死亡票のみによる登録数は 1,555(同 1,622)、DCO割合は 40.1%(同 46.9%)であり、平成 17 年より 6.8 ポイント減少した。

(2) 罹患数とがん死亡数との比＝I/D比（Incidence/Death）^{注2)}

平成 18 年中の罹患数は 3,878(平成 17 年 3,455)、死亡数は 2,428(同 2,357)で、I/D比は 1.60(同 1.47)となっている。

図2 がん総数と登録数



注1) 届出の精度は、対象地域の実際の罹患数のうち、どれだけ登録されているかによって判断すべきであるが、これを常時調査することは容易ではない。そこで、「罹患数の中で、死亡票のみで登録されたものがどれだけあるか(DCOの割合)」によって測定する方法が諸外国で広く用いられている。この指標は、生存例の届出もれの程度を間接的に示す負の指標であり、数字が小さいほど届出もれが少ないと考えられ、この率が20%未満になることが一応の目標とされている。

(厚生省地域がん登録研究班「地域がん登録の手引き」改訂第4版(1999)より)

注2) 罹患数の信頼度の指標として、「罹患数とがん死亡者数との比」も観察する必要がある。全がんについてこの比の値が1.5以下の場合、届出もれのあることが推定される。

(厚生省地域がん登録研究班「地域がん登録の手引き」改訂第4版(1999)より)

2 診断の精度

組織診で確かめられた者の割合^{注)}

平成18年の罹患数は3,878(平成17年3,455)、組織診実施数は1,584(同1,374)、組織診で確かめられた者の割合は40.8%(同39.7%)であり、平成17年より1.1ポイント増加した。

また、罹患数のうちDCOを除いたものを分母とした、組織診で確かめられたものの割合は68.2%(同74.8%)であり、平成17年より6.6ポイント減少した。

注) がんの診断は、最終的には組織診による。そこで、国際的には、組織診で確かめられたがんが、登録した罹患数の中でどれだけを占めるかを調べ、これを診断精度の指標としている。

また、届出のない(死亡票のみ)がんについては、組織診が行われたかどうか明確でない場合が多いため、届出票のあるもの(罹患数のうちDCOを除いたもの)を分母とし、組織診のあるものを分子として、この割合を求める方法もとられている。

表2 石川県における登録精度総括表(平成4年から18年)

	罹患数		組織診実施数 (H)	死亡数 (D)	届出精度		診断精度	
	(I)	死亡票のみで登録された数 (DCO)			DCO割合 (DCO/I) (%)	I/D値 (I/D)	組織診で確かめられた者の割合 (H/I) (%)	DCOを除いた者を分母とした組織診で確かめられた者の割合 (H/R) (%)
H18	3,878	1,555	1,584	2,428	40.1	1.60	40.8	68.2
H17	3,455	1,622	1,374	2,357	46.9	1.47	39.7	74.8
H16	3,011	1,635	1,255	2,398	54.3	1.26	41.7	91.2
H15	2,733	1,645	847	2,317	60.2	1.18	31.0	77.8
H14	3,125	1,600	1,224	2,317	51.2	1.35	39.2	80.3
H13	2,998	1,553	1,173	2,237	51.8	1.34	39.1	81.2
H12	2,947	1,524	933	2,256	51.7	1.31	31.7	65.6
H11	3,180	1,425	1,164	2,227	44.8	1.43	36.6	66.3
H10	3,229	1,401	1,214	2,189	43.4	1.48	37.6	66.4
H9	3,262	1,377	1,172	2,092	42.2	1.56	35.9	62.2
H8	3,189	1,343	1,222	2,078	42.1	1.53	38.3	66.2
H7	3,290	1,295	1,292	1,994	39.4	1.65	39.3	64.8
H6	3,337	1,056	1,504	1,885	31.6	1.77	45.1	65.9
H5	3,274	1,136	1,432	1,847	34.7	1.77	43.7	67.1
H4	3,263	1,206	1,311	1,793	37.0	1.82	40.2	63.7

I=罹患数 DCO=罹患数中死亡票のみで登録されているもの
H=組織診実施数 D=死亡数
R=罹患数中届出票で登録されているもの((I)-(DCO))

【参考】登録精度の全国状況(平成12年)

厚生省がん研究助成金「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成15年度報告書(主任研究者 大島 明)によれば、全国13府県市の登録精度の平均値は以下のとおりである。

DCO/I : 19.9% (5.6% - 36.3%) I/D : 1.79 (1.53 - 2.45)
H/I : 68.5% (51.0% - 86.4%) H/R : 85.4% (65.1% - 96.0%)

Ⅲ 罹患集計

1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

2 年齢階級別罹患率

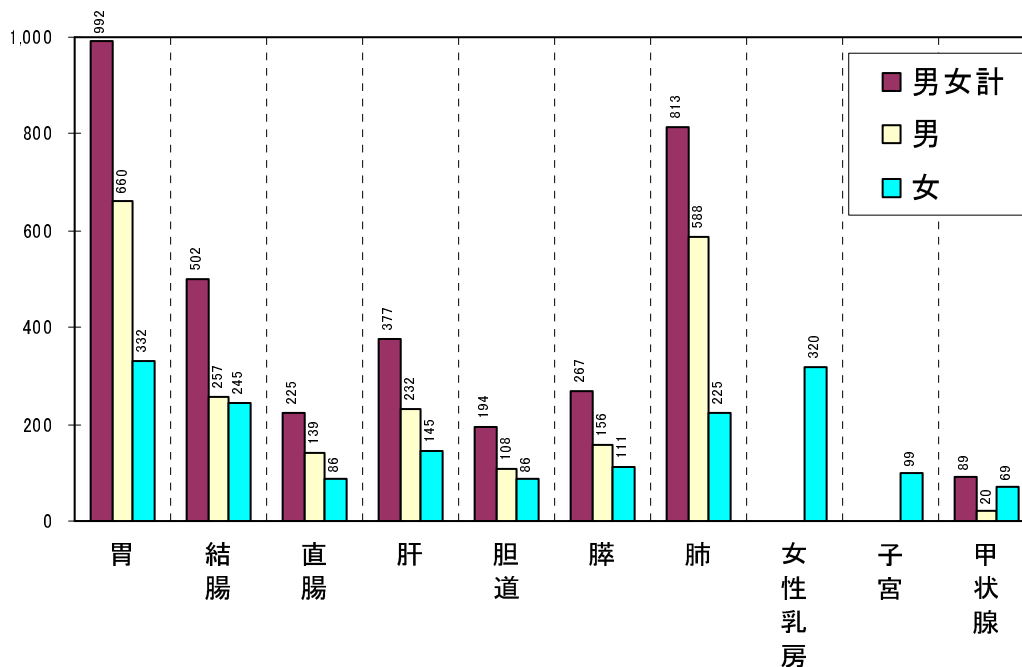
1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

(1) 罹患数（付表 1-1）

平成18年の罹患数は、男女計3,878(男8部位、女10部位合計)であり、男は2,160(8部位)、女は1,718(10部位)であった。部位別では、胃(992)、肺(813)、結腸(502)の順であった。また、結腸と直腸をあわせて大腸とすると、胃(992)、肺(813)、大腸(727)の順であった。

性別では、男は胃(660)、肺(588)、結腸(257)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(396)とすると胃、肺、大腸の順であった。女は胃(332)、乳房(320)、結腸(245)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(331)とすると、胃、大腸、乳房の順であった。

図3-1 罹患数

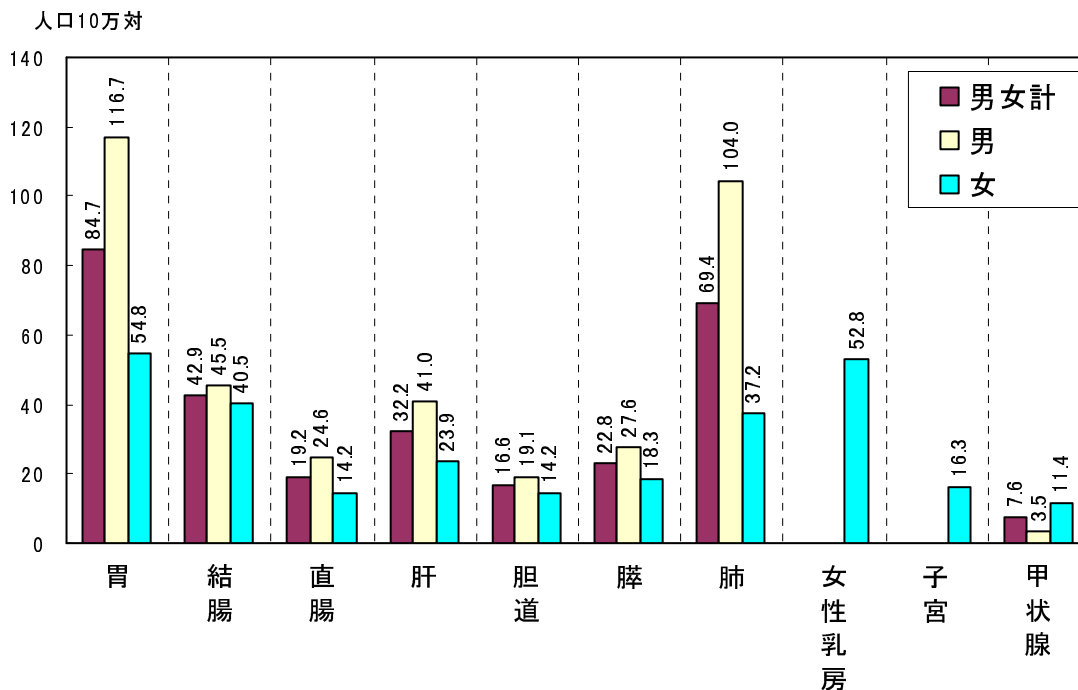


(2) 罹患率（付表 1-1）

平成18年の罹患率(人口10万対)は男女計で胃(84.7)、肺(69.4)、結腸(42.9)の順であった。また、結腸と直腸をあわせて大腸(62.1)とすると胃、肺、大腸の順であった。

性別では、男は胃(116.7)、肺(104.0)、結腸(45.5)、肝(41.0)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(70.1)とすると胃、肺、大腸の順となる。女は胃(54.8)、乳房(52.8)、結腸(40.5)、肺(37.2)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(54.7)とすると胃、大腸、乳房、肺の順であった。

図3-2 罹患率

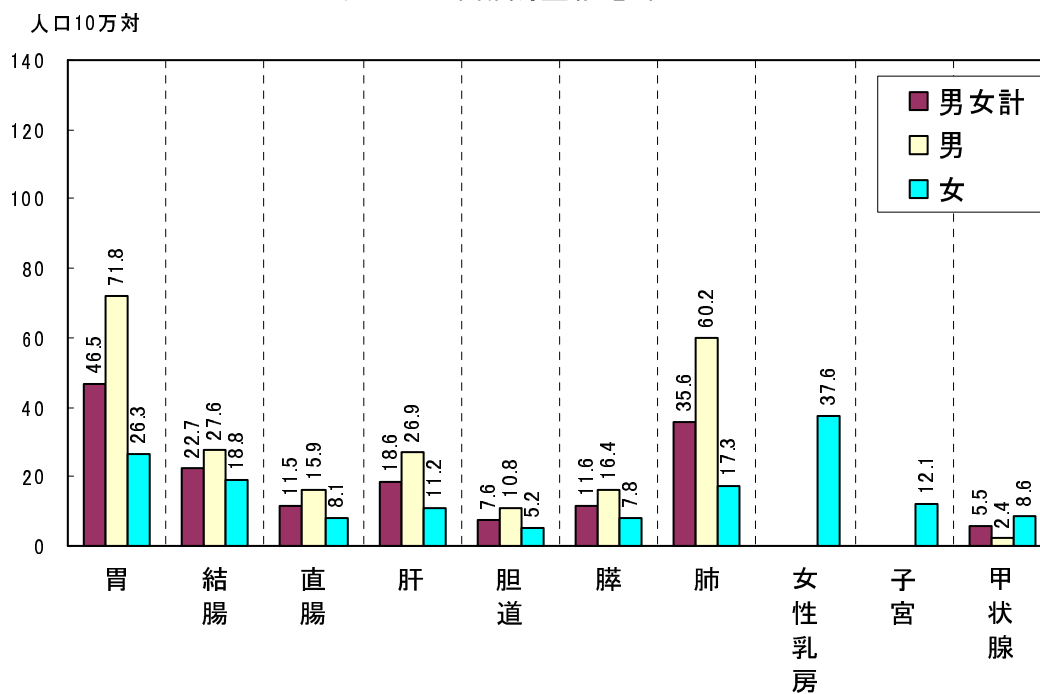


(3) 年齢調整罹患率 (附表 1-1)

直接法による年齢調整罹患率(人口 10 万対、昭和 60 年モデル人口使用)は、男女計では、胃(46.5)、肺(35.6)、結腸(22.7)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(34.2)とすると胃、肺、大腸の順であった。

性別では、男は胃(71.8)、肺(60.2)、結腸(27.6)、肝(26.9)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(43.5)とすると胃、肺、大腸の順となる。女は乳房(37.6)、胃(26.3)、結腸(18.8)、肺(17.3)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(26.9)とすると乳房、大腸、胃の順となる。

図3-3 年齢調整罹患率



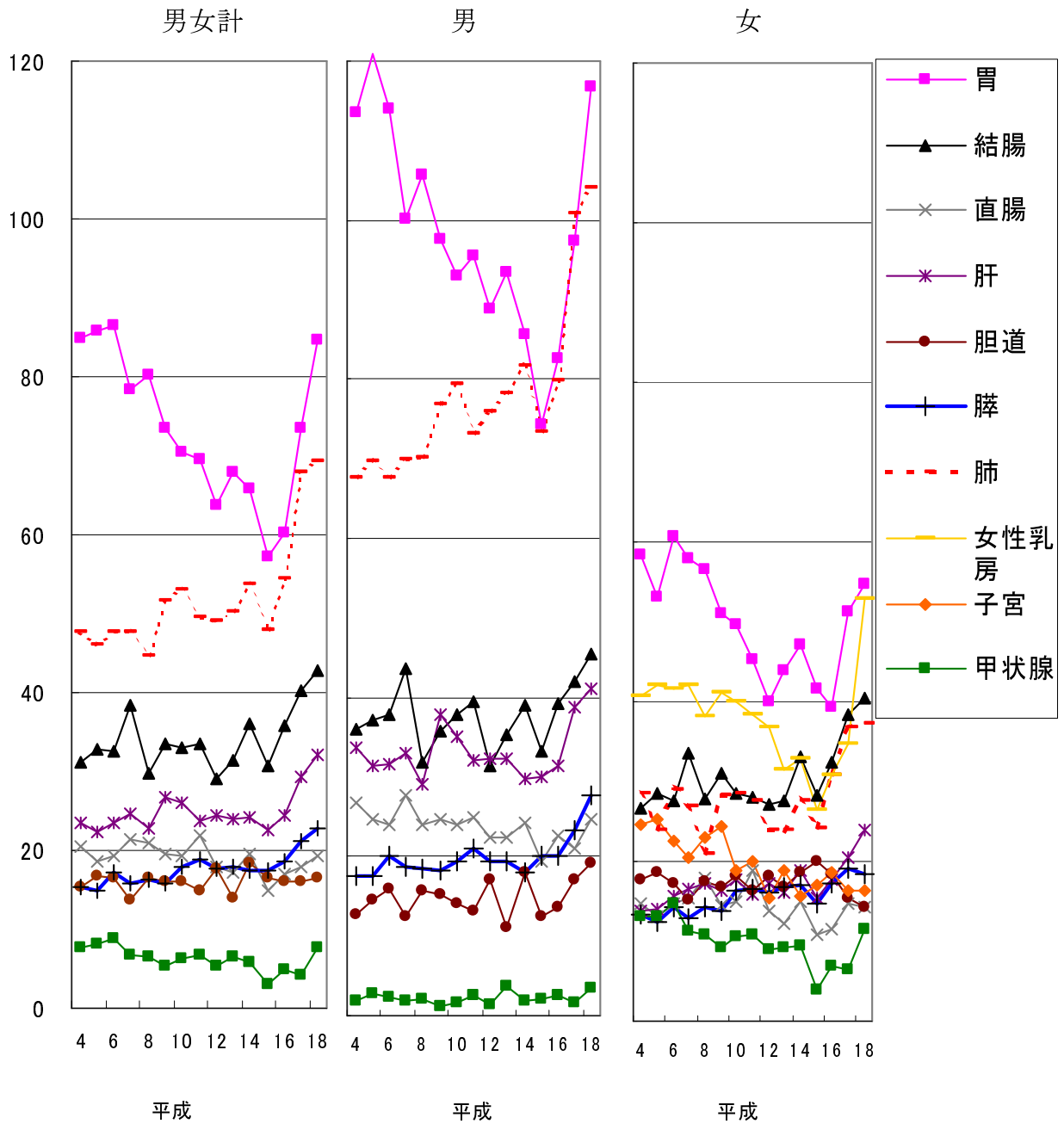
(4) 罹患率の経年変化(平成4年～18年) (付表 1-2)

罹患率の経年変化を図 3-4 に示した。

罹患率が増加に転じているが、近年、届出数が急激に増加したことによる影響が考えられる。

図 3-4 罹患率の経年変化

人口 10 万対



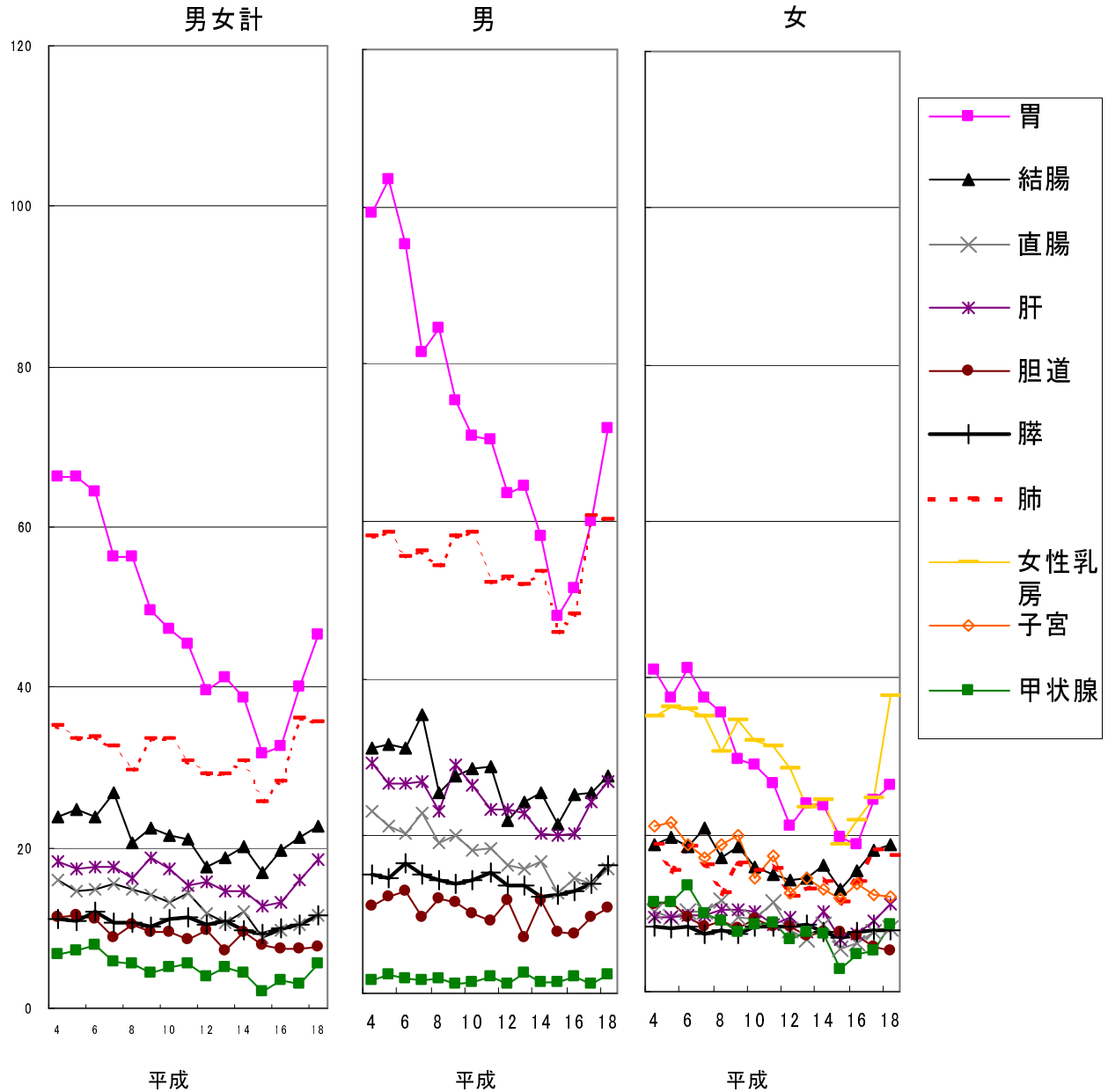
(5) 年齢調整罹患率^{注)}の経年変化(平成4年～18年)(付表1-3)

年齢調整罹患率の経年変化を図3-5に示した。

年齢調整罹患率が増加に転じているが、近年、届出数が急激に増加したことによる影響が考えられる。

図3-5 年齢調整罹患率の経年変化

人口10万対



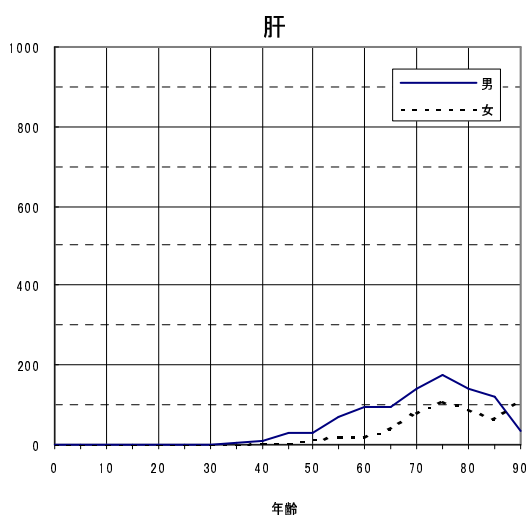
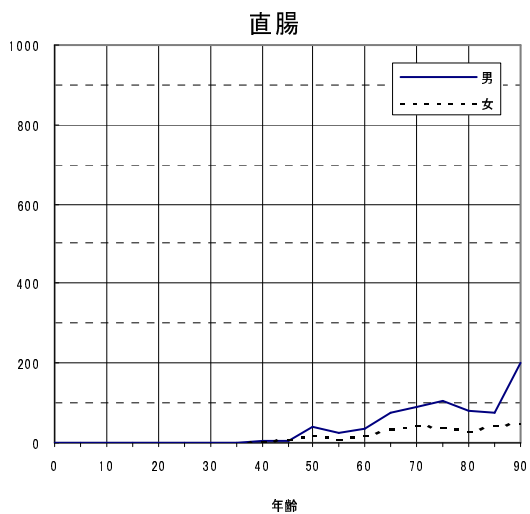
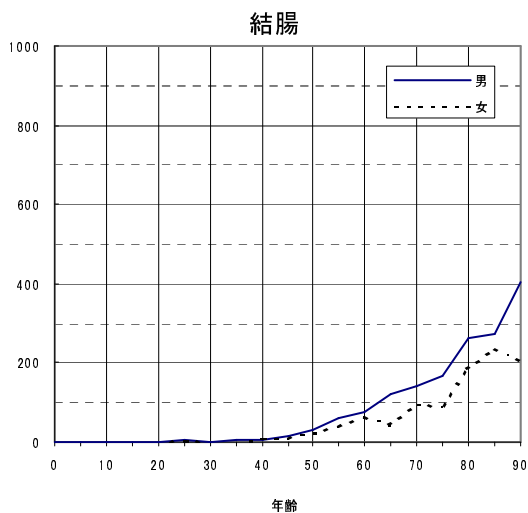
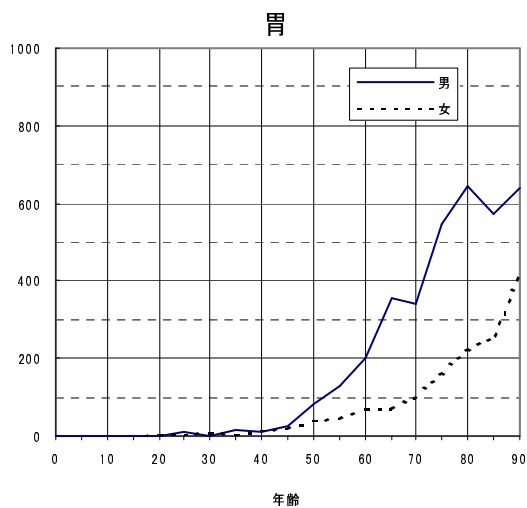
注) 罹患数を全人口で割ったものが(粗)罹患率であるが、(粗)罹患率は高齢者が多い方が高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするのには適当な指標とはいえない。そこで、年齢構成を基準人口に補正して計算したのが年齢調整罹患率である。

2 年齢階級別罹患率

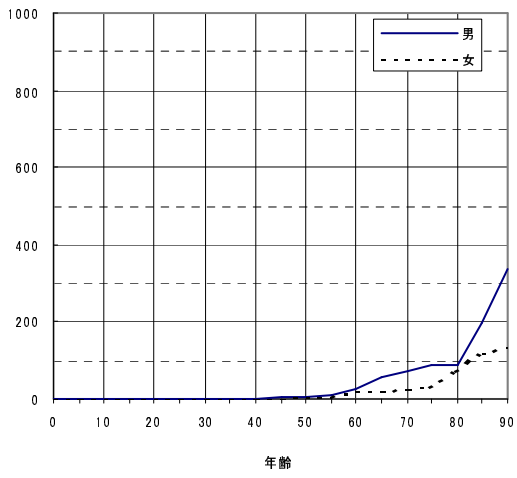
(1) 年齢階級別罹患率（付表 1-5）

男女ともほぼ加齢に従って増加の傾向を示している。特に肺、胃においては顕著である。女では、乳房及び子宮は加齢による変化が少ない。

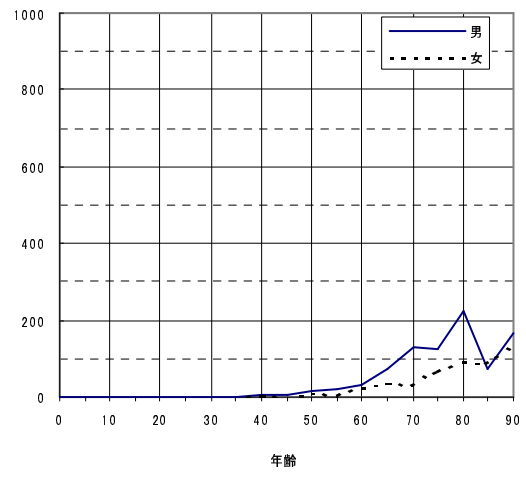
図 3-6 男女別年齢階級別罹患率(人口 10 万対)



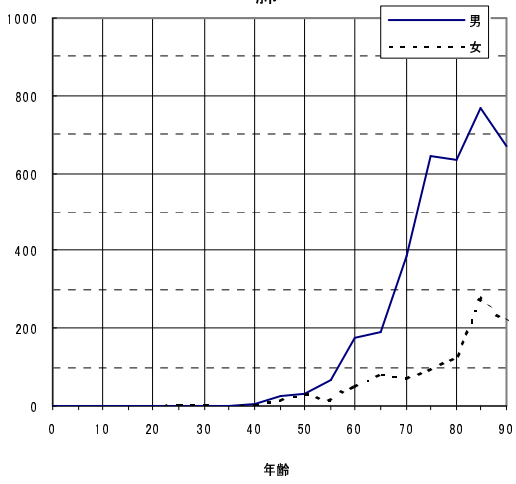
胆道



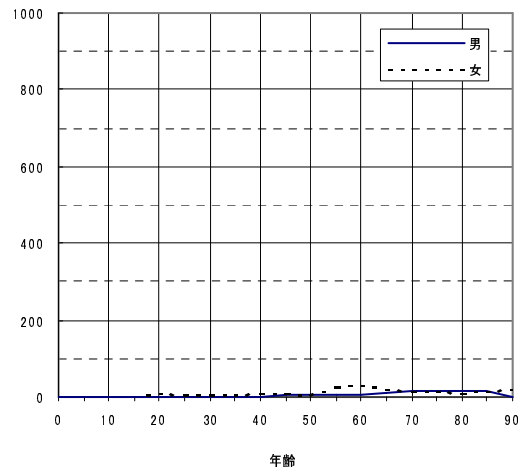
脾



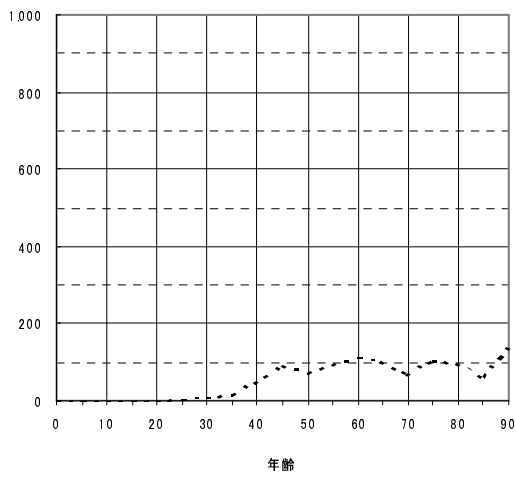
肺



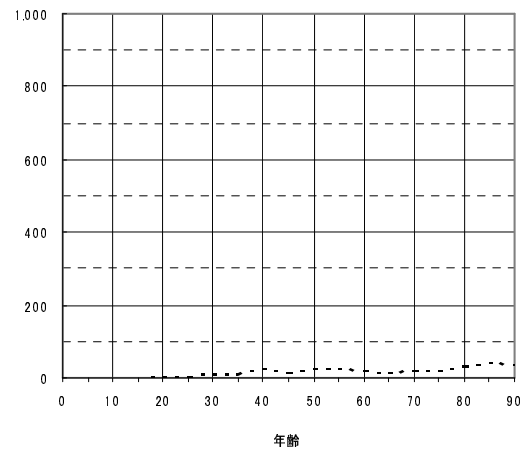
甲状腺



女性乳房



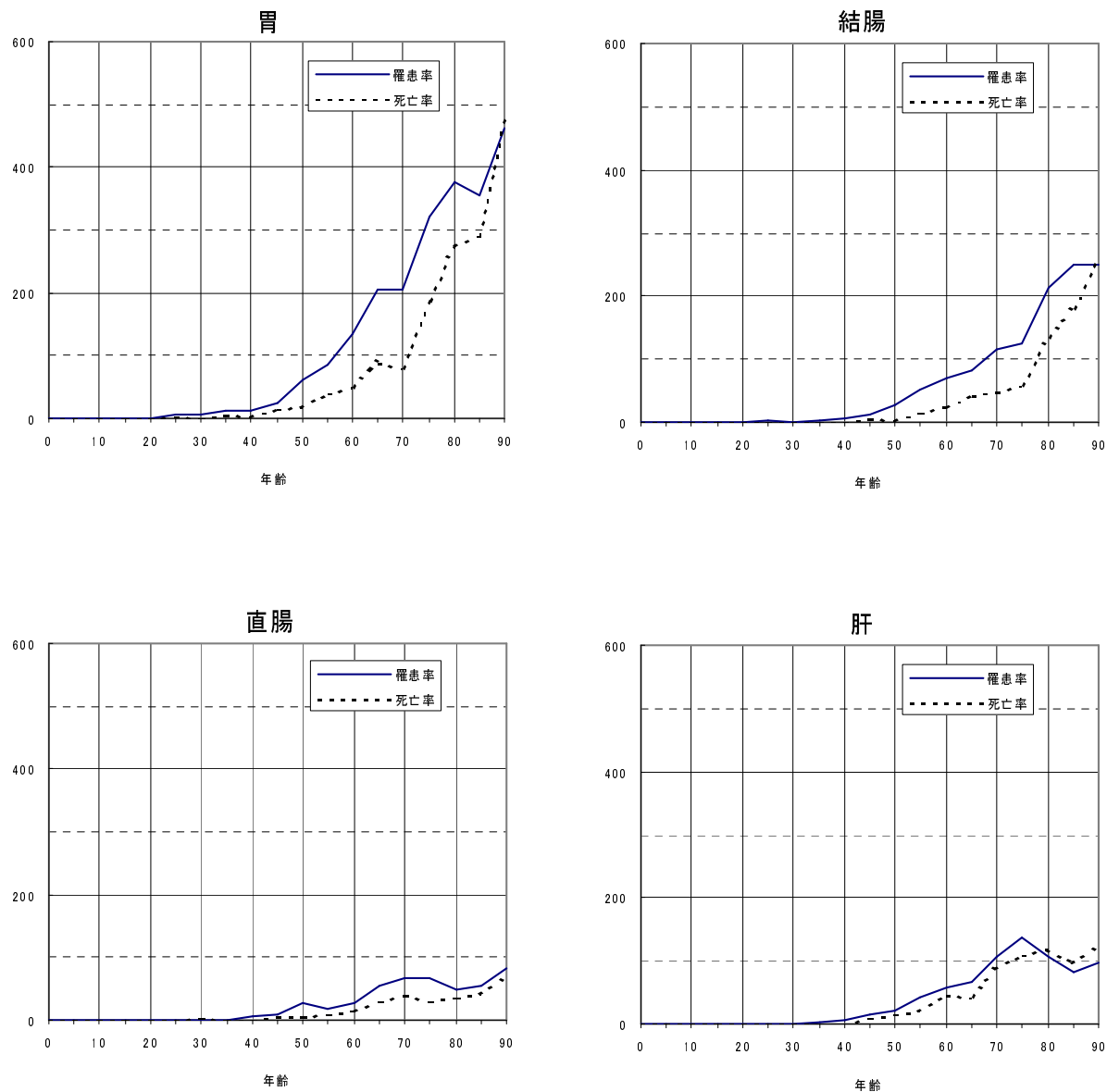
子宮



(2) 年齢階級別罹患率、死亡率比較（付表 1-5、2-4）

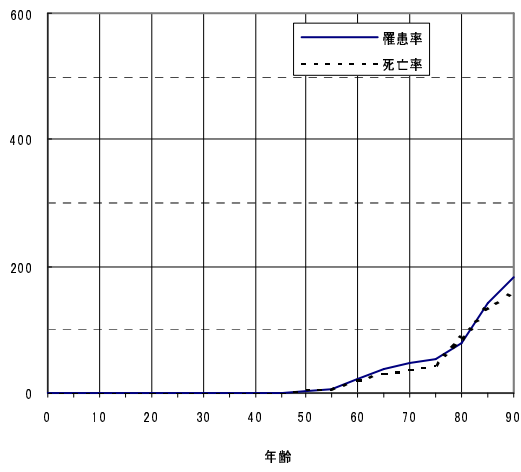
死亡に関する集計結果はIV章で記載するが、部位別の年齢階級別罹患率と死亡率の比較は図 3-7 のとおりであった。

図 3-7 年齢階級別罹患率、死亡率（男女計）（人口 10 万対）

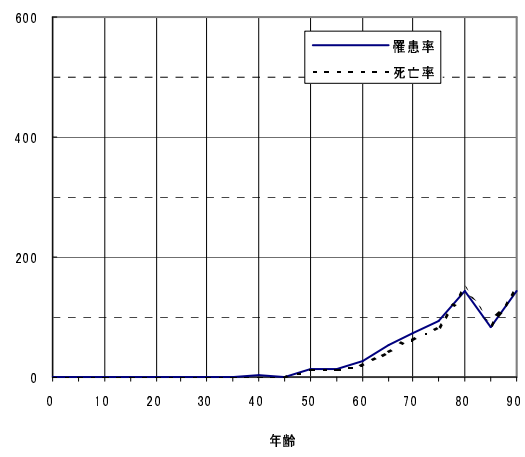


注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

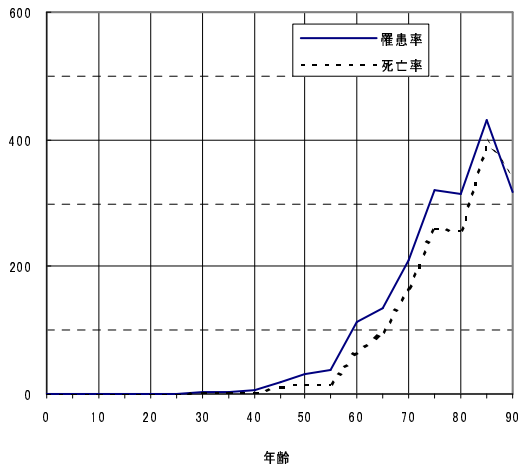
胆道



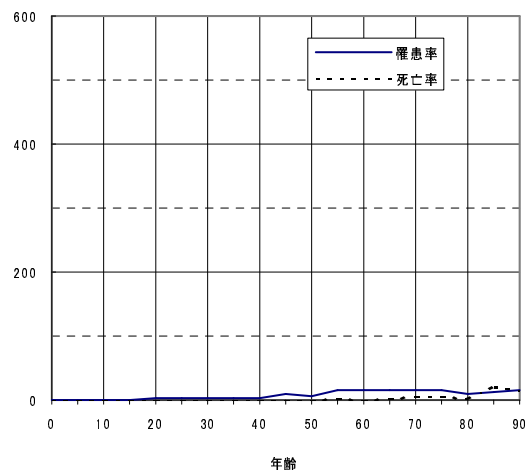
脾



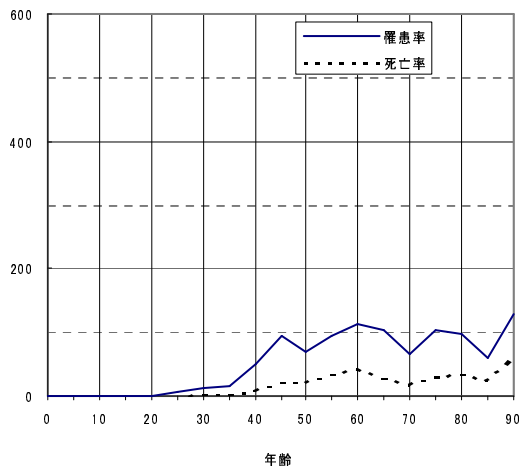
肺



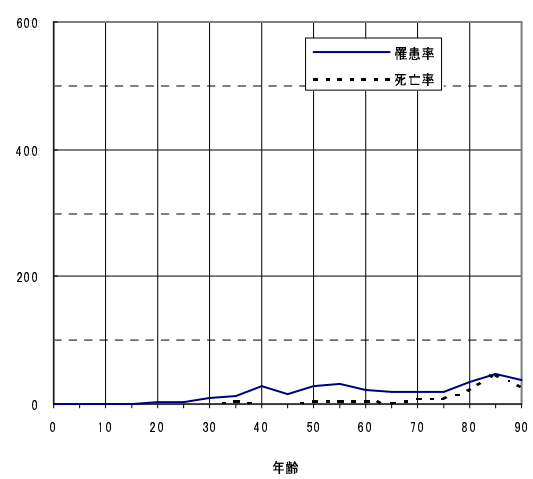
甲状腺



女性乳房



子宮



注) 女性乳房及び子宮の母数は、女性人口

(3) 死亡数に対する罹患数の割合

死亡数に対する罹患数の割合を部位別にとりまとめた(表3)。この割合は部位ごとの生存率の相対的な大小の傾向を示唆するものであり、割合の大きい方が生存率が高いことを示唆すると考えられる。

男女計で最も高いのは甲状腺であり、次いで結腸、直腸、胃といった消化管が続き、膵、胆道は1に近い値となっている。女性乳房、子宮も高い値となっており、生存率が高いことを示唆している。

表 3 死亡数に対する罹患数の割合

	男女計	男	女
胃	1.80	1.84	1.72
結腸	1.98	2.32	1.71
直腸	1.80	1.83	1.76
肝	1.28	1.36	1.16
胆道	1.10	1.15	1.05
膵	1.09	1.17	0.99
肺	1.29	1.29	1.31
女性乳房			3.20
子宮			3.00
甲状腺	4.45	2.86	5.31

IV 死亡集計

1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡

2 年齢階級別死亡率

1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

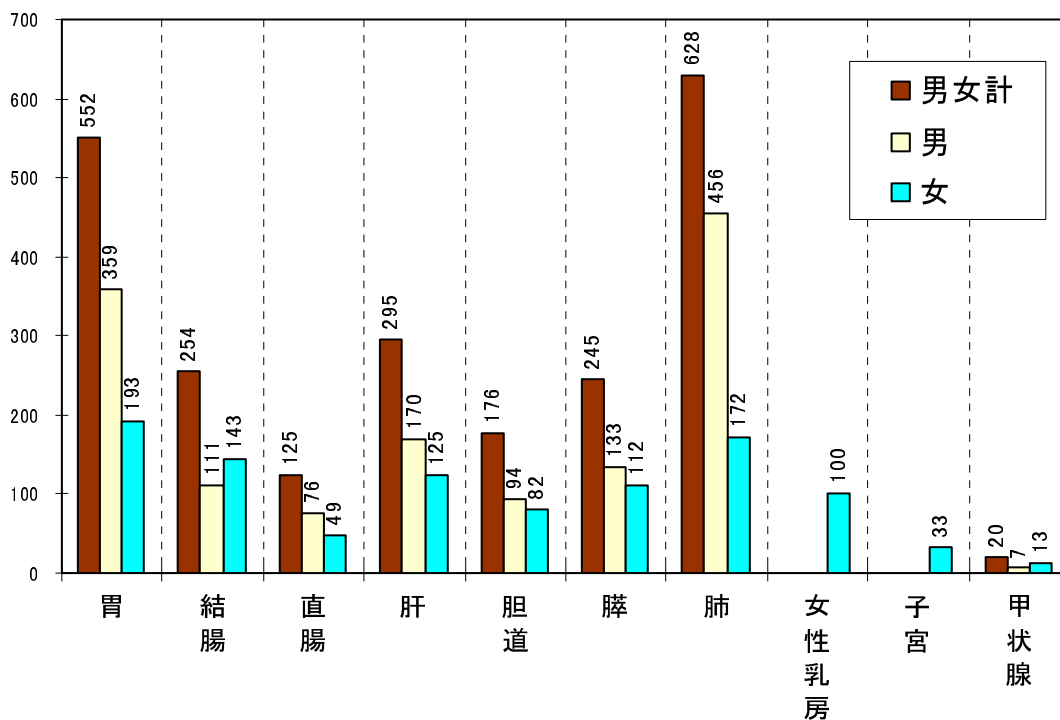
(1) 死亡数（付表 2-1）

平成 18 年のがん死亡数は男女計で 2,428（男 8 部位、女 10 部位合計）であり^{注）}、部位別では肺(628)、胃(552)、肝(295)、結腸(254)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(379)とすると肺、胃、大腸の順となる。

性別では、男は 1,406 であり、部位別では肺(456)、胃(359)、肝(170)、結腸(111)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(187)とすると肺、胃、大腸の順となる。

女は 1,022 であり、部位別では胃(193)、肺(172)、結腸(143)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(192)とすると胃、大腸、肺の順となる。

図 4 - 1 死亡数



注) データには外国人を含めているため、衛生統計年報(平成 18 年、石川県健康福祉部)の数値とは一部異なる。

(2) 死亡率、年齢調整死亡率（付表 2-1）

死亡率(人口 10 万対)は、男女計で最も高いのは肺(53.6)、胃(47.1)、肝(25.2)の順となっている。

性別で見ると、男の部位別では肺(80.7)、胃(63.5)、肝(30.1)の順となっている。女の部位別では胃(31.9)、肺(28.4)、結腸(23.6)の順となっている。

直接法による年齢調整死亡率(昭和 60 年モデル人口使用)は、前記死亡率と男女計・男性の順位は同じであるが、女の順位は胃、肺、乳房の順となっている。

図 4 - 2 死亡率

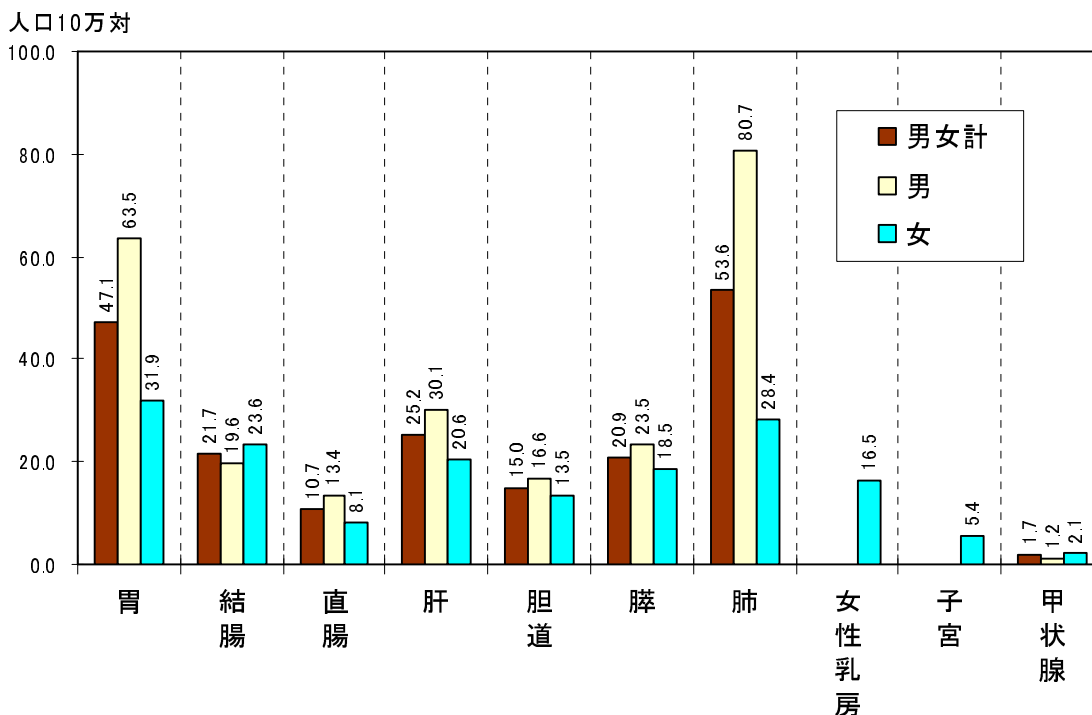
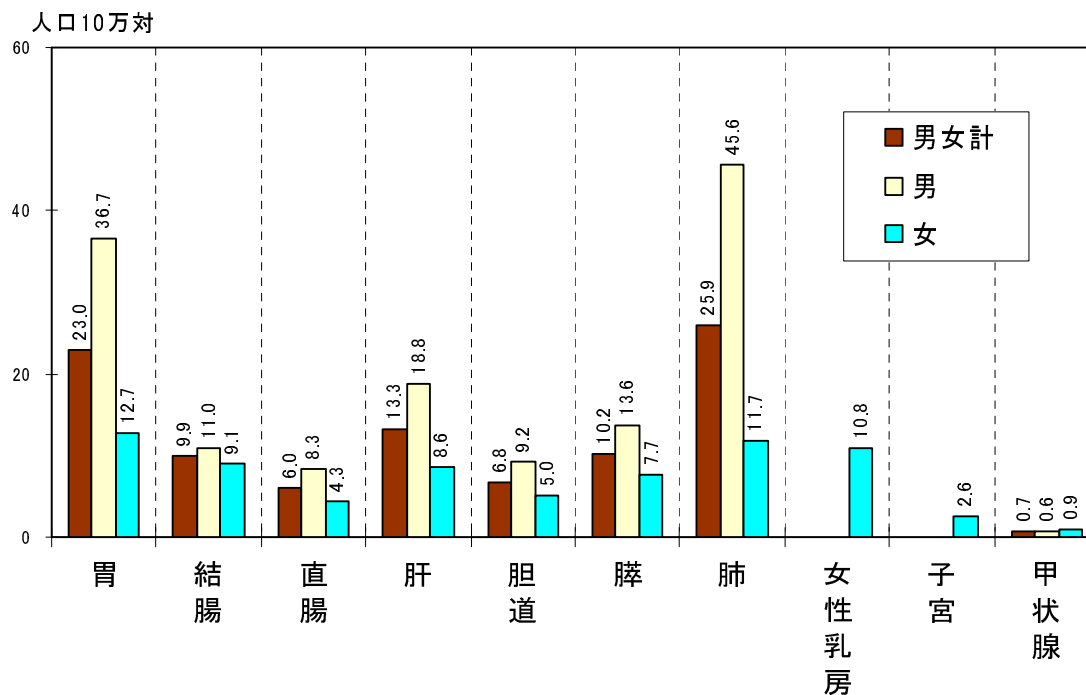


図 4 - 3 年齢調整死亡率

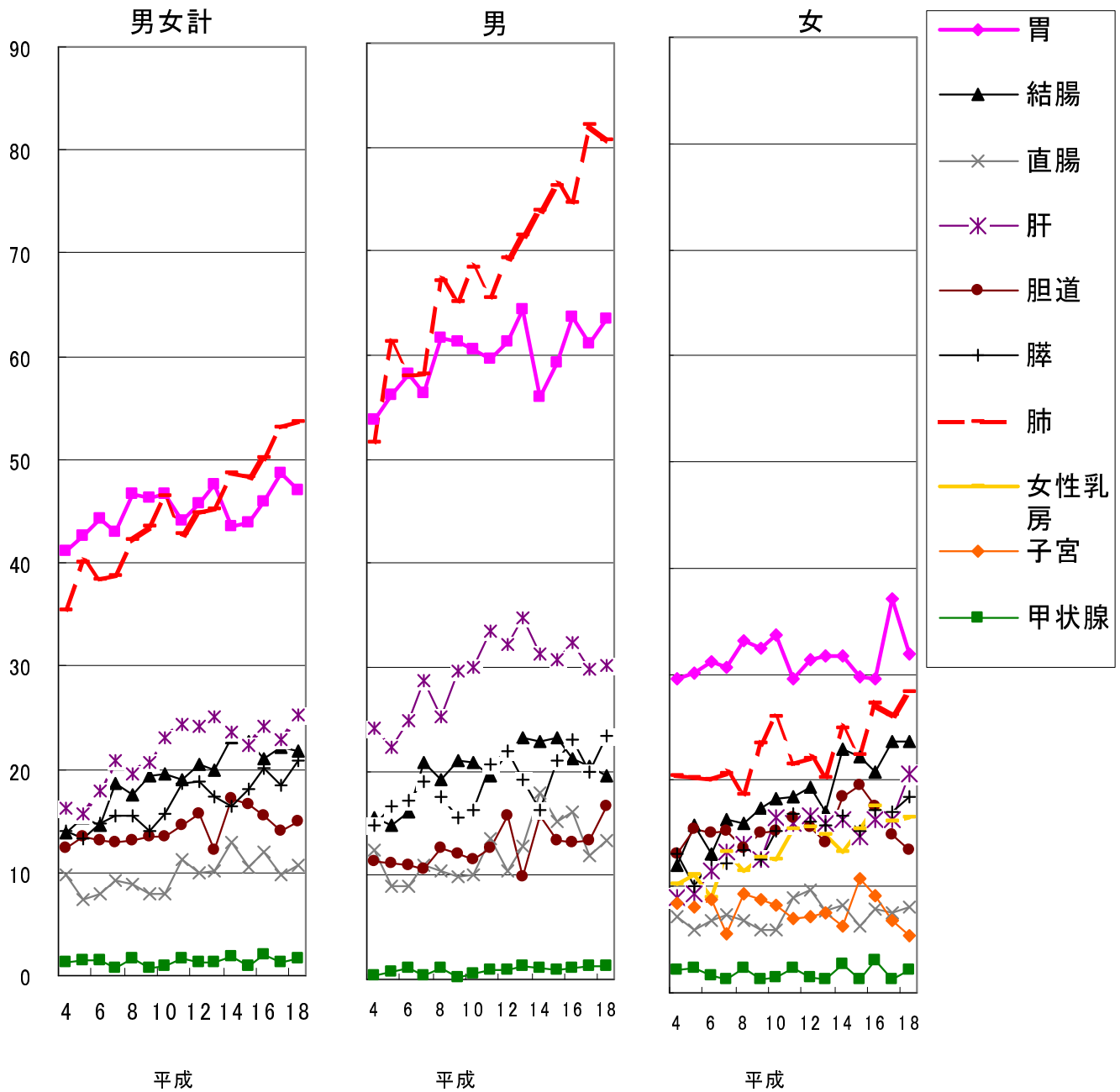


(3) 死亡率の経年変化(平成4年～18年)(付表2-2)

死亡率の経年変化を図4-4に示した。

図4-4 死亡率の経年変化

人口10万対

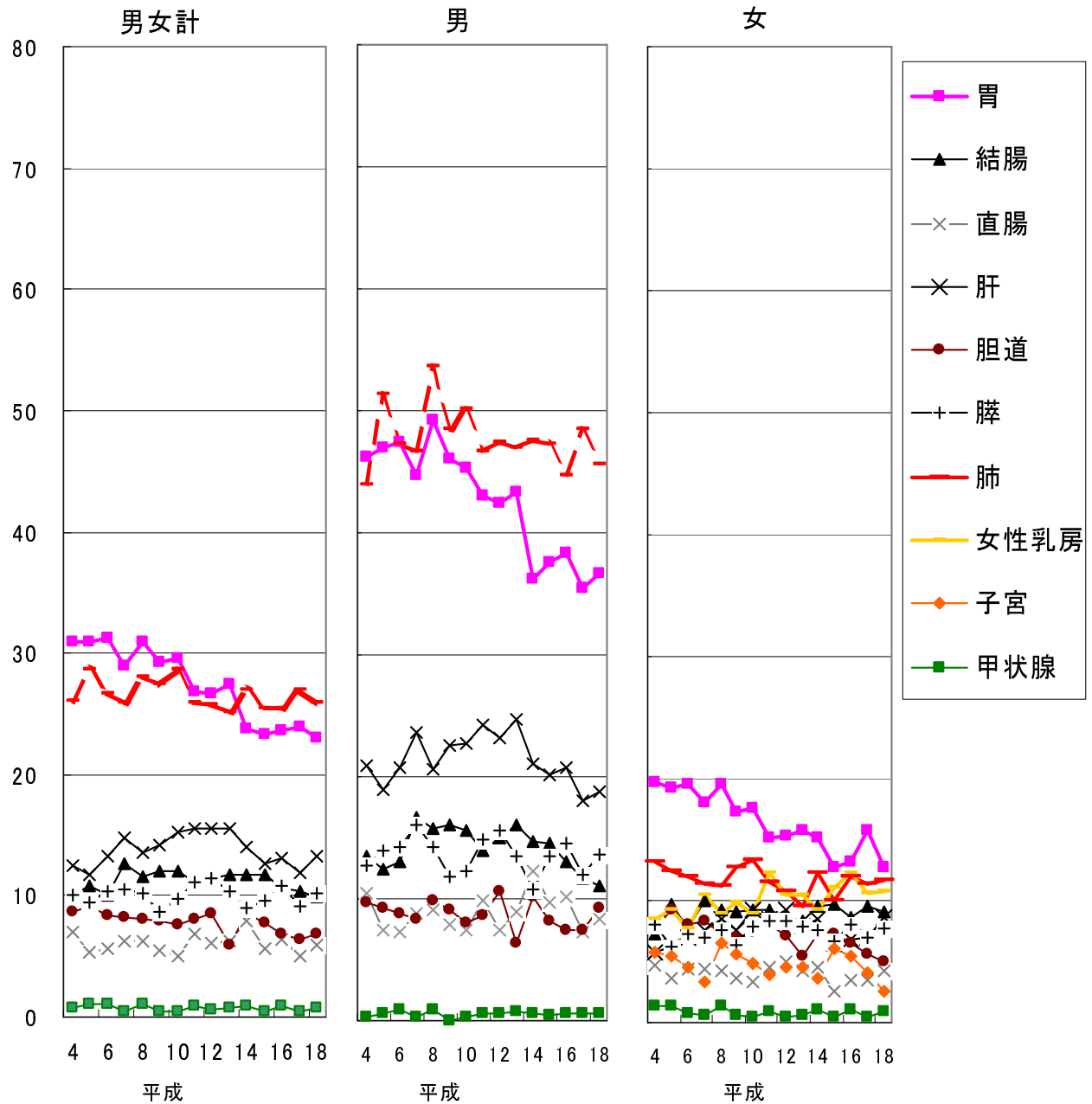


(4) 年齢調整死亡率^{注)}の経年変化(平成4年～18年)(付表2-3)

年齢調整死亡率の経年変化を図4-5に示した。

図4-5 年齢調整死亡率の経年変化

人口10万対



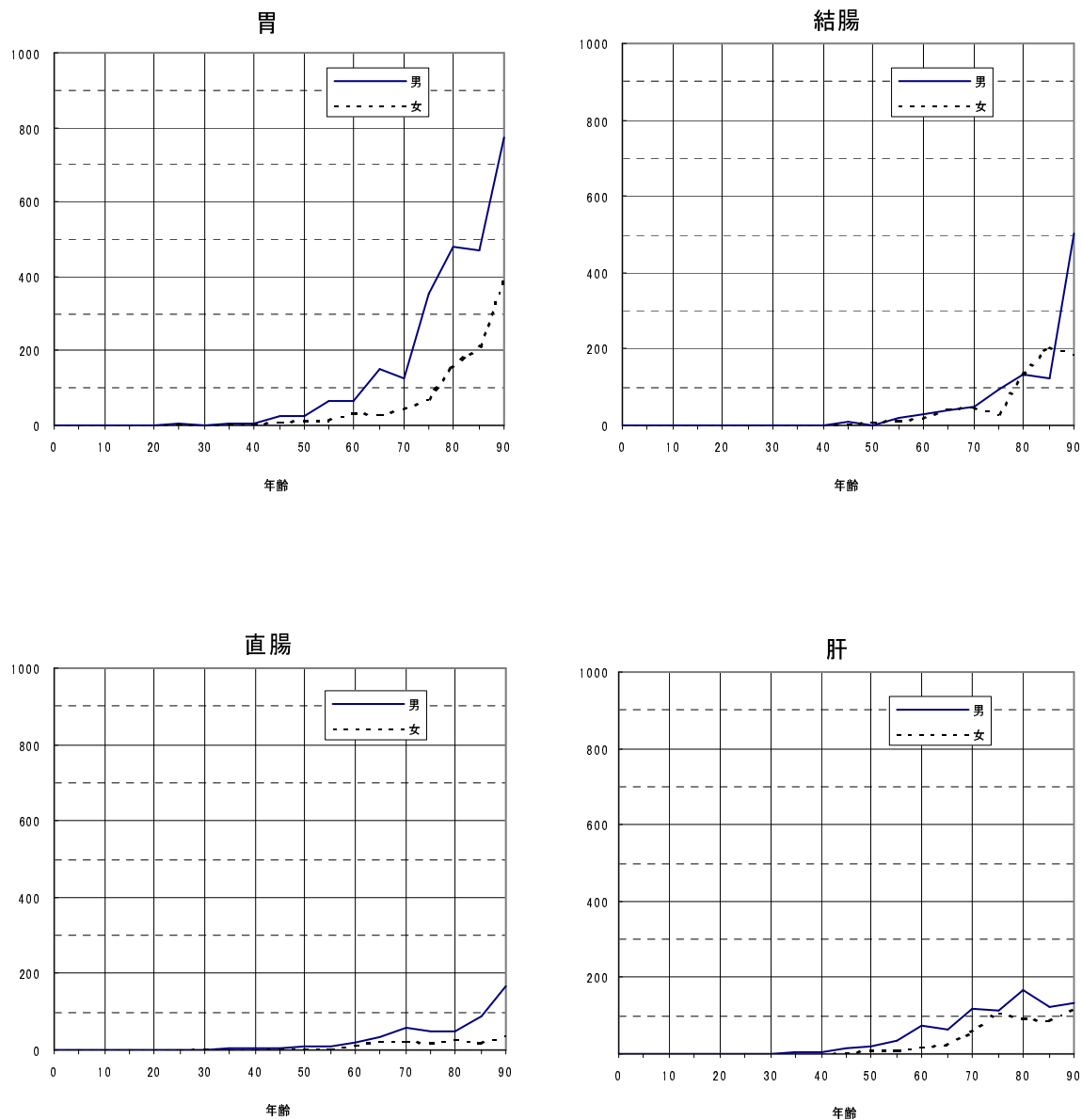
注) (粗)死亡率は死亡数を全人口で割ったものであり、高齢者が多い方が高くなる傾向があるため、年齢構成を補正した年齢調整死亡率を地域比較や経年変化を見るための指標としている。

2 年齢階級別死亡率

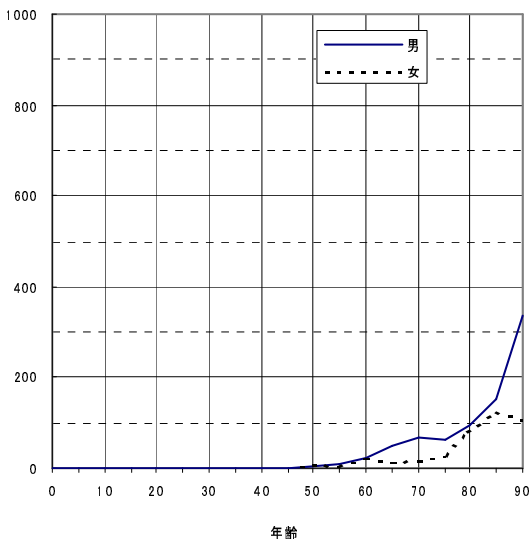
男女別の年齢階級別死亡率を図 4-6 に示した(附表 2-4)。

男女とも、すべての部位において、加齢に従って増加傾向がみられ、男性の胃、肺について顕著であり、女性の乳房及び子宮については、比較的ゆるやかである。

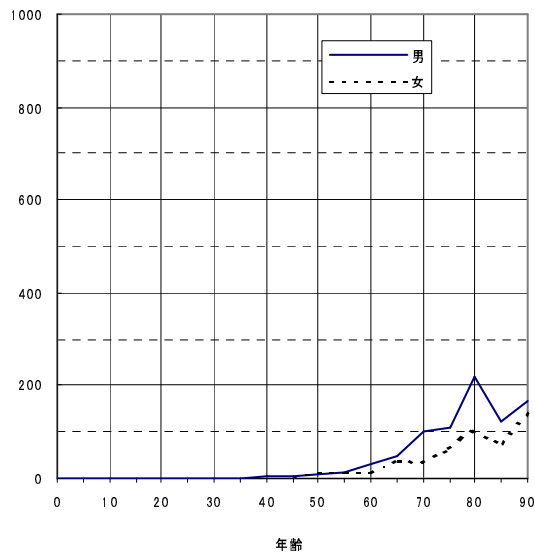
図 4-6 年齢階級別死亡率 (人口 10 万対)



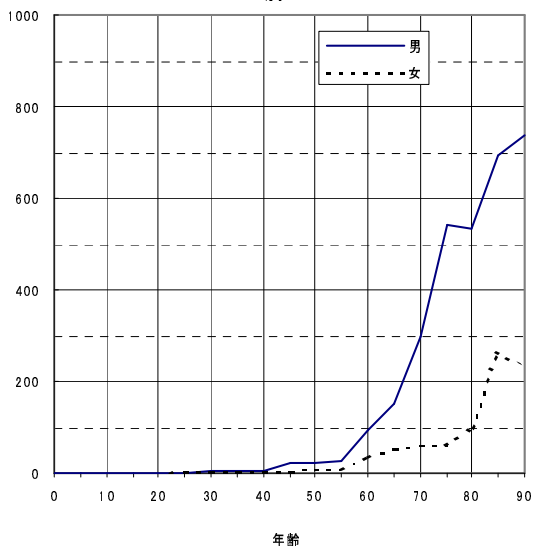
胆道



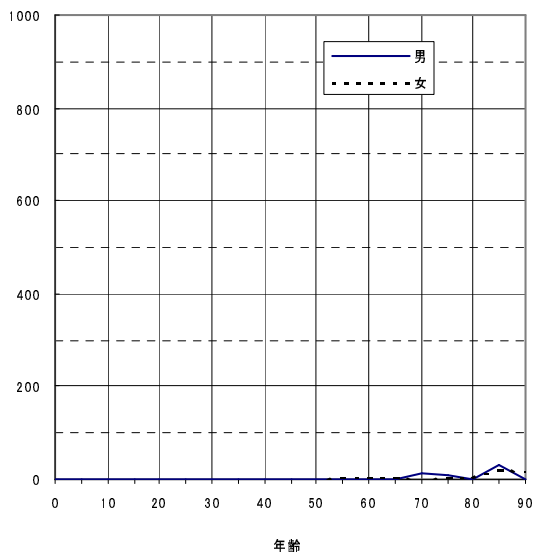
脾



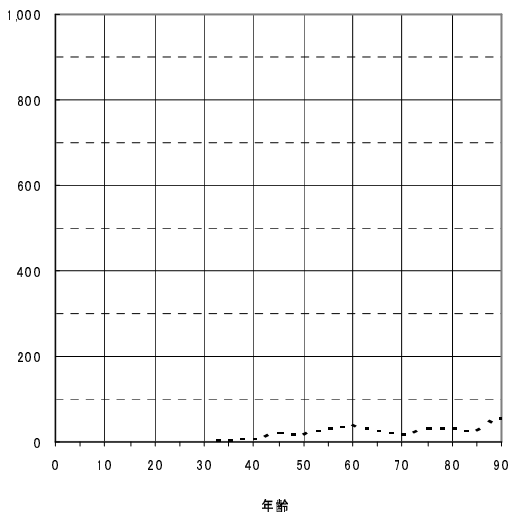
肺



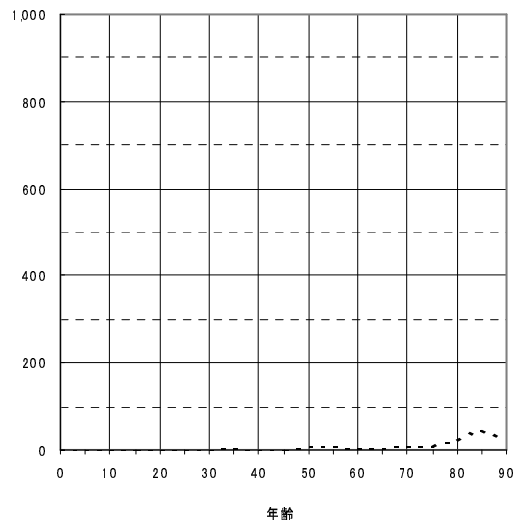
甲状腺



女性乳房



子宮



V 受療状況

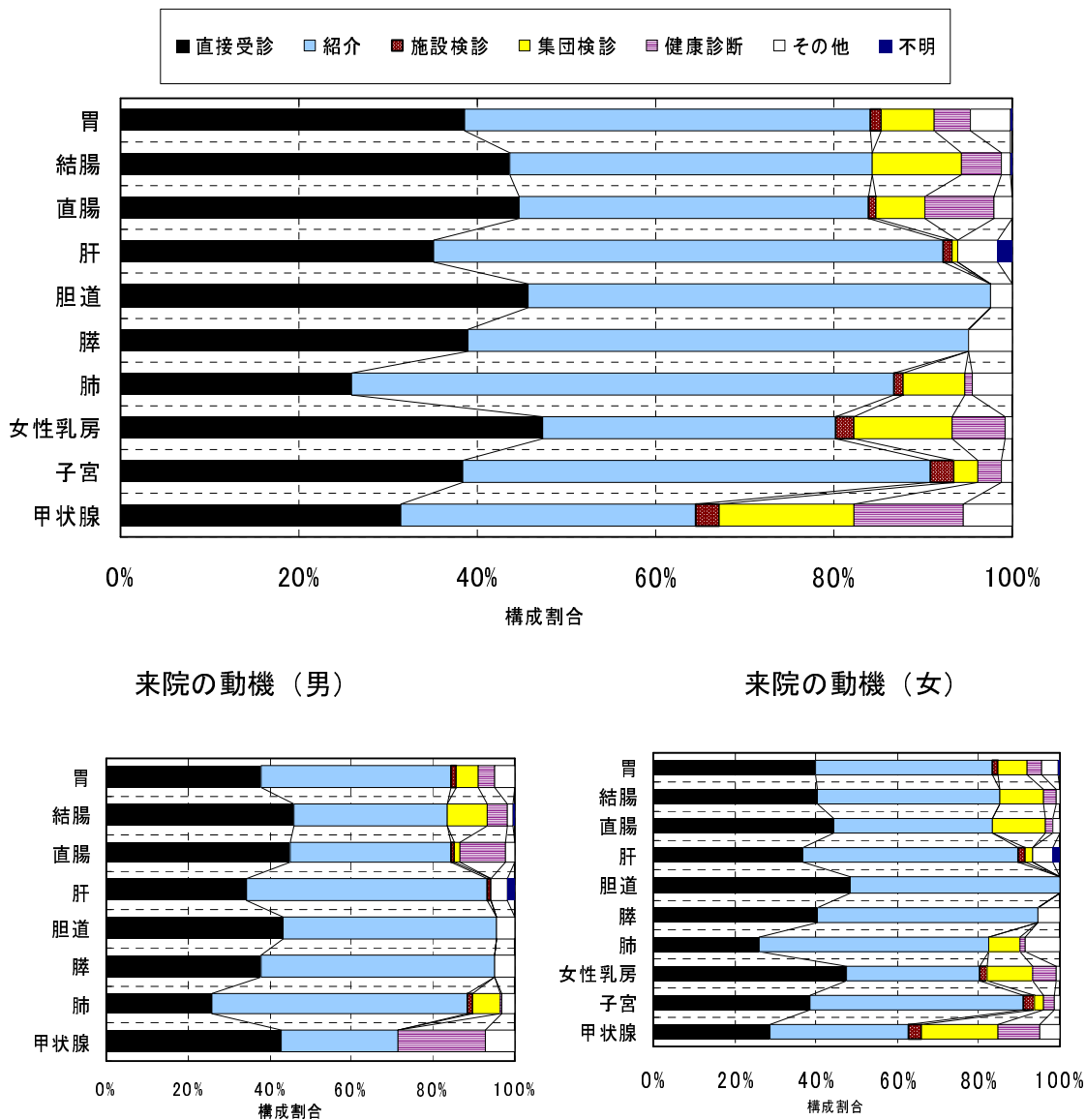
- 1 来院の動機
- 2 自覚症状の有無
- 3 病巣のひろがり
- 4 診断方法
- 5 治療方法

1 来院の動機

集計対象は2,244であり、男女計、10部位計で直接受診（38.3%）、他院からの紹介（47.0%）、集団検診（6.6%）となっている。施設検診、集団検診、健康診断をあわせると（以下「検診」という。）11.3%であった（付表3-1）。

検診が来院の動機になっているものを部位別にみると、甲状腺（30.1%）、女性乳房（19.0%）、結腸（14.6%）の順となっている。

図 5-1 来院の動機（男女計）



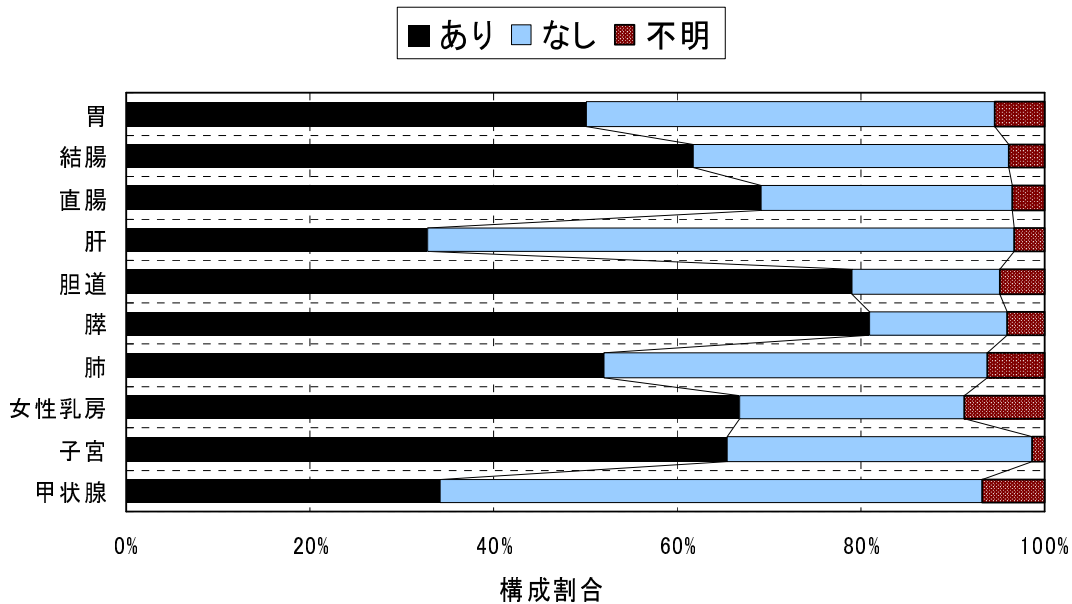
2 自覚症状の有無

集計対象は 2,244 であり、男女 10 部位計で自覚症状あり (56.3%)、自覚症状なし (38.4%) であった。

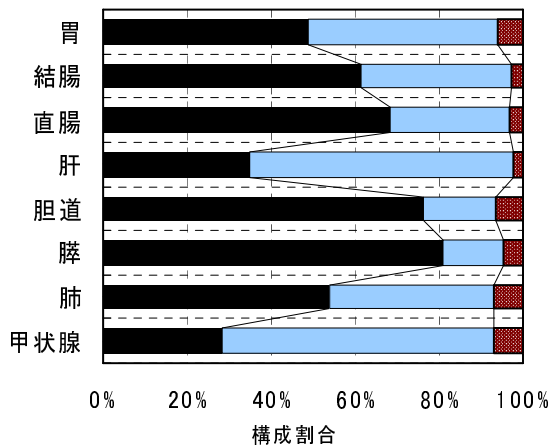
男女計で部位別では、自覚症状ありは、膵(81.0%)、胆道(79.0%)、直腸(69.2%) の順となっており、自覚症状なしは、肝(63.9%)、甲状腺(58.9%) の順となっている。

男女別の順は、自覚症状ありは男で、膵(81.0%)、胆道(76.1%)、直腸(68.5%) となっており、女では、胆道(82.9%)、膵(81.1%)、直腸(70.4%) の順である (付表 3-2)。

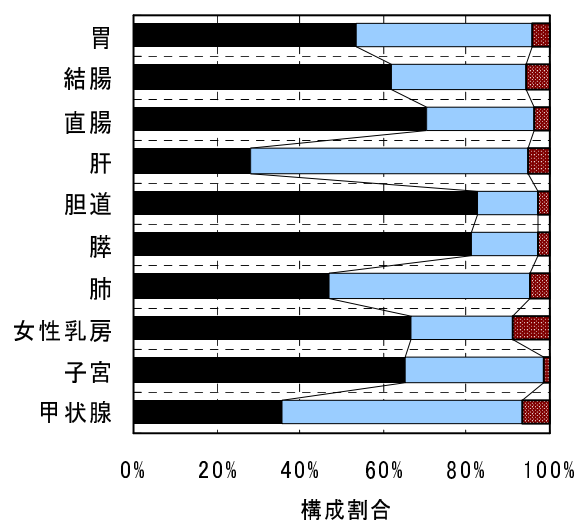
図 5-2 自覚症状の有無 (男女計)



自覚症状の有無 (男)



自覚症状の有無 (女)



3 病巣のひろがり

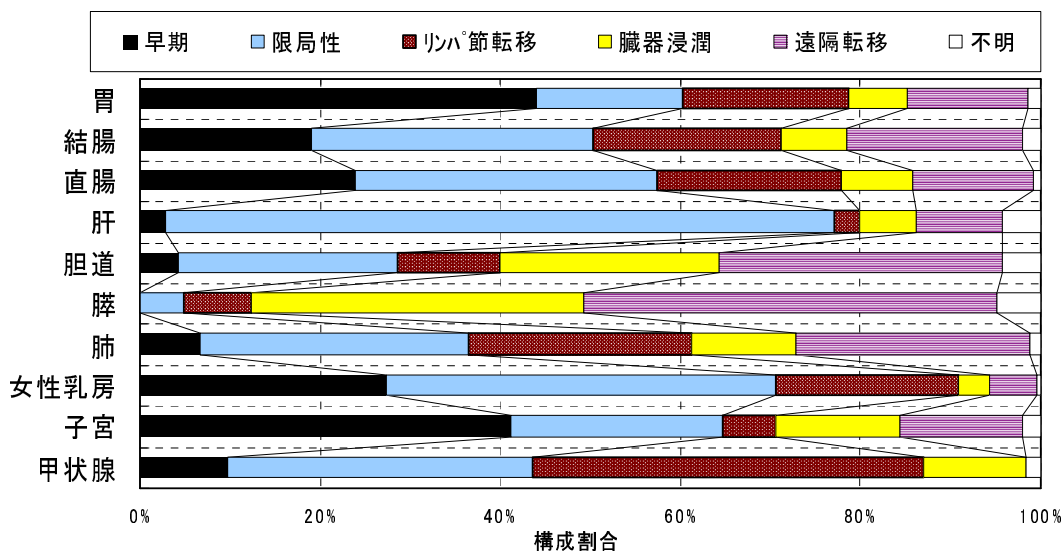
集計対象は1,760であり、男女10部位計で限局性(30.7%)が最も多く、早期(22.3%)が続いている。

部位別に男女計でみると、早期は胃(44.0%)で多く、限局性は肝(74.3%)で多くなっている。

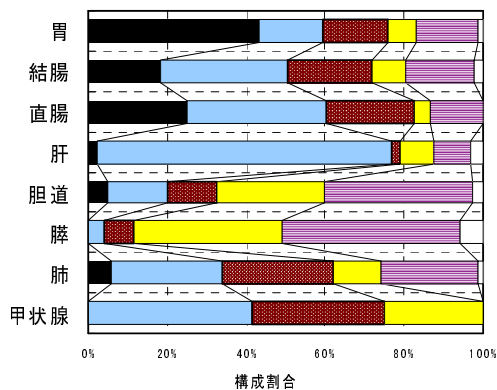
また、所属リンパ節転移は甲状腺(43.5%)で、隣接臓器浸潤と遠隔転移は膵で、それぞれ37.0%、45.7%と多くなっている(付表3-3)。

男女の部位別でも同じであり、早期は胃が、男(43.2%)女(45.7%)、限局性は肝で、男(74.7%)、女(73.5%)、所属リンパ節転移は甲状腺で、男(33.3%)、女(46.0%)、隣接臓器浸潤と遠隔転移は膵でそれぞれ男が37.3%、45.1%、女が36.7%、46.7%と最も多くなっている。

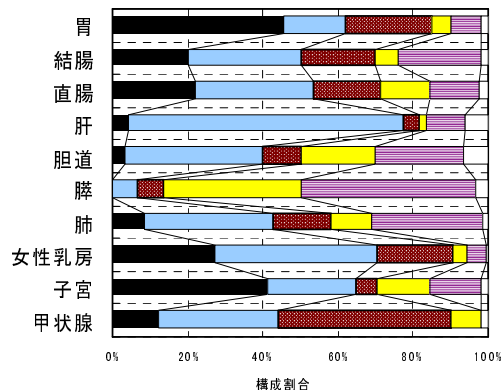
図5-3 病巣のひろがり(男女計)



病巣のひろがり(男)



病巣のひろがり(女)

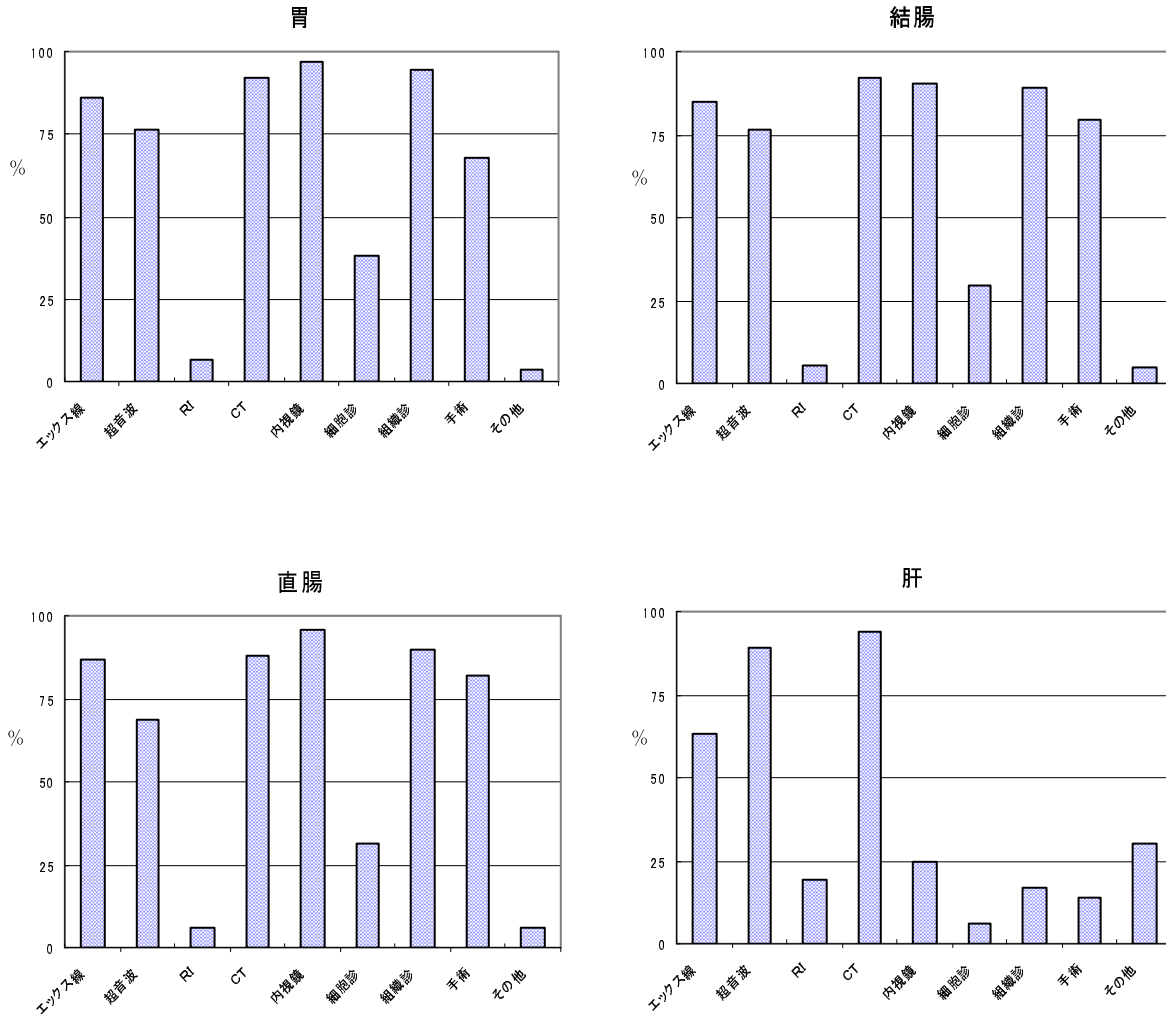


4 診断方法

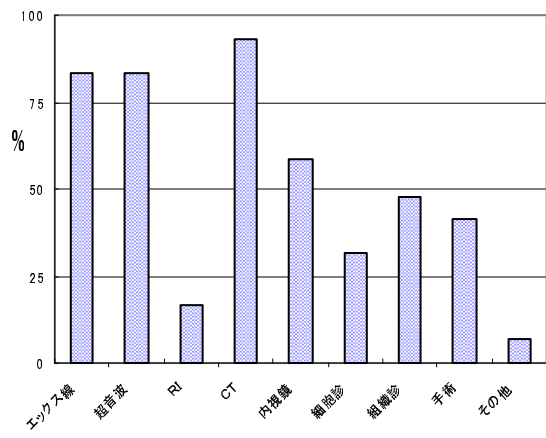
集計対象は 1,789 であり、男女 10 部位計で診断方法として実施率が高い検査は、CT (93.2%)、エックス線 (87.0%)、組織診 (75.6%) の順であり、実施率が比較的低いのは RI (23.6%)、細胞診 (43.9%) となっている。

部位別では、消化管では内視鏡、組織診、CT が高く、肝胆道系では CT と超音波が高くなっている。肺はエックス線 (99.0%)、CT (97.7%) が、女性乳房はエックス線 (96.9%)、超音波 (95.6%) が、子宮は細胞診 (90.2%)、組織診 (84.3%) が高くなっている (付表 3-4)。

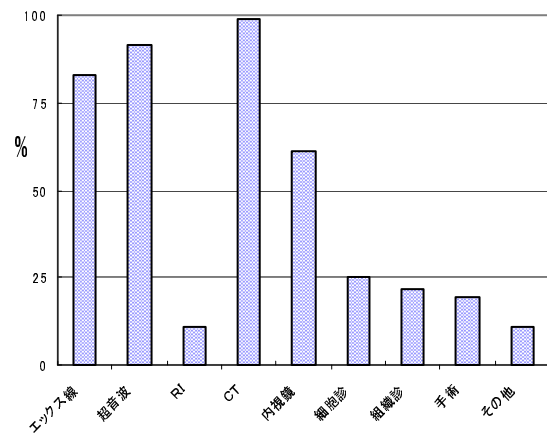
図 5-4 検査実施率 (男女計)



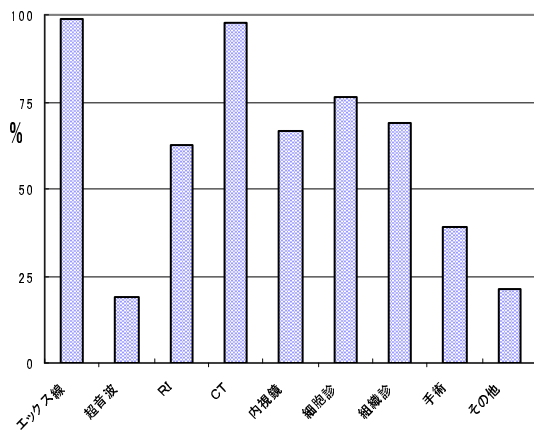
胆道



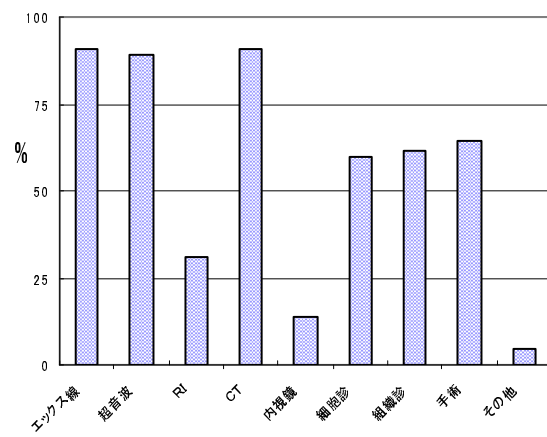
脾



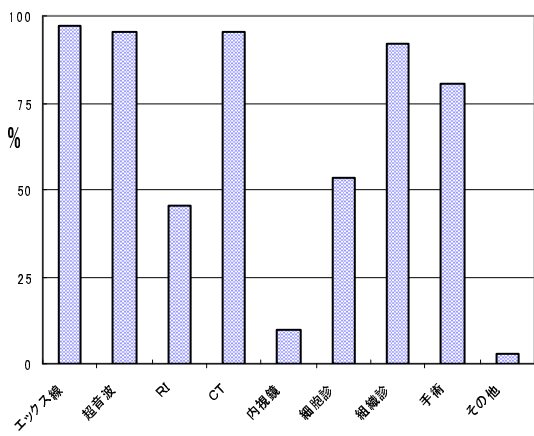
肺



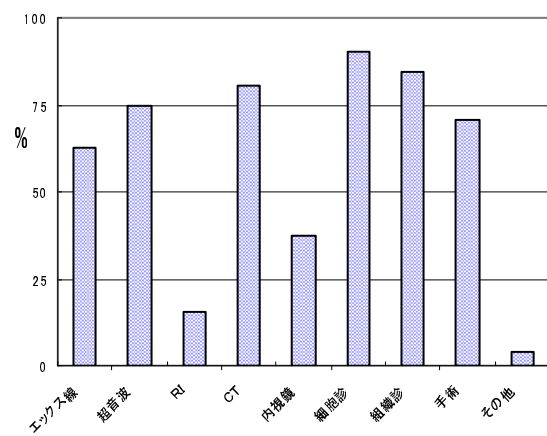
甲状腺



女性乳房



子宮

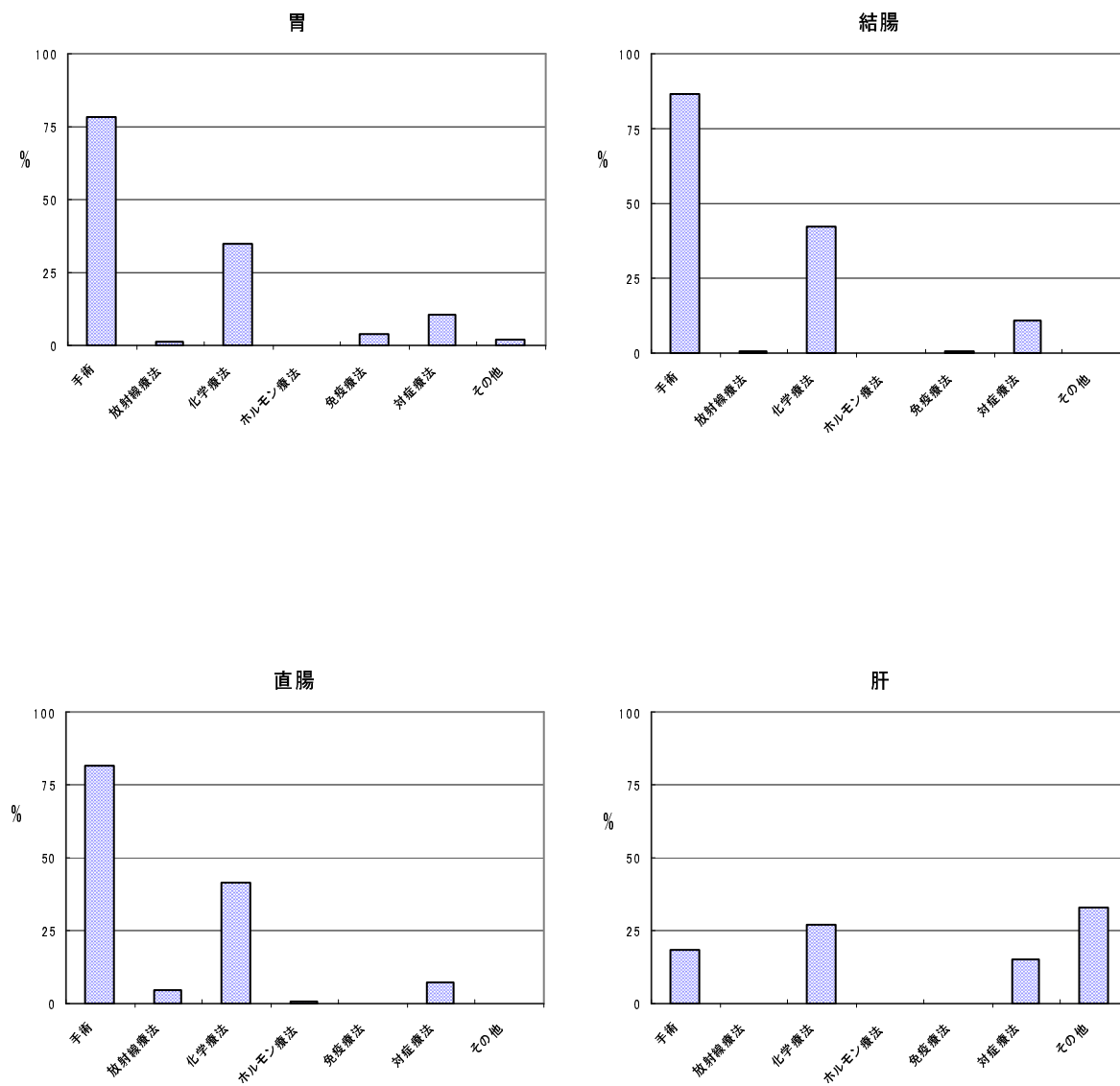


5 治療方法

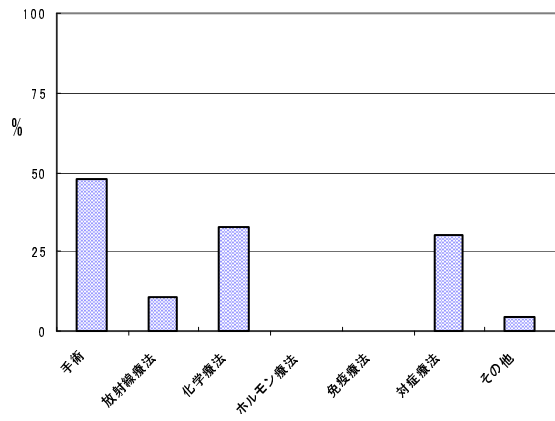
(1) 治療方法

集計対象は 1,789 であり、男女 10 部位計で手術 (65.7%)、化学療法 (36.9%) が多くなっており、部位別でみると消化管、女性乳房、子宮、甲状腺は手術の割合が多く、約 7 割から 9 割で手術が行われている (付表 3-5)。

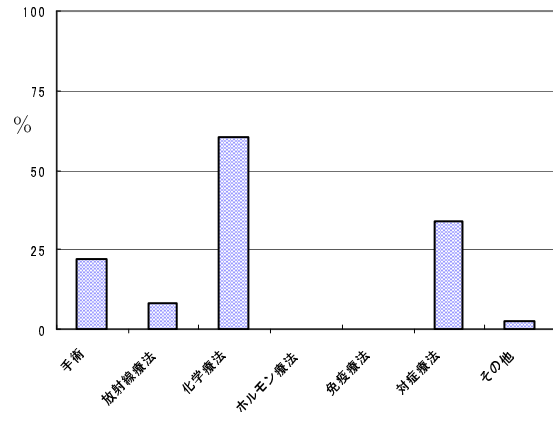
図 5-5 治療実施率 (男女計)



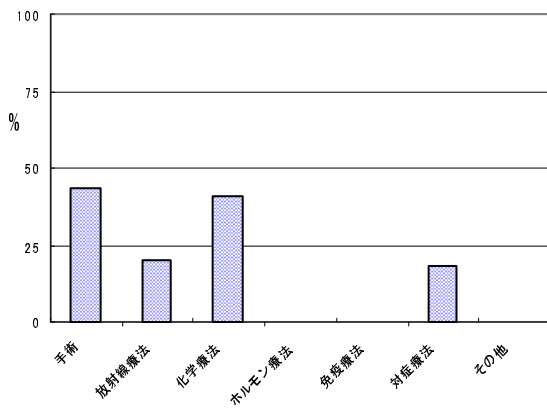
胆道



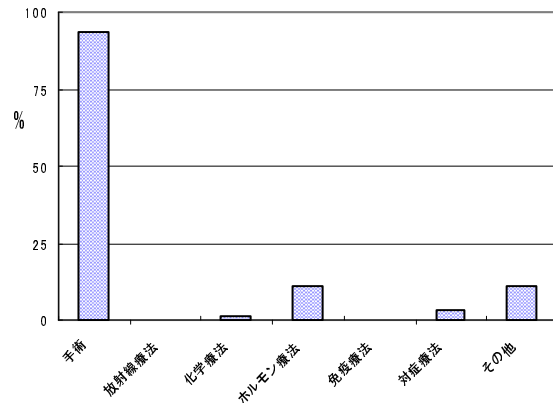
膵



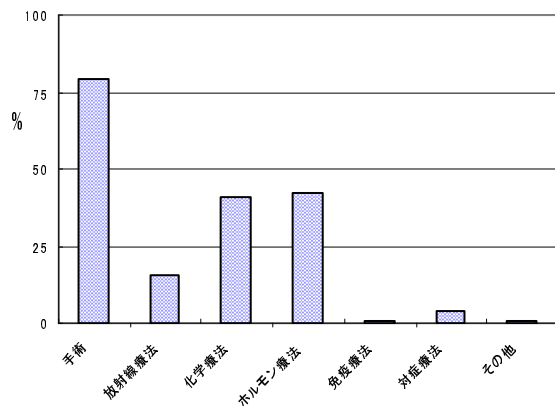
肺



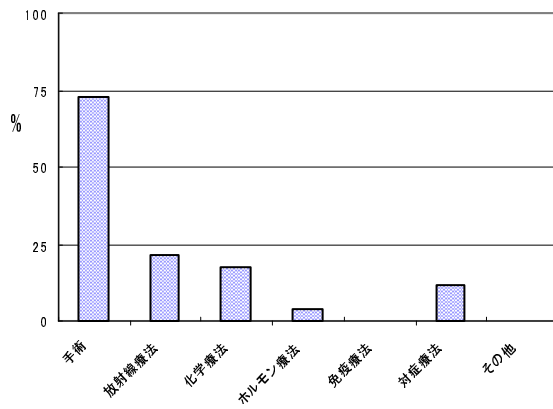
甲状腺



女性乳房



子宮

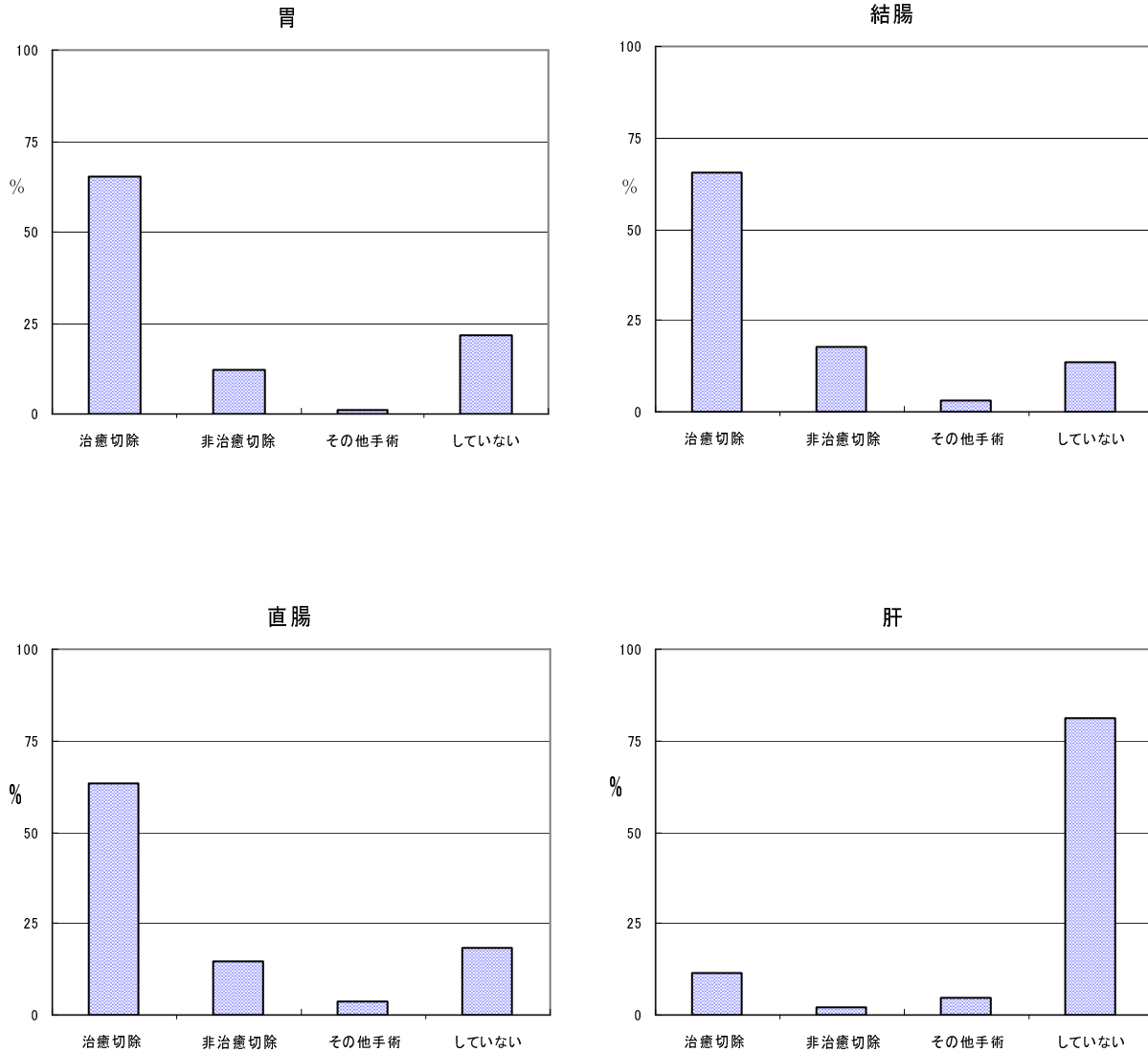


(2) 手術

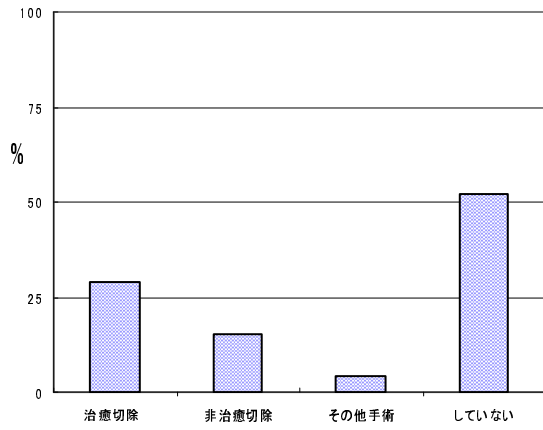
集計対象は 1,789 であり、そのうち手術を行ったものは 65.7%、行っていないものは 34.3%となっている。

男女計で部位別では、甲状腺(93.8%)、結腸(86.3%)、直腸(81.7%)、女性乳房(79.5%)、は手術割合が高くなっている。また、治癒切除の割合は甲状腺(90.8%)、女性乳房(72.1%)で高い割合となっている。一方で、手術を行っていない割合は、肝(81.4%)、膵(78.3%)、肺(56.6%)で高くなっている(付表 3-6)。

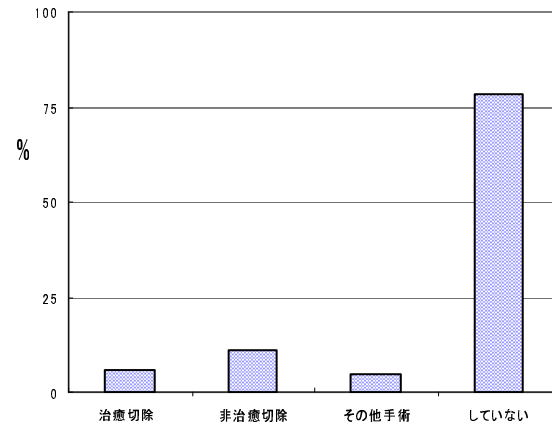
図 5-6 手術 (男女計)



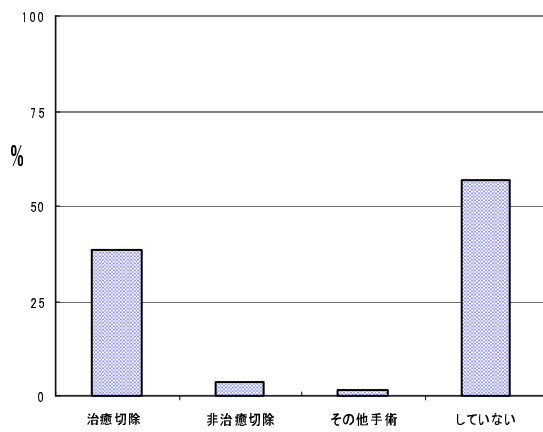
胆道



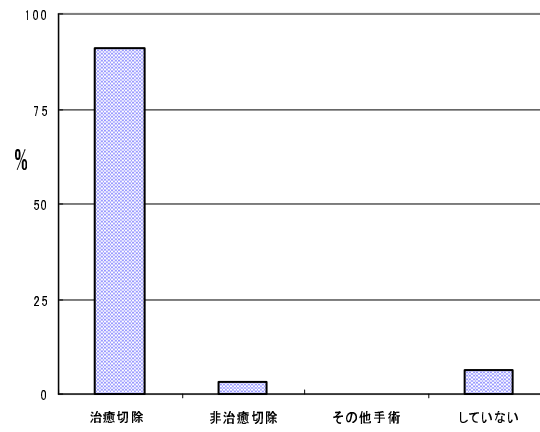
膵



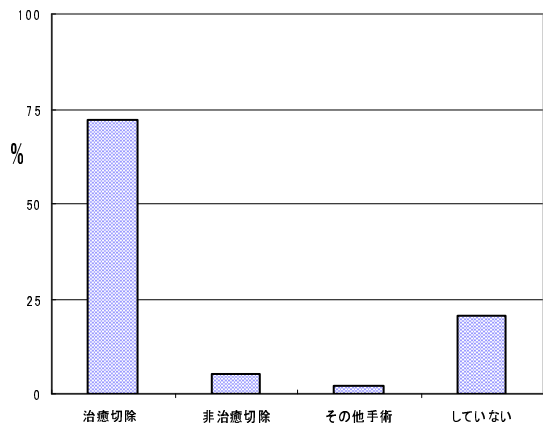
肺



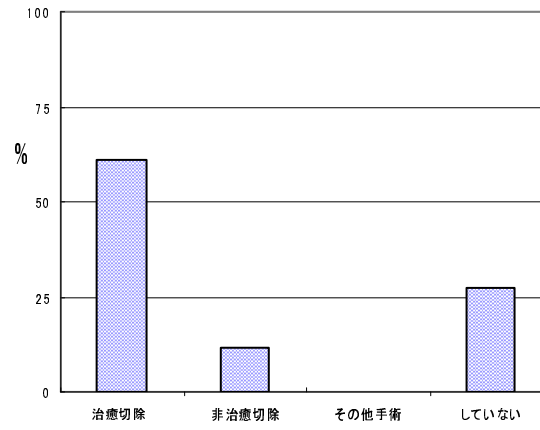
甲状腺



女性乳房



子宮



VI 地域特性

- 1 医療圏別罹患率及び死亡率(粗罹患率及び粗死亡率)
- 2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率

1 医療圏別罹患率及び死亡率（粗罹患率及び粗死亡率）

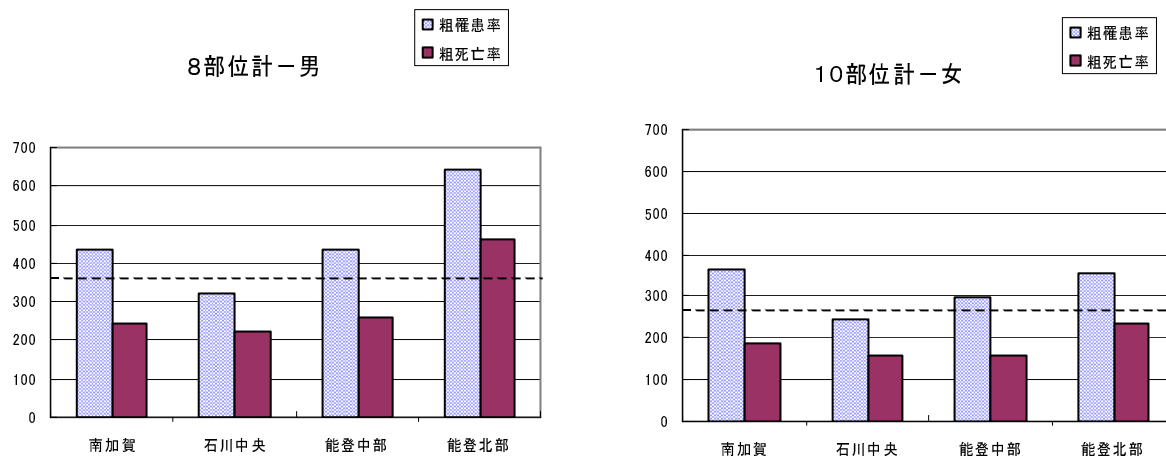
(1) 医療圏別罹患率

医療圏別罹患率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が642.2と高く、石川中央が319.9と低い。女の全部位計(10部位)では、南加賀が362.4と高く、石川中央が243.0と低い(付表4-1)。

(2) 医療圏別死亡率

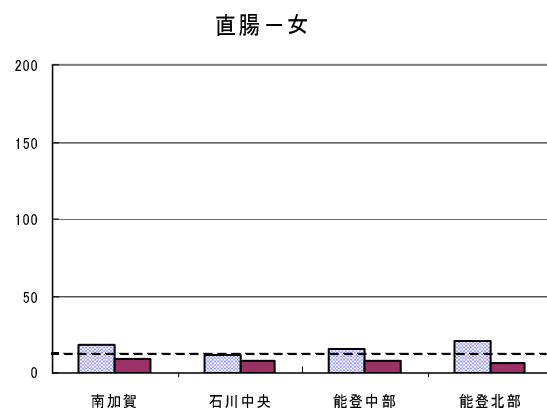
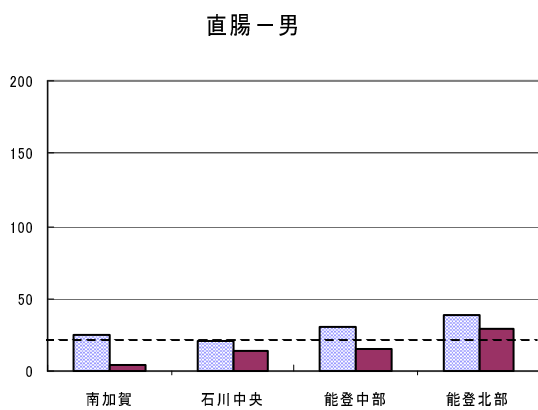
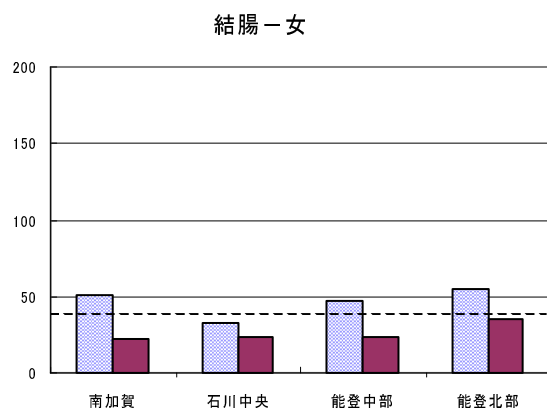
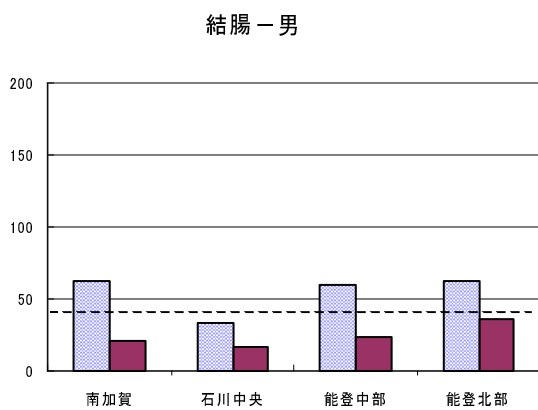
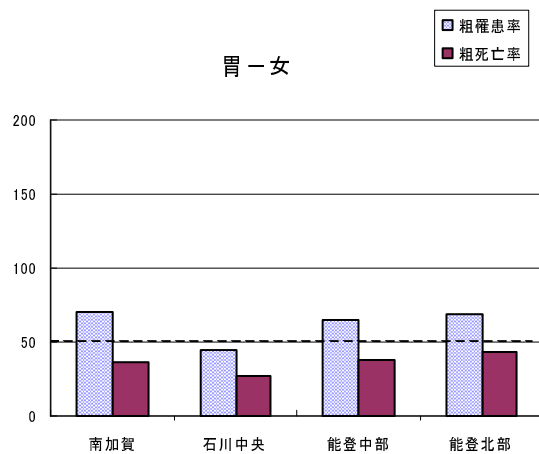
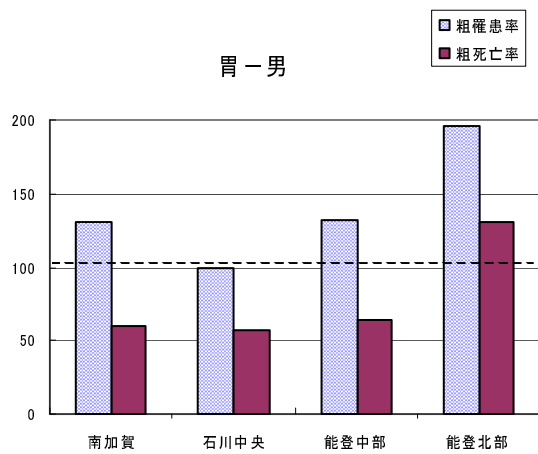
医療圏別死亡率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が459.5と高く、石川中央が223.1と低くなっている。女の全部位計(10部位)では、能登北部が233.5と高く、能登中部が156.0と低くなっている(付表4-1)。

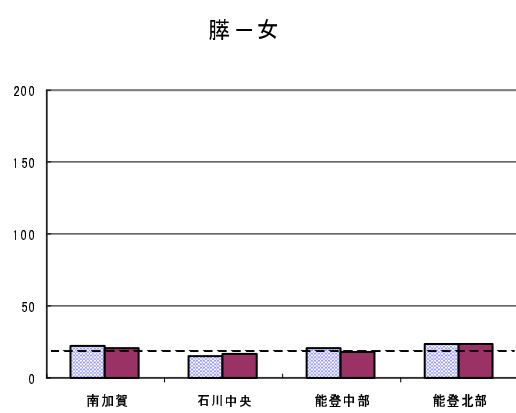
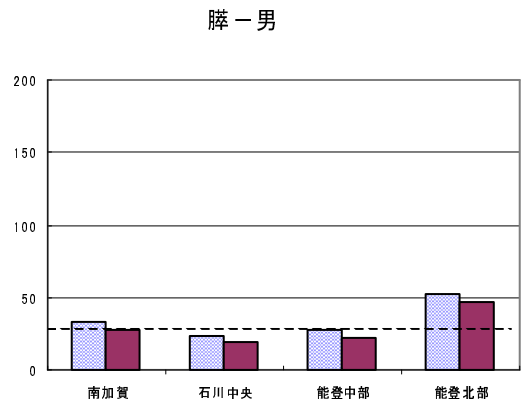
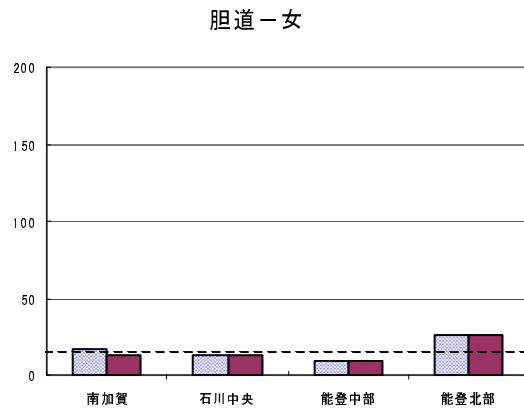
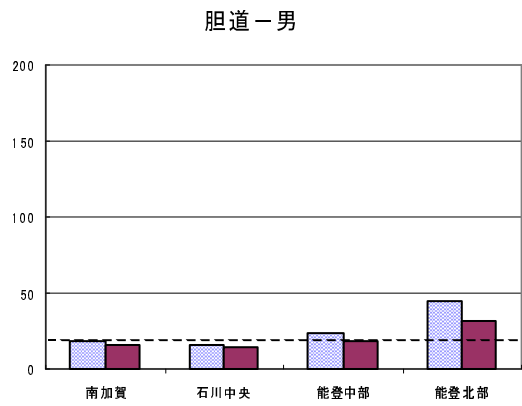
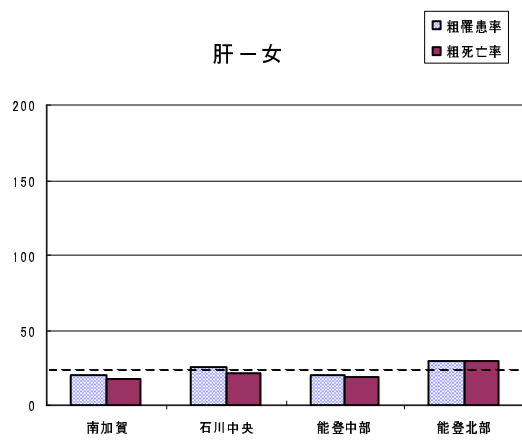
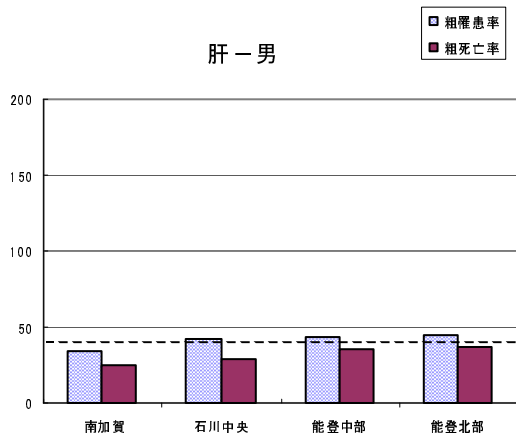
図6-1 医療圏別罹患率、死亡率（人口10万対）

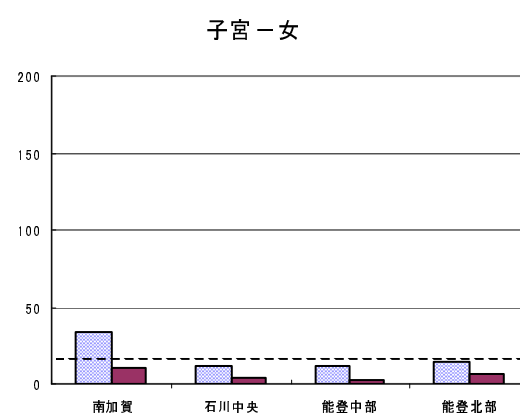
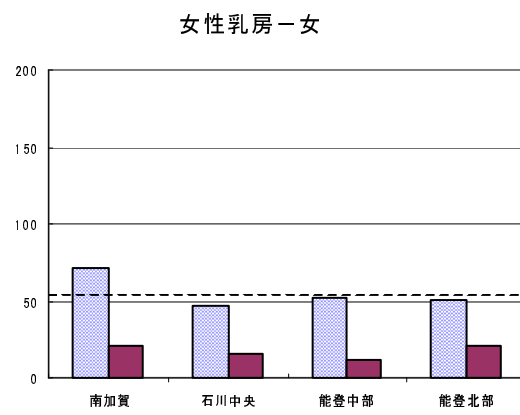
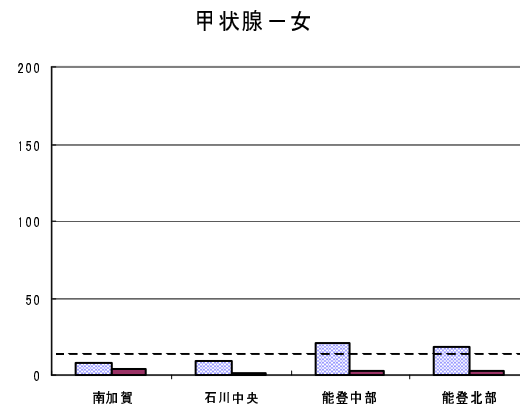
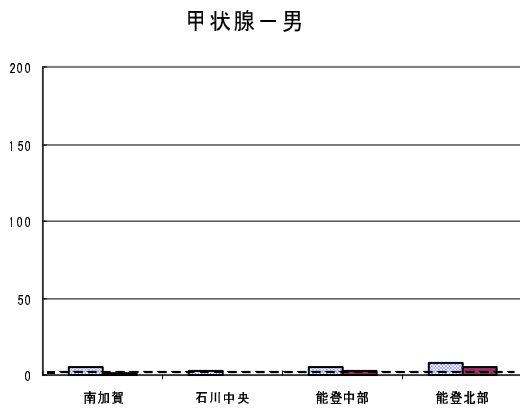
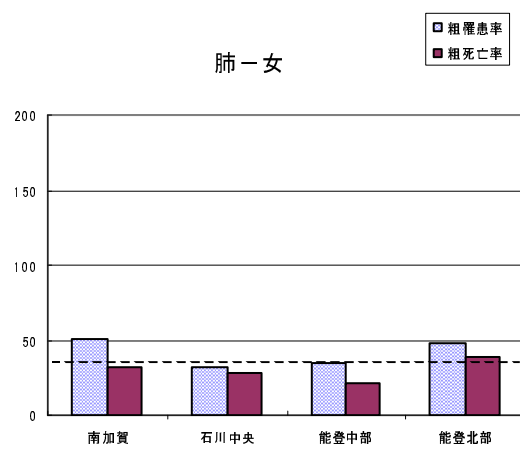
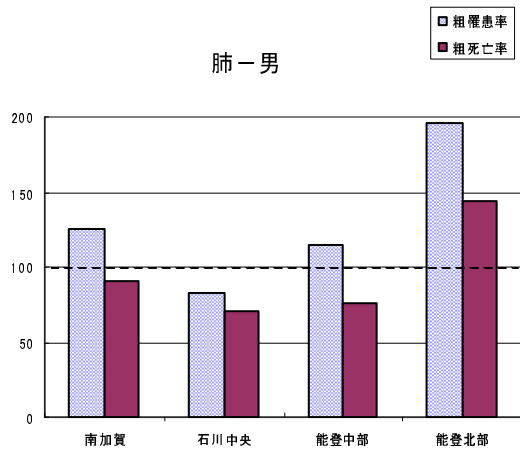


グラフ中の点線は、県全体の粗罹患率を示す。

注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。







2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率

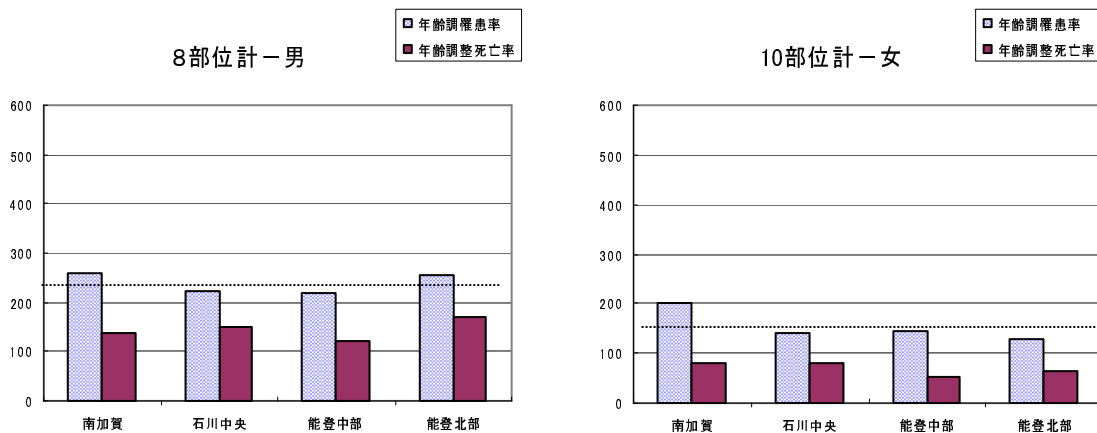
(1) 医療圏別年齢調整罹患率

医療圏別年齢調整罹患率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では南加賀が259.7と高く、能登中部が218.3と低くなっている。女の全部位計(10部位)では、南加賀が199.6と高く、能登北部が129.9と低くなっている(付表4-1)。

(2) 医療圏別年齢調整死亡率

医療圏別年齢調整死亡率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が170.7と高く、能登中部が120.9と低くなっている。女の全部位計(10部位)では、南加賀が80.6と高く、能登中部が54.3と低くなっている。

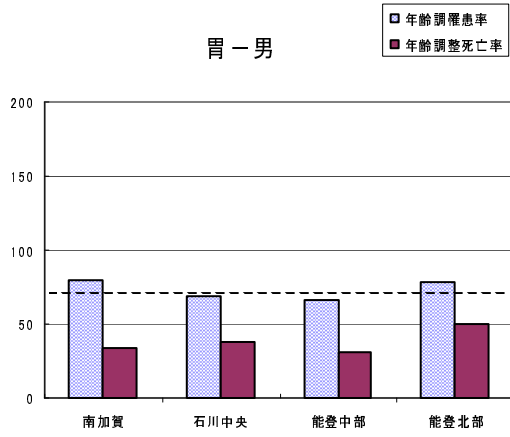
図6-2 医療圏別年齢調整罹患率、年齢調整死亡率(人口10万対)



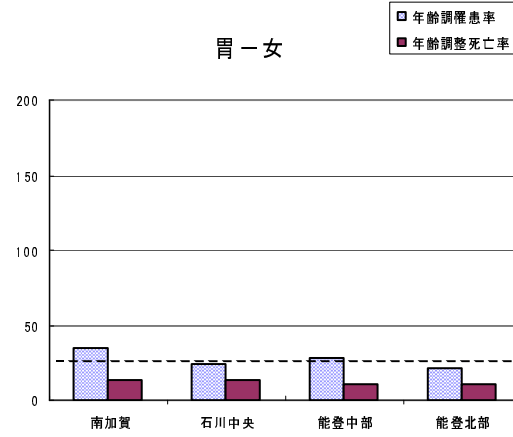
※ グラフ中の点線は、県全体の年齢調整罹患率を示す。

注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

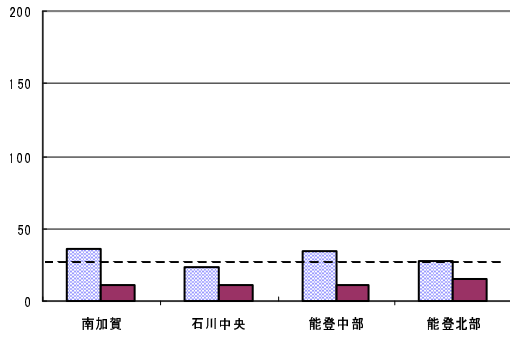
胃 - 男



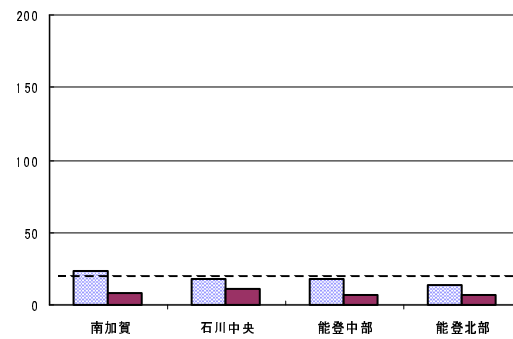
胃 - 女



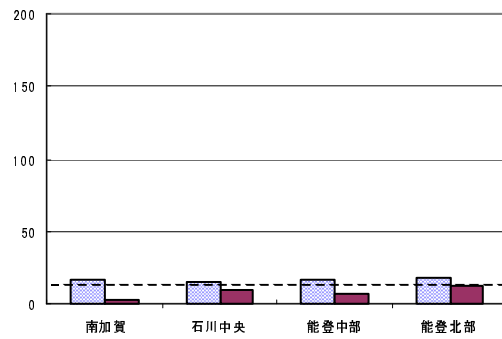
結腸 - 男



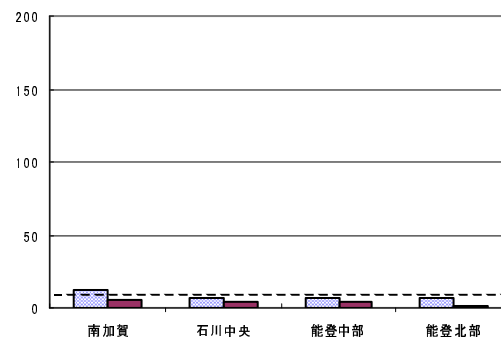
結腸 - 女



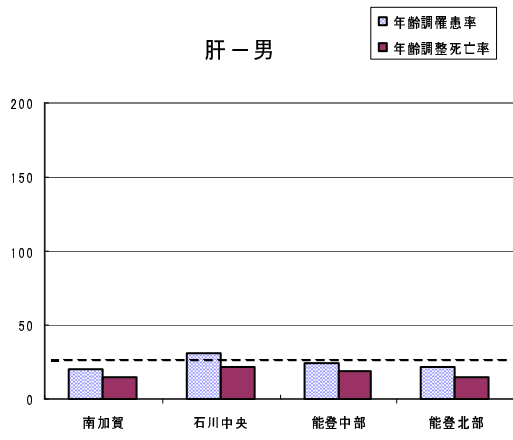
直腸 - 男



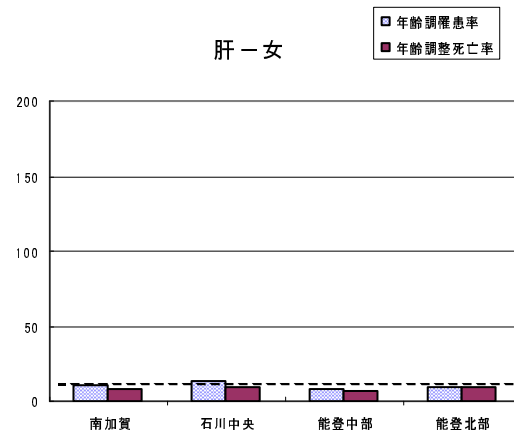
直腸 - 女



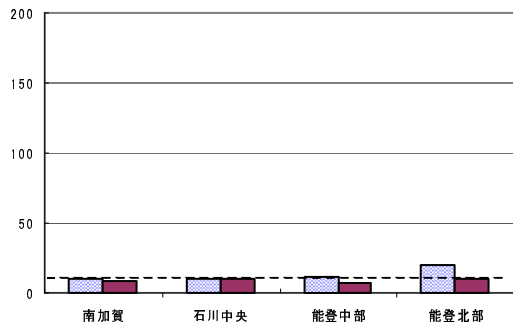
肝-男



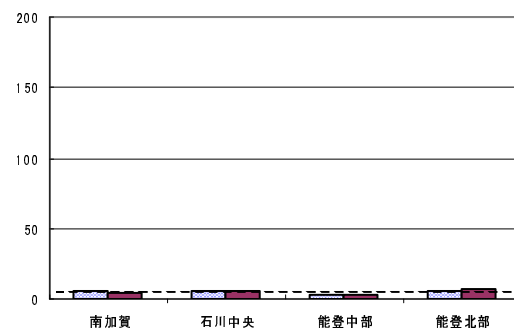
肝-女



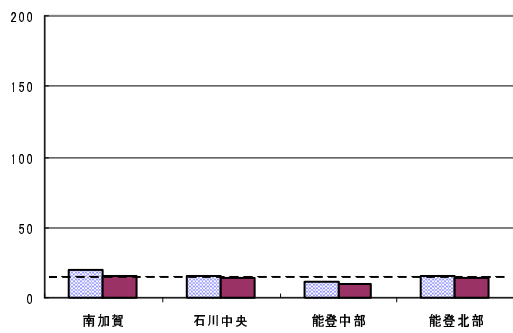
胆道-男



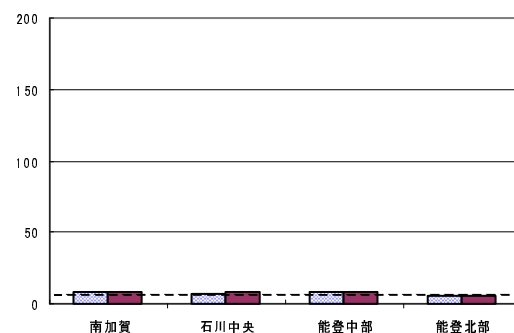
胆道-女

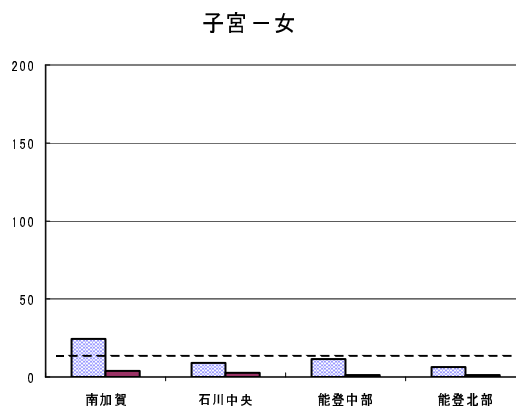
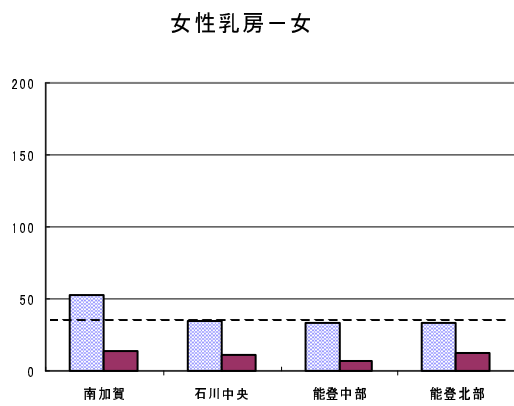
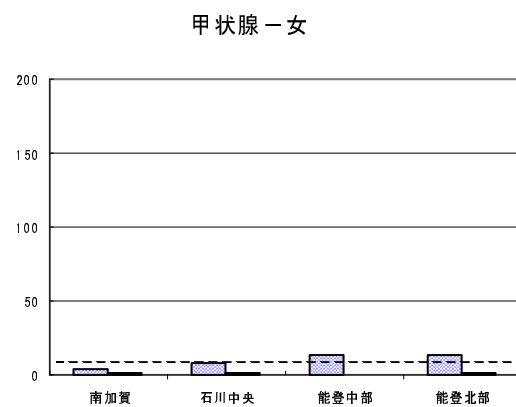
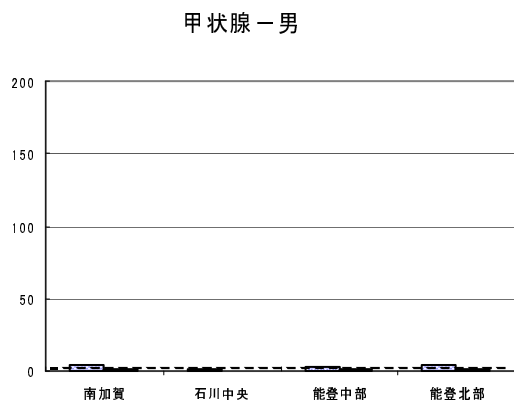
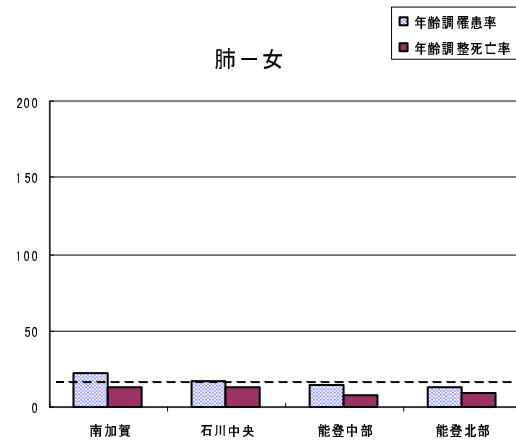
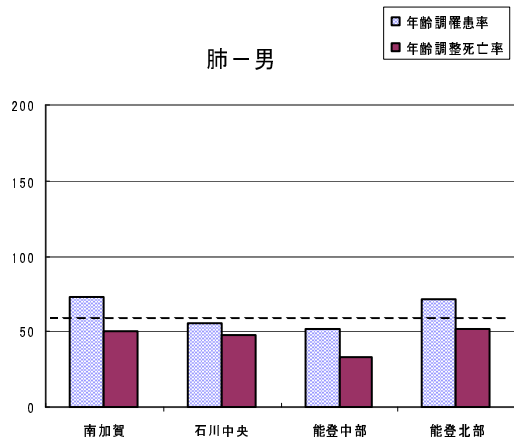


膵-男



膵-女





VII 全国推計値との比較

- 1 罹患率の比較
- 2 年齢調整罹患率の比較
- 3 死亡率の比較
- 4 年齢調整死亡率の比較

石川県の罹患率及び年齢調整罹患率(平成18年値)と全国推計値(平成15年)とを比較した。全国推計値は、厚生省労働科学研究費補助金第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握の研究」班で罹患データを収集し、がん対策情報センターで解析・公表を行っている値を用いた。

また、石川県の死亡率及び年齢調整死亡率(平成18年値)と全国値についても比較した。全国値は、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」平成18年報告書の値を用いた。

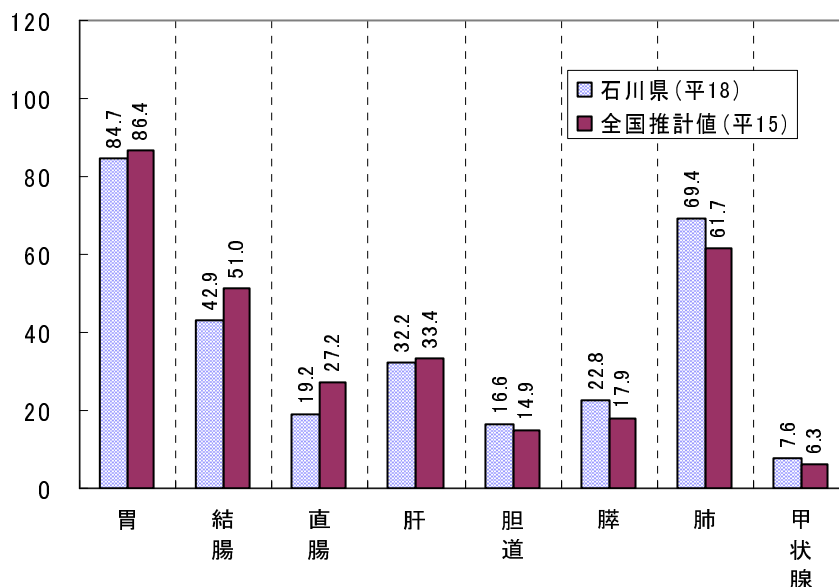
(ただし、「人口動態統計」の死因分類表(死因簡単分類)にない甲状腺がんは除いた。)

1 罹患率の比較

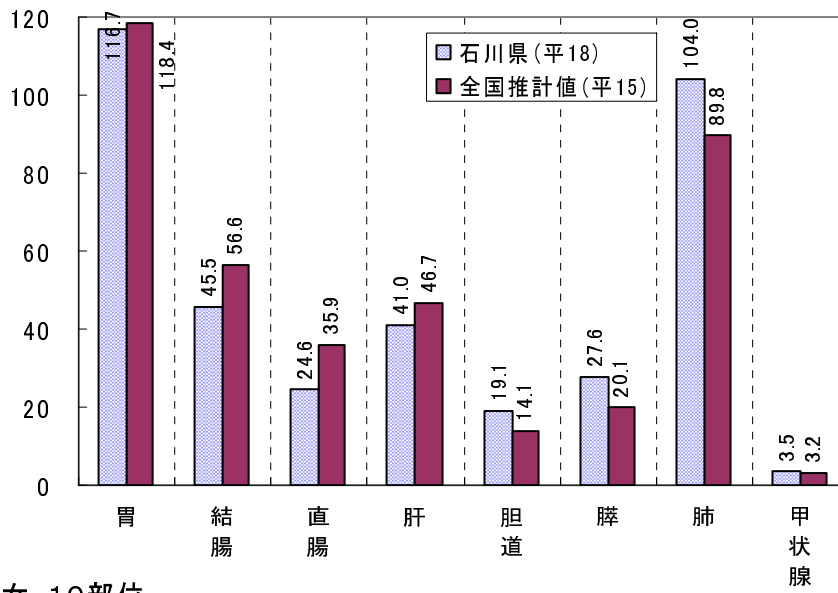
男女計で全国推計値と比較すると、胃、結腸、直腸、肝が低く、胆道、膵、肺、甲状腺が高くなっている。男女別に比較すると、男の胃、結腸、直腸、肝、女の胃、結腸、直腸、胆道、乳房、子宮が低く、男の胆道、膵、肺、甲状腺、女の肝、膵、肺、甲状腺が高くなっている(付表5-1)。

図7-1 罹患率(人口10万対)の比較

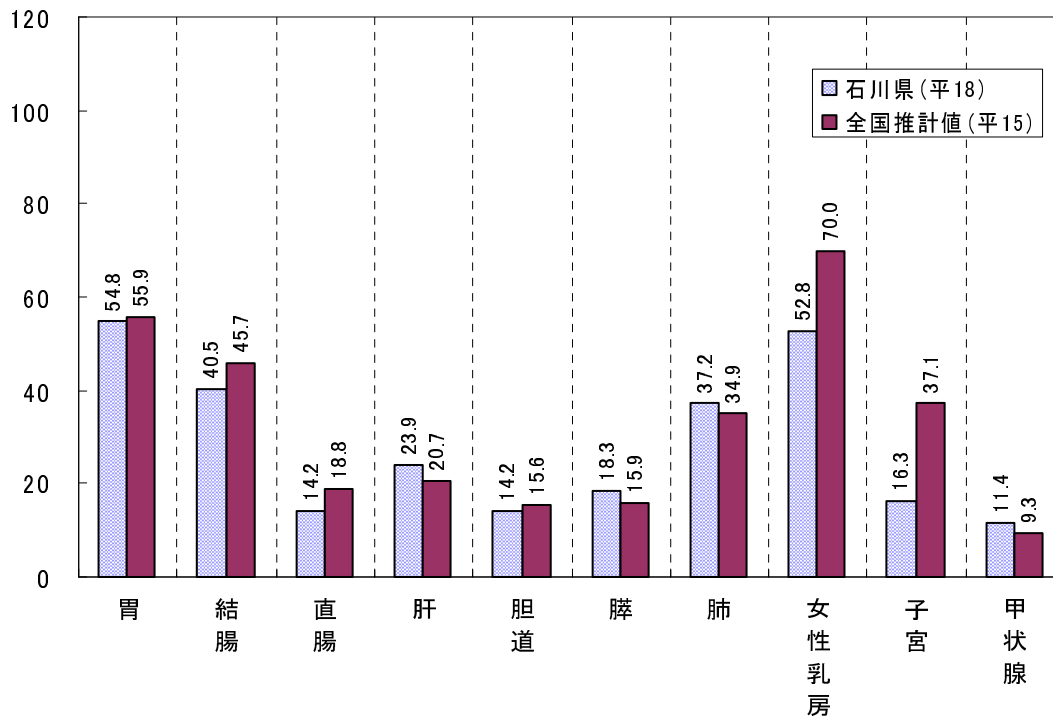
男女計:8部位



男：8部位



女：10部位

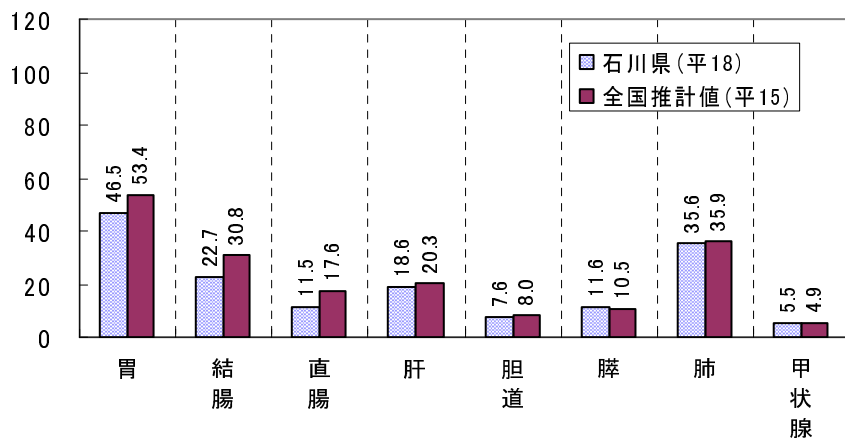


2 年齢調整罹患率の比較

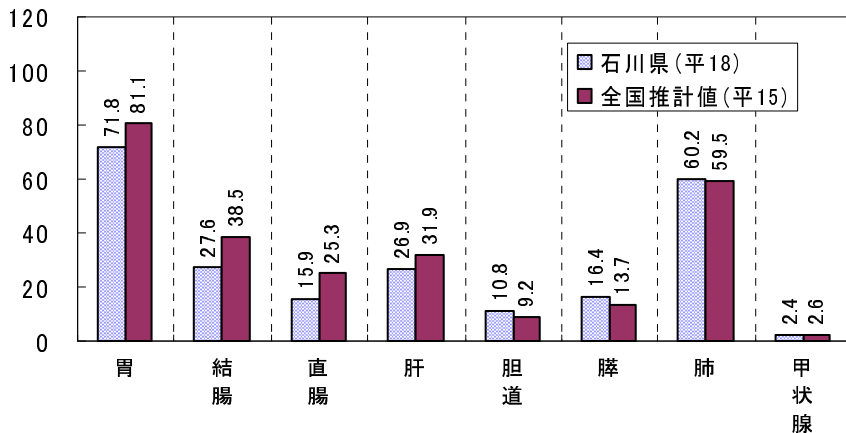
男女計で全国推計値と比較すると、胆道、膵、肺、甲状腺は同レベルであり、胃、結腸、直腸、肝は下回っている(付表 5-2)。

図 7-2 年齢調整罹患率（人口 10 万対）の比較

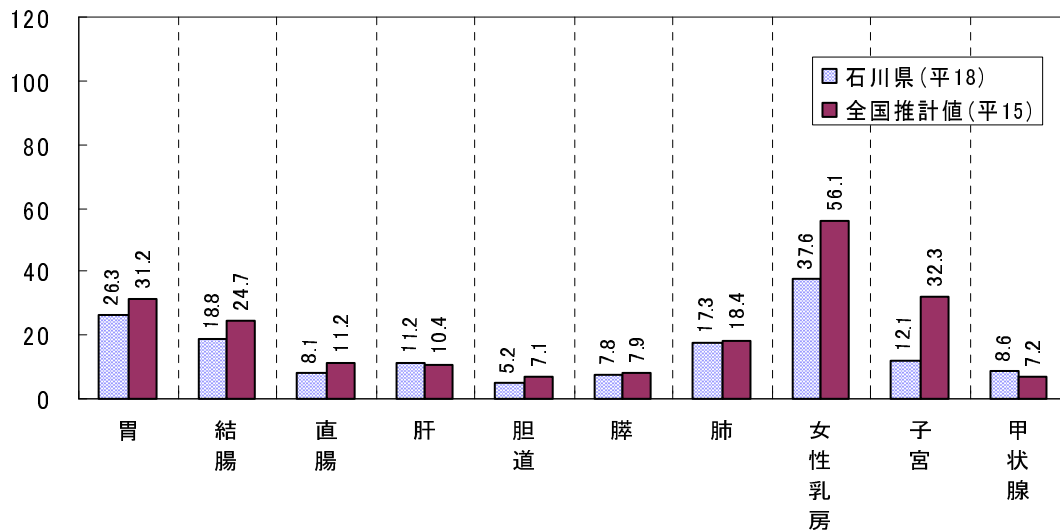
男女計：8部位



男：8部位



女：10部位

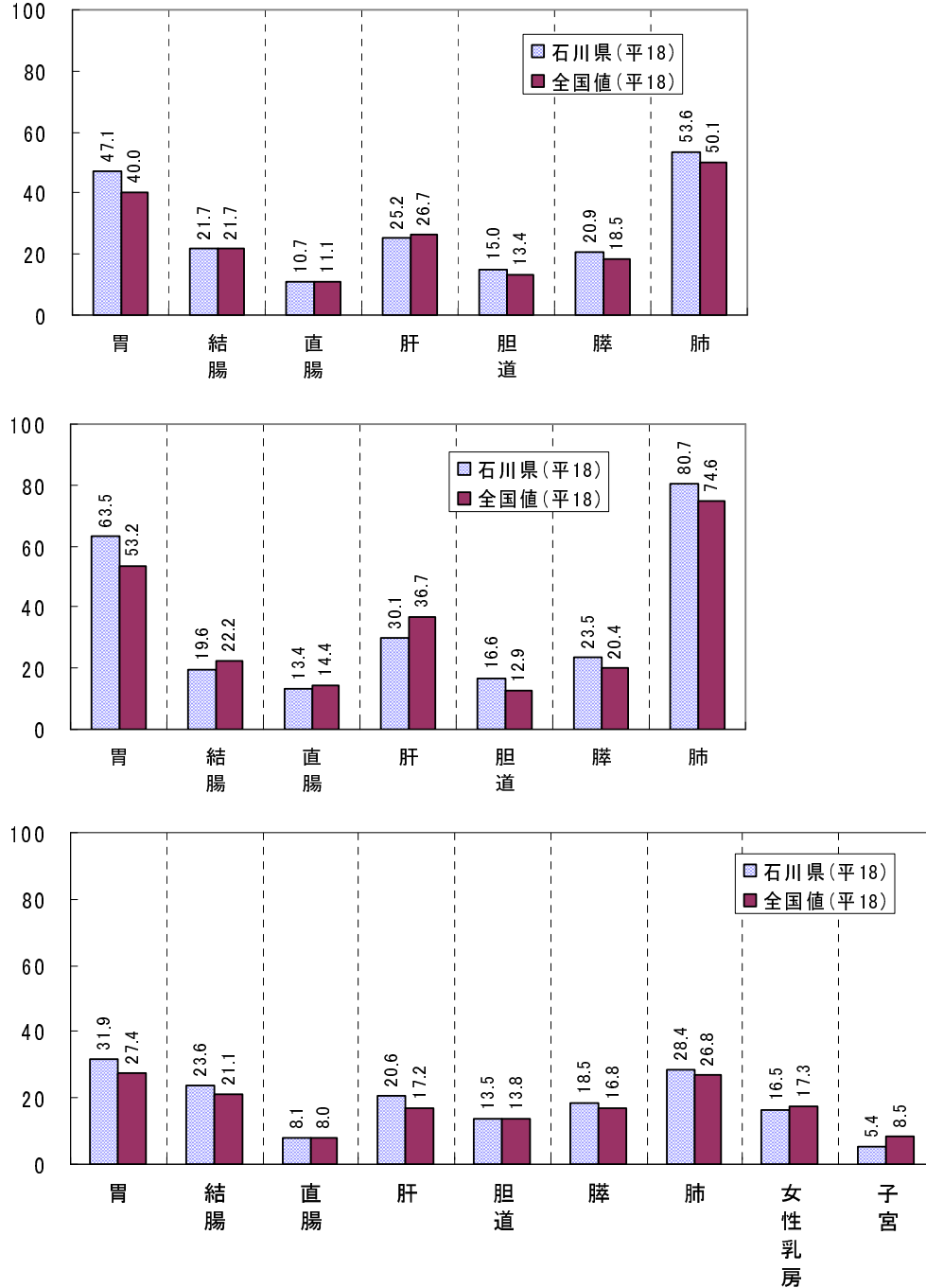


3 死亡率の比較

男女計で全国値と比較すると、胃、胆道、膵、肺で高くなっている(付表 5-3)。

図 7-3 死亡率(人口 10 万対)の比較

男女計: 7 部位



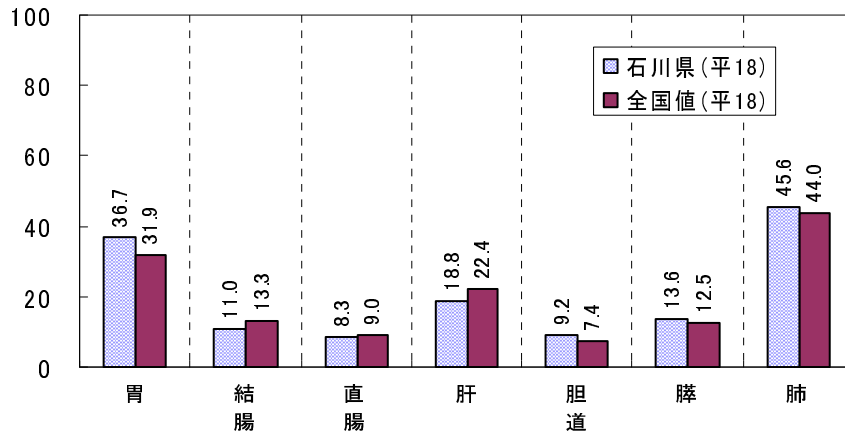
注) データには外国人を含めているため、衛生統計年報(平成 18 年、石川県健康福祉部)の数値とは一部異なる。「人口動態統計」の死因分類表(死因簡単分類)にない甲状腺がんは除いた。

4 年齢調整死亡率の比較

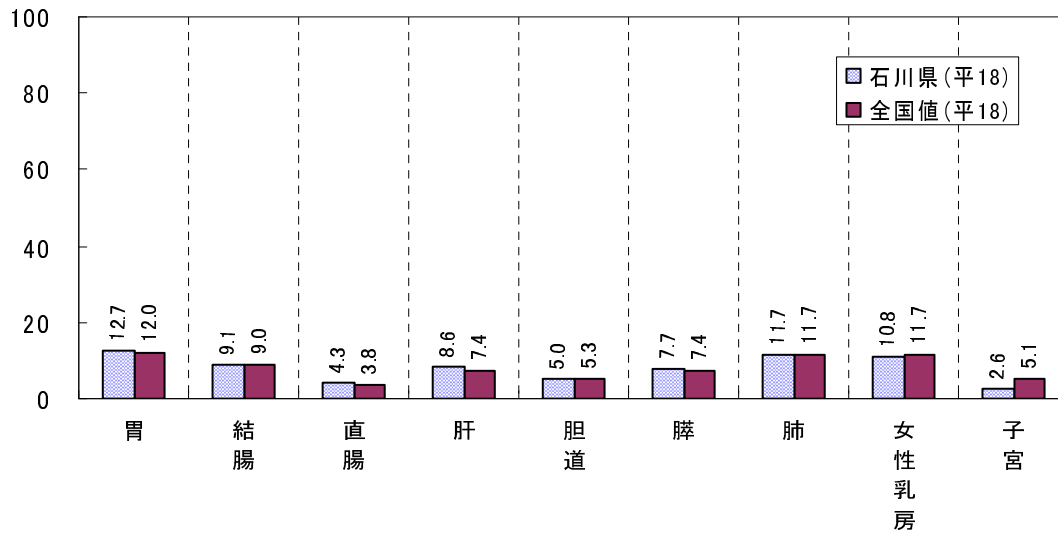
男女別に全国値と比較すると、男の胃、胆道、膵、肺、女の肝が高く、男の結腸、肝、女の子宮は低くなっている。その他の部位では、男女ともほぼ同レベルであった(付表 5-4)。

図 7-4 年齢調整死亡率(人口10万対)の比較

男:7部位



女:9部位



VIII 生存率集計

- 1 生存率集計対象及び方法
- 2 生存率の概要
- 3 生存率と受療状況

1 生存率集計対象及び方法

(1) 集計対象

平成14年(2002年)に登録された患者を対象とした。

※ 本報告における生存率はDCO(死亡票のみによって登録された者)を除いた患者について算定した。
また、がんの中には上皮内がんを含んでいる。

表8 生存率集計対象患者数

	総計	胃	結腸	直腸	肝臓	胆道	膵臓	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計	1,756	504	270	152	94	83	72	267	171	85	58
男	921	338	156	84	59	39	43	196	-	-	6
女	835	166	114	68	35	44	29	71	171	85	52

(2) 生存率の計算方法

カプラン・マイヤー(Kaplan-Meier)法を用いて、がんに罹患した人の中でがんによる死亡とその他全ての死因による死亡を死亡として、5年生存率を計算した。ただし、がん以外の死因による死亡確率は、患者の性・年齢及び暦年により異なり、累積生存率はこれらの要因により影響を受ける。

この影響を除くために、対象者の性・年齢と等しい一般住民から得た期待生存率で実測生存率を除して得られる相対生存率を併せて計算した。

(3) 予後調査の方法

死亡の把握は、罹患届出票と人口動態調査死亡票との照合により行っている。ただし、がん登録患者のうち罹患届出票で登録され、かつ死亡票がない患者を対象とした個々の生存確認調査は行っていない。

2 生存率の概要

(1) 部位別5年生存率、5年相対生存率（付表6-1）

部位別に生存率を見ると、男女計で消化管(胃、結腸、直腸)で5年生存率は50から60%前後であるが、肝、胆道系、膵は10～20%、肺は30%強と生存率は低くなっている。甲状腺は91.3%と最も高くなっている。

図8-1 部位別5年生存率（平成14年）

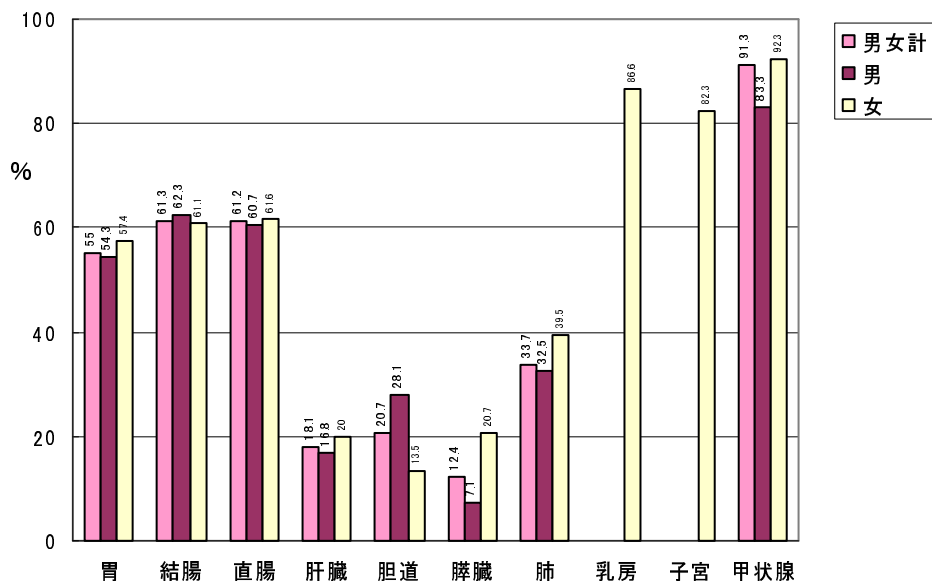


図8-2 部位別5年相対生存率（平成14年）

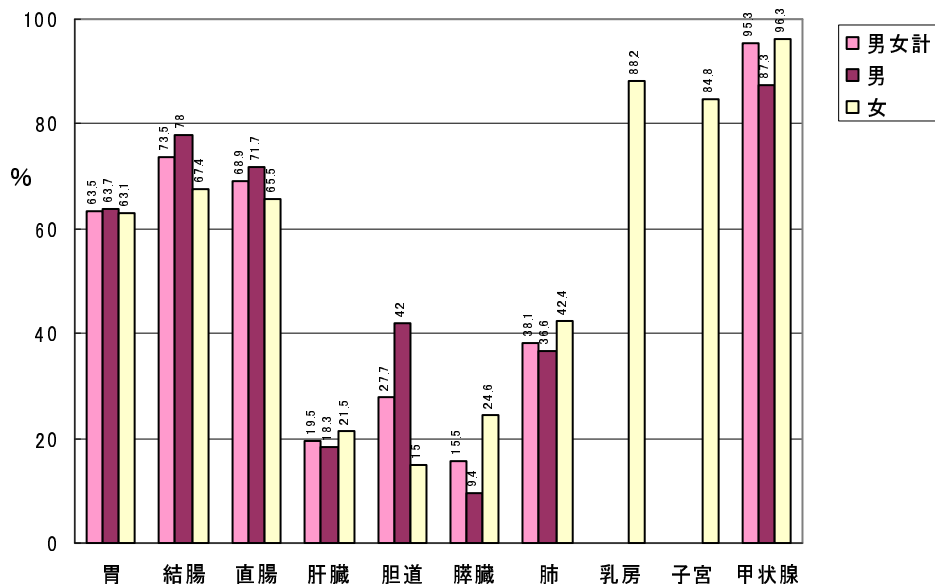
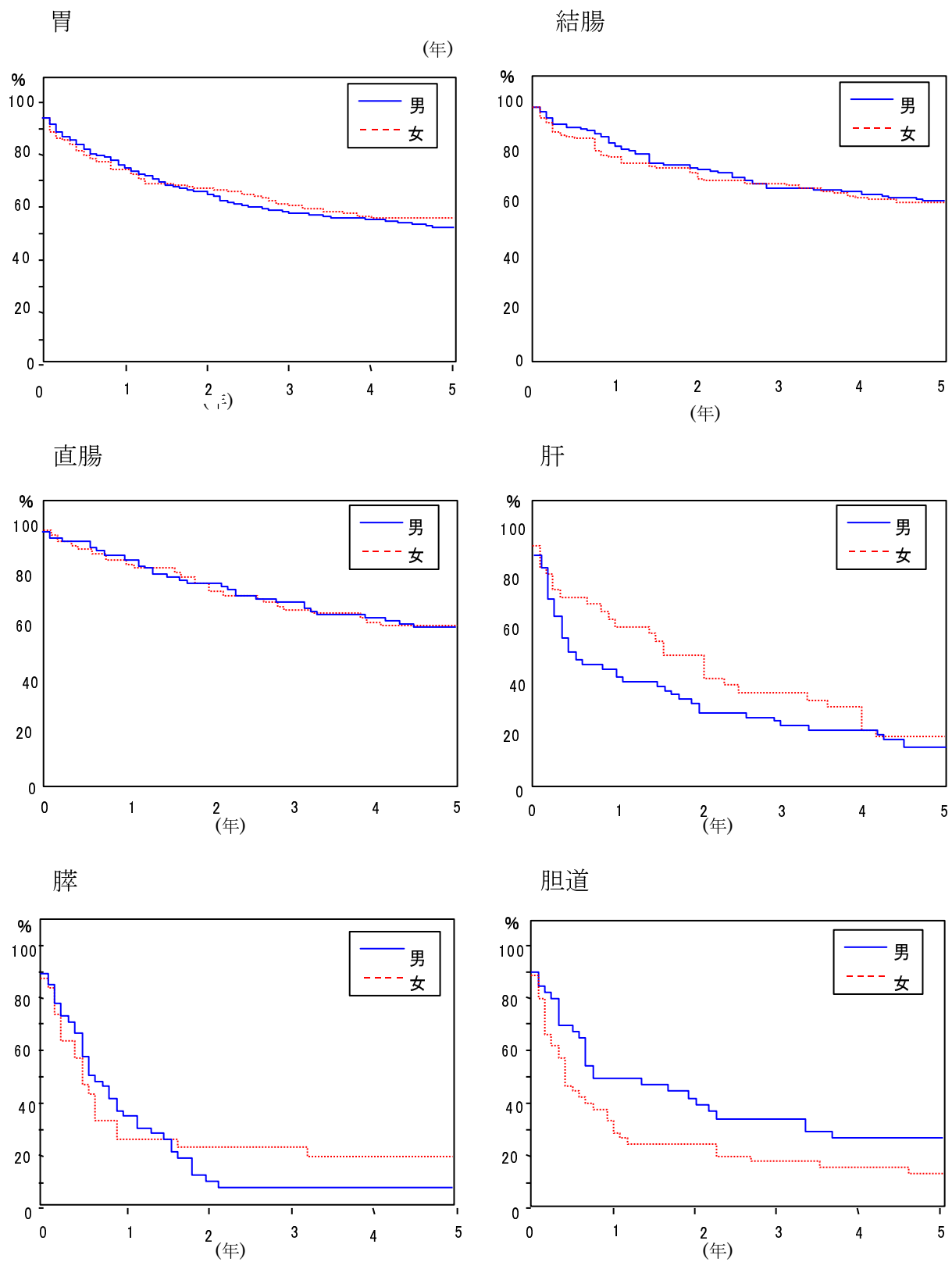
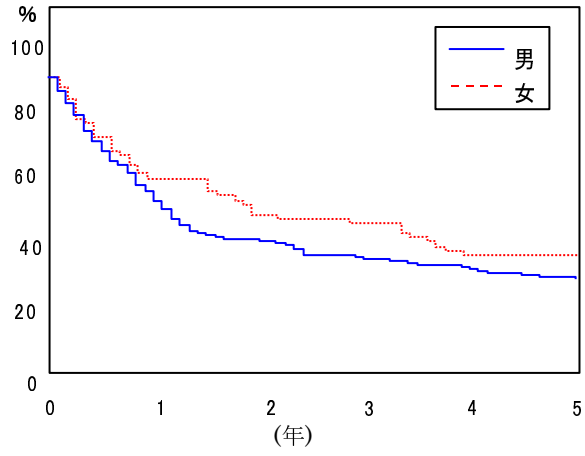


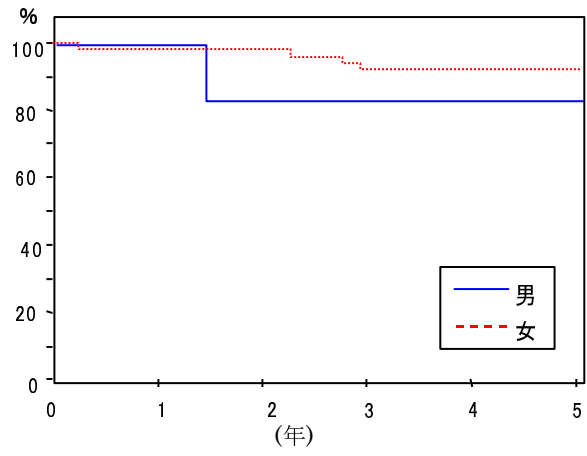
图 8-3 部位別 5 年生存率曲線



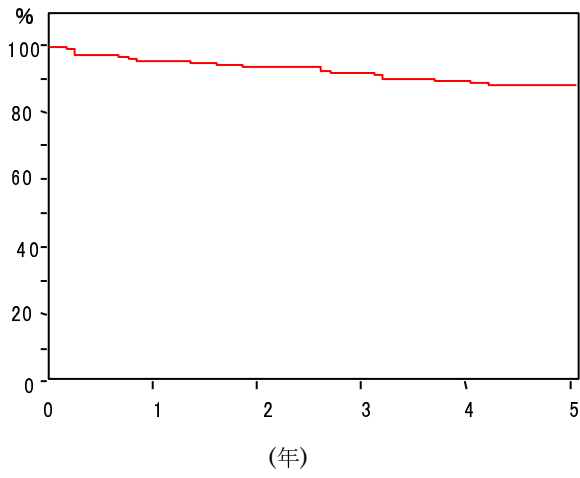
肺



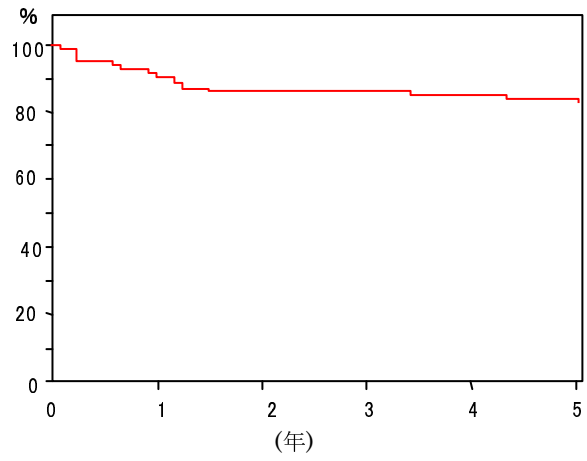
甲状腺



女性乳房



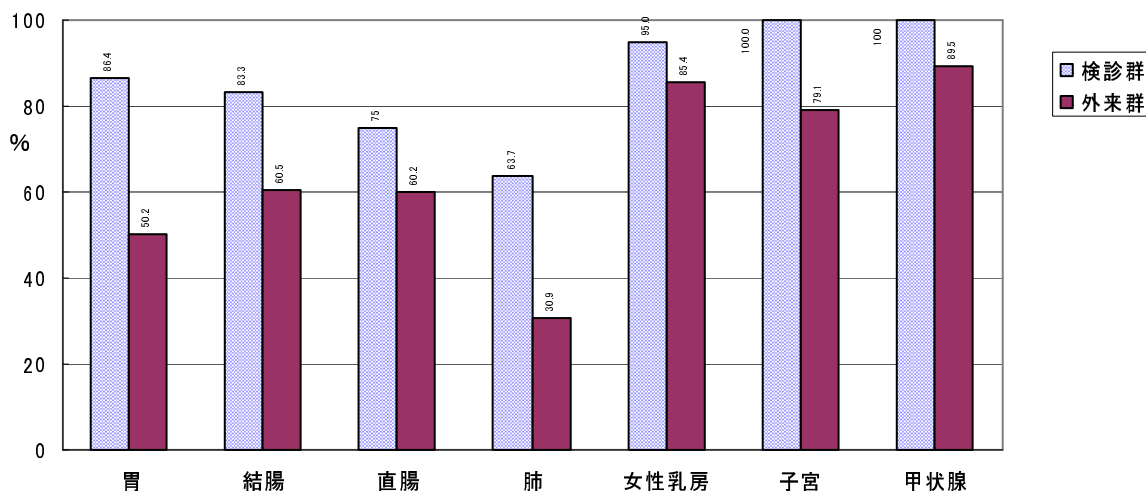
子宫



(1) がん検診受診群と外来群における生存率（付表 6-2）

検診(施設検診と集団検診と健康診断(ドックを含む。))でのがん発見群(以下、「検診群」という。)と検診以外の外来診療(直接受診と他院からの紹介)のがん発見群(以下、「外来群」という。)別に5年生存率を示した。部位は、「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき、がん検診を行っている6部位及び甲状腺に限った。いずれの部位も検診群の生存率が外来群の生存率を上回っていた。

図 8-4 検診群、外来群別 5 年生存率

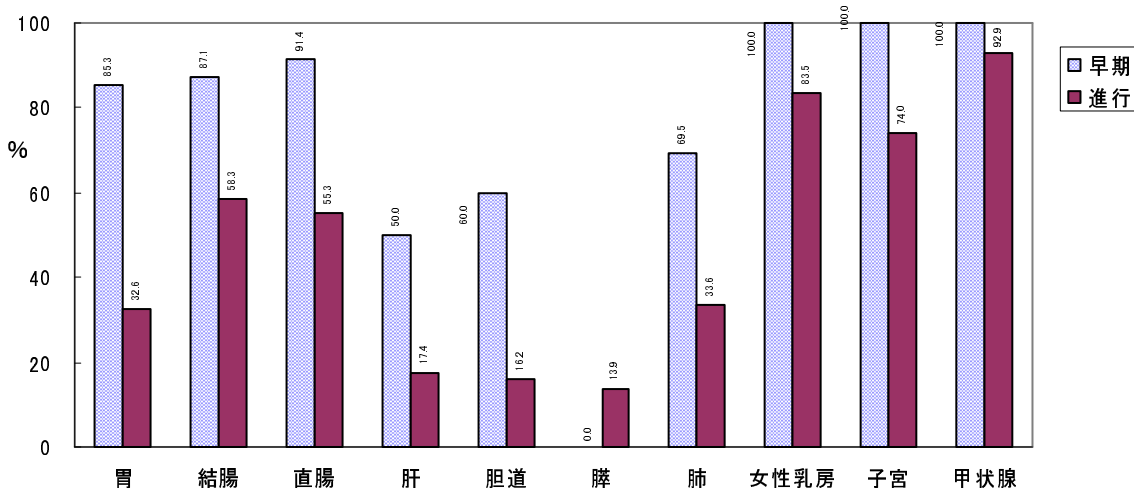


(2) 病巣のひろがりによる生存率の状況（付表 6-3）

病巣のひろがり別(早期、進行がん)^{注)}の5年生存率を示したが、いずれの部位も早期の生存率が進行がんの生存率を上回っていた。

なお、膵は早期がんの対象者はいなかった。

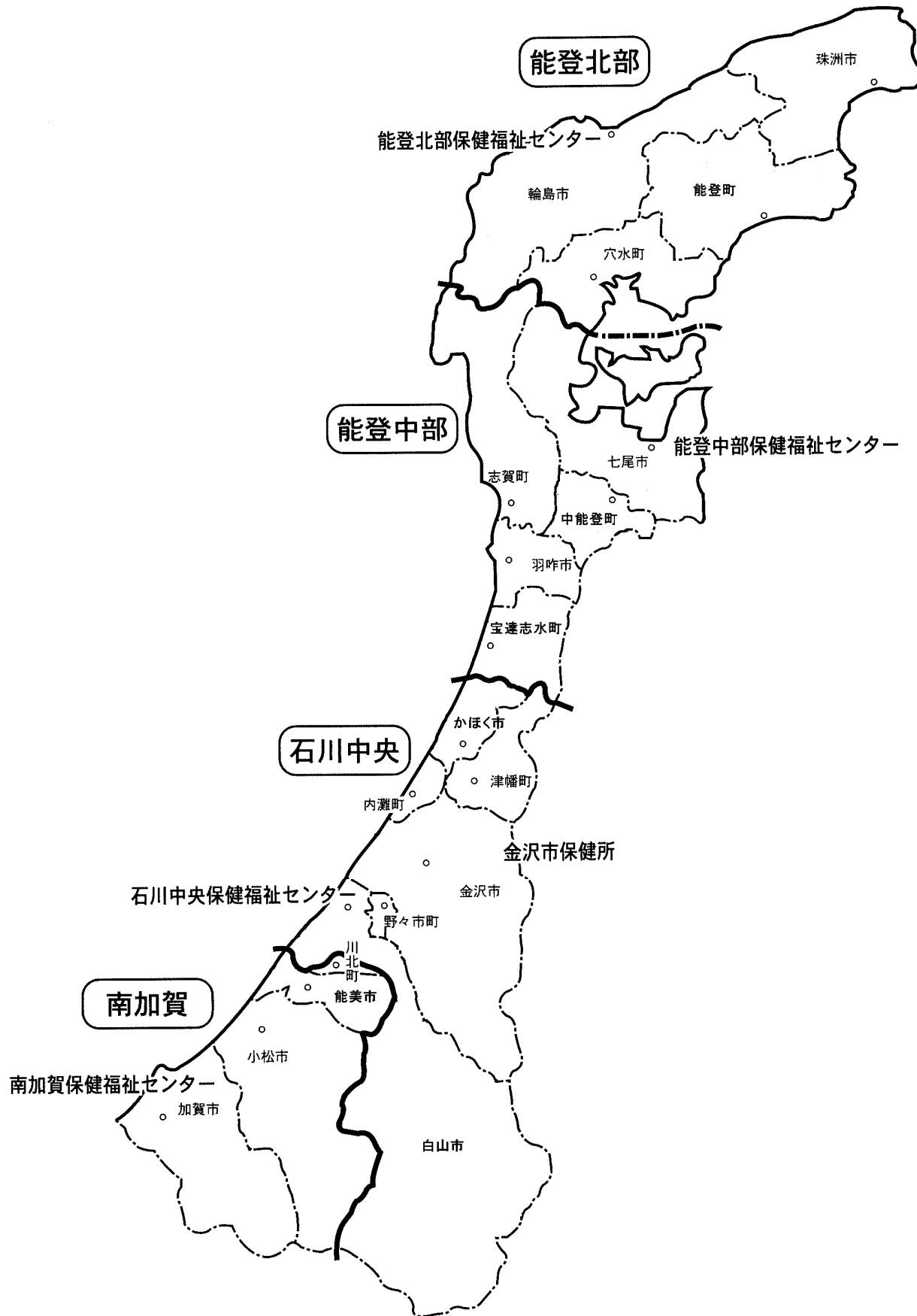
図 8-5 病巣のひろがり別 5 年生存率



注) 「病巣のひろがり」は次の区分による。

- ・早期(上皮内がんを含む。)
- ・進行がん(限局性、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移)

<参考> 二次医療圏域



平成18年4月1日当時

付 表

表1-1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率 (平成18年)

部位	罹患数			罹患率 (人口10万対)			年齢調整罹患率 (人口10万対)		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
胃	992	660	332	84.7	116.7	54.8	46.5	71.8	26.3
結腸	502	257	245	42.9	45.5	40.5	22.7	27.6	18.8
直腸	225	139	86	19.2	24.6	14.2	11.5	15.9	8.1
肝	377	232	145	32.2	41.0	23.9	18.6	26.9	11.2
胆道	194	108	86	16.6	19.1	14.2	7.6	10.8	5.2
膵	267	156	111	22.8	27.6	18.3	11.6	16.4	7.8
肺	813	588	225	69.4	104.0	37.2	35.6	60.2	17.3
女性乳房	320	—	320	—	—	52.8	—	—	37.6
子宮	99	—	99	—	—	16.3	—	—	12.1
甲状腺	89	20	69	7.6	3.5	11.4	5.5	2.4	8.6
計	3,878	2,160	1,718						

表1-2 部位別罹患率経年変化(平成4年~18年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	85.0	31.2	20.5	23.4	15.3	15.4	47.7			7.6
平成5	85.8	32.7	18.7	22.4	16.7	14.9	46.0			8.1
平成6	86.4	32.6	19.2	23.4	16.6	17.1	47.7			8.8
平成7	78.4	38.4	21.4	24.6	13.8	15.7	47.7			6.7
平成8	80.3	29.8	20.9	22.9	16.6	16.3	44.7			6.6
平成9	73.6	33.4	19.5	26.7	16.0	15.9	51.7			5.3
平成10	70.5	33.1	19.3	26.1	16.1	17.8	53.1			6.0
平成11	69.5	33.6	21.8	23.7	14.8	18.8	49.6			6.8
平成12	63.7	29.1	18.0	24.4	17.7	17.6	49.1			5.3
平成13	67.8	31.3	17.2	23.9	14.0	18.0	50.3			6.5
平成14	65.8	36.1	19.5	24.1	18.4	17.4	53.7			5.8
平成15	57.3	30.7	15.0	22.5	16.4	17.4	47.8			3.1
平成16	60.2	35.7	16.9	24.4	16.1	18.6	54.5			4.9
平成17	73.6	40.2	17.8	29.3	16.1	21.1	67.8			4.1
平成18	84.7	42.9	19.2	32.2	16.6	22.8	69.4			7.6
男										
平成4	113.6	36.1	26.7	33.8	12.8	17.6	67.7			1.8
平成5	120.9	37.1	24.7	31.4	14.6	17.6	69.8			2.7
平成6	114.1	37.9	23.9	31.7	15.9	20.0	67.7			2.3
平成7	100.2	43.6	27.7	33.1	12.4	18.7	69.9			1.8
平成8	105.8	31.8	24.0	29.0	15.7	18.5	70.1			2.1
平成9	97.6	35.8	24.8	37.8	15.2	18.2	76.8			1.2
平成10	92.9	37.9	24.1	35.1	14.0	19.4	79.3			2.0
平成11	95.5	39.5	25.0	32.0	13.1	21.1	73.2			2.6
平成12	88.9	31.3	22.4	32.2	17.1	19.3	75.8			1.4
平成13	93.4	35.2	22.5	32.4	11.1	19.3	78.3			3.7
平成14	85.7	39.1	24.3	29.7	18.1	17.9	81.6			1.9
平成15	74.2	33.3	19.4	30.1	12.5	20.1	73.3			2.1
平成16	82.7	39.2	22.6	31.4	13.6	20.0	79.8			2.6
平成17	97.5	42.1	21.1	38.7	17.1	23.3	100.9			1.6
平成18	116.7	45.5	24.6	41.0	19.1	27.6	104.0			3.5
女										
平成4	58.3	26.7	14.7	13.7	17.7	13.4	28.5	40.7	24.7	13.1
平成5	53.2	28.6	13.1	14.0	18.7	12.4	24.0	42.0	25.3	13.2
平成6	60.7	27.7	14.8	15.7	17.2	14.3	29.0	41.6	22.6	14.8
平成7	57.9	33.5	15.4	16.6	15.1	12.8	26.9	42.0	20.4	11.3
平成8	56.5	27.8	18.0	17.2	17.4	14.2	21.0	38.2	22.9	10.8
平成9	51.1	31.1	14.4	16.4	16.7	13.8	28.2	41.1	24.4	9.2
平成10	49.6	28.6	14.9	17.7	18.2	16.4	28.6	39.9	18.8	10.5
平成11	45.2	28.1	18.8	15.9	16.4	16.5	27.5	38.3	20.0	10.8
平成12	40.0	27.1	13.9	17.2	18.2	16.1	24.0	36.7	15.4	8.9
平成13	43.8	27.7	12.2	16.0	16.8	16.8	24.0	31.4	18.8	9.2
平成14	47.2	33.2	15.0	18.8	18.6	17.0	27.7	32.8	15.6	9.4
平成15	41.5	28.3	10.9	15.3	20.1	14.8	24.1	26.5	17.0	4.0
平成16	39.2	32.5	11.5	17.8	18.5	17.3	30.8	30.7	18.6	6.9
平成17	51.3	38.5	14.8	20.4	15.3	19.1	36.8	34.8	16.3	6.5
平成18	54.8	40.5	14.2	23.9	14.2	18.3	37.2	52.8	16.3	11.4

表1-3 部位別年齢調整罹患率経年変化(平成4年～18年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	66.3	23.9	15.9	18.4	11.3	11.1	35.3			6.8
平成5	66.2	24.8	14.7	17.3	11.6	10.8	33.6			7.1
平成6	64.4	23.8	14.9	17.5	11.1	12.0	33.9			7.9
平成7	56.4	26.9	15.6	17.5	8.8	10.7	32.7			5.9
平成8	56.3	20.6	14.9	16.3	10.4	10.7	29.7			5.6
平成9	49.6	22.5	14.1	18.7	9.6	10.1	33.5			4.5
平成10	47.2	21.5	13.1	17.4	9.6	11.1	33.6			5.0
平成11	45.3	21.1	14.4	15.3	8.5	11.4	30.8			5.6
平成12	39.6	17.5	11.7	15.7	9.8	10.5	29.1			4.0
平成13	41.2	18.8	10.7	14.6	7.2	10.8	29.1			5.1
平成14	38.6	20.1	12.1	14.6	9.4	9.8	30.7			4.4
平成15	31.8	16.8	8.7	12.8	7.8	9.2	25.6			2.2
平成16	32.7	19.7	9.8	13.3	7.3	9.9	28.3			3.4
平成17	40.0	21.2	10.5	16.0	7.5	10.5	36.1			3.1
平成18	46.5	22.7	11.5	18.6	7.6	11.6	35.6			5.5
男										
平成4	99.1	31.2	23.2	29.4	11.2	15.1	58.0			1.6
平成5	103.4	31.6	21.2	26.8	12.2	14.7	58.6			2.4
平成6	95.3	31.1	20.3	26.8	13.0	16.5	55.5			2.0
平成7	81.6	35.4	22.8	27.0	9.8	15.2	56.2			1.6
平成8	84.5	25.4	19.1	23.1	12.0	14.4	54.4			1.9
平成9	75.4	27.7	20.0	29.1	11.5	13.9	58.1			1.1
平成10	70.8	28.6	18.1	26.5	10.2	14.4	58.7			1.3
平成11	70.5	28.8	18.5	23.5	9.1	15.3	52.3			2.1
平成12	63.6	21.9	16.3	23.3	11.7	13.6	52.6			2.1
平成13	64.5	24.4	15.9	22.9	7.2	13.7	51.9			2.7
平成14	58.0	25.4	16.7	20.2	11.7	12.2	53.6			1.5
平成15	47.9	21.6	12.8	20.1	7.8	12.6	45.8			1.5
平成16	51.5	25.2	14.6	20.3	7.6	12.9	48.2			2.1
平成17	60.0	25.5	14.0	24.3	9.8	13.9	60.7			1.1
平成18	71.8	27.6	15.9	26.9	10.8	16.4	60.2			2.4
女										
平成4	41.1	18.7	10.2	9.5	11.2	8.2	18.7	35.0	21.1	11.5
平成5	37.4	19.6	9.4	9.4	11.4	8.1	15.5	36.4	21.6	11.3
平成6	41.2	18.5	10.2	9.8	9.5	8.2	18.4	36.1	18.8	13.5
平成7	37.5	20.9	10.1	9.8	8.4	7.3	16.2	35.2	17.0	10.0
平成8	35.6	17.1	11.7	10.5	9.1	7.8	12.5	30.5	18.8	8.9
平成9	29.7	18.6	9.4	10.4	8.0	7.4	16.3	34.6	20.0	7.6
平成10	28.9	15.9	9.2	10.2	9.2	8.4	15.4	32.1	14.5	8.5
平成11	26.5	14.9	11.3	8.6	8.4	8.4	15.7	31.2	17.3	8.7
平成12	21.0	14.3	7.9	9.6	8.3	8.2	12.1	28.4	12.6	6.7
平成13	24.0	14.5	6.7	7.7	7.1	8.6	13.0	23.4	14.4	7.5
平成14	23.6	16.2	8.5	10.2	7.7	7.7	13.9	24.5	13.1	7.3
平成15	19.7	13.0	5.5	6.7	7.7	6.8	11.3	18.8	11.8	2.8
平成16	18.7	15.4	6.1	7.4	7.2	7.6	13.9	21.8	13.7	4.7
平成17	24.5	18.0	7.5	9.1	5.7	7.8	18.0	24.6	12.4	5.2
平成18	26.3	18.8	8.1	11.2	5.2	7.8	17.3	37.6	12.1	8.6

表1-4 年齢階級別罹患数

男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,170,936	3459	992	502	225	377	194	267	813	89
0~4歳	51,815	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	56,643	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	56,271	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	60,253	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	65,305	4	1	0	0	0	0	0	0	3
25~29	68,615	9	4	2	0	0	0	0	1	2
30~34	87,089	10	5	0	0	0	0	0	3	2
35~39	79,609	22	9	3	1	3	1	1	2	2
40~44	68,317	30	8	4	4	5	0	2	4	3
45~49	69,141	65	17	9	6	11	1	1	14	6
50~54	75,583	145	46	20	21	17	3	10	23	5
55~59	105,540	291	92	54	20	46	8	13	41	17
60~64	74,452	348	100	52	21	42	16	21	84	12
65~69	64,961	420	133	53	35	43	24	34	87	11
70~74	61,933	521	127	72	41	66	29	46	131	9
75~79	53,145	601	171	66	35	73	28	49	171	8
80~84	37,392	482	141	80	18	40	29	53	117	4
85~89	21,683	306	77	54	12	18	31	18	93	3
90~	13,189	205	61	33	11	13	24	19	42	2

男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	565,327	2160	660	257	139	232	108	156	588	20
0~4歳	26,330	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	29,090	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	28,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	31,091	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	35,313	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25~29	34,850	4	3	1	0	0	0	0	0	0
30~34	43,990	2	1	0	0	0	0	0	1	0
35~39	39,609	15	7	2	1	2	1	1	1	0
40~44	33,615	13	3	1	2	4	0	1	2	0
45~49	34,111	39	9	5	2	10	1	1	9	2
50~54	37,168	87	30	11	14	11	1	6	12	2
55~59	51,990	200	67	32	14	36	5	10	34	2
60~64	36,094	233	73	27	13	35	9	11	64	1
65~69	30,570	298	108	37	23	29	17	22	59	3
70~74	27,352	359	93	38	25	38	20	35	106	4
75~79	22,111	412	121	37	23	39	19	28	142	3
80~84	13,695	286	88	36	11	19	12	31	87	2
85~89	6,630	139	38	18	5	8	13	5	51	1
90~	2,976	73	19	12	6	1	10	5	20	0

※年齢階級別人口は、国勢調査年次は国勢調査人口、中間年は石川県推計人口。

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	脾	肺	甲状腺
總 計	605,609	1529	332	245	86	145	86	111	225	69
0~4歲	25,485	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	27,553	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	27,529	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	29,162	1	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	29,992	3	1	0	0	0	0	0	0	3
25~29	33,765	4	1	1	0	0	0	0	1	2
30~34	43,099	18	4	0	0	0	0	0	2	2
35~39	40,000	17	2	1	0	1	0	0	1	2
40~44	34,702	25	5	3	2	1	0	1	2	3
45~49	35,030	49	8	4	4	1	0	0	5	4
50~54	38,415	79	16	9	7	6	2	4	11	3
55~59	53,550	124	25	22	6	10	3	3	7	15
60~64	38,358	122	27	25	8	7	7	10	20	11
65~69	34,391	169	25	16	12	14	7	12	28	8
70~74	34,581	208	34	34	16	28	9	11	25	5
75~79	31,034	213	50	29	12	34	9	21	29	5
80~84	23,697	208	53	44	7	21	17	22	30	2
85~89	15,053	157	39	36	7	10	18	13	42	2
90~	10,213	132	42	21	5	12	14	14	22	2

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
總 計	605,609	320	248	72	99	11	29	33	26
0~4歲	25,485	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	27,553	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	27,529	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	29,162	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	29,992	0	0	0	1	0	0	0	1
25~29	33,765	2	2	0	1	0	0	0	1
30~34	43,099	5	3	2	4	1	1	1	1
35~39	40,000	6	6	0	5	0	0	1	4
40~44	34,702	17	12	5	10	0	2	0	8
45~49	35,030	33	19	14	5	1	0	3	1
50~54	38,415	27	19	8	11	1	2	5	3
55~59	53,550	51	36	15	16	2	3	8	3
60~64	38,358	43	37	6	8	1	3	4	0
65~69	34,391	36	31	5	6	0	0	4	2
70~74	34,581	23	20	3	7	0	4	1	2
75~79	31,034	32	26	6	6	1	4	1	0
80~84	23,697	23	20	3	8	0	4	4	0
85~89	15,053	9	5	4	7	3	3	1	0
90~	10,213	13	12	1	4	1	3	0	0

表1-5 年齡階級別罹患率(人口10万対)

男女計:8部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
總 計	1,170,936	331.2	84.7	42.9	19.2	32.2	16.6	22.8	69.4	7.6
0~4歳	51,815	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	56,643	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	56,271	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	60,253	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	65,305	7.7	1.5	-	-	-	-	-	-	4.6
25~29	68,615	17.5	5.8	2.9	-	-	-	-	1.5	2.9
30~34	87,089	21.8	5.7	-	-	-	-	-	3.4	2.3
35~39	79,609	41.5	11.3	3.8	1.3	3.8	1.3	1.3	2.5	2.5
40~44	68,317	83.4	11.7	5.9	5.9	7.3	-	2.9	5.9	4.4
45~49	69,141	149.0	24.6	13.0	8.7	15.9	1.4	1.4	20.2	8.7
50~54	75,583	242.1	60.9	26.5	27.8	22.5	4.0	13.2	30.4	6.6
55~59	105,540	339.2	87.2	51.2	19.0	43.6	7.6	12.3	38.8	16.1
60~64	74,452	535.9	134.3	69.8	28.2	56.4	21.5	28.2	112.8	16.1
65~69	64,961	711.2	204.7	81.6	53.9	66.2	36.9	52.3	133.9	16.9
70~74	61,933	889.7	205.1	116.3	66.2	106.6	46.8	74.3	211.5	14.5
75~79	53,145	1202.4	321.8	124.2	65.9	137.4	52.7	92.2	321.8	15.1
80~84	37,392	1372.0	377.1	213.9	48.1	107.0	77.6	141.7	312.9	10.7
85~89	21,683	1485.0	355.1	249.0	55.3	83.0	143.0	83.0	428.9	13.8
90~	13,189	1683.2	462.5	250.2	83.4	98.6	182.0	144.1	318.4	15.2

男:8部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
總 計	565,327	382.1	116.7	45.5	24.6	41.0	19.1	27.6	104.0	3.5
0~4歳	26,330	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	29,090	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	28,742	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	31,091	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	35,313	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	34,850	11.5	8.6	2.9	-	-	-	-	-	-
30~34	43,990	4.5	2.3	-	-	-	-	-	2.3	-
35~39	39,609	37.9	17.7	5.0	2.5	5.0	2.5	2.5	2.5	-
40~44	33,615	38.7	8.9	3.0	5.9	11.9	-	3.0	5.9	-
45~49	34,111	114.3	26.4	14.7	5.9	29.3	2.9	2.9	26.4	5.9
50~54	37,168	234.1	80.7	29.6	37.7	29.6	2.7	16.1	32.3	5.4
55~59	51,990	384.7	128.9	61.6	26.9	69.2	9.6	19.2	65.4	3.8
60~64	36,094	645.5	202.2	74.8	36.0	97.0	24.9	30.5	177.3	2.8
65~69	30,570	974.8	353.3	121.0	75.2	94.9	55.6	72.0	193.0	9.8
70~74	27,352	1312.5	340.0	138.9	91.4	138.9	73.1	128.0	387.5	14.6
75~79	22,111	1863.3	547.2	167.3	104.0	176.4	85.9	126.6	642.2	13.6
80~84	13,695	2088.4	642.6	262.9	80.3	138.7	87.6	226.4	635.3	14.6
85~89	6,630	2096.5	573.2	271.5	75.4	120.7	196.1	75.4	769.2	15.1
90~	2,976	2453.0	638.4	403.2	201.6	33.6	336.0	168.0	672.0	-

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	脾	肺	甲状腺
総 計	605,609	283.7	54.8	40.5	14.2	23.9	14.2	18.3	37.2	11.4
0～4歳	25,485	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	27,553	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	27,529	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	29,162	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24	29,992	16.7	3.3	-	-	-	-	-	-	10.0
25～29	33,765	23.7	3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	5.9
30～34	43,099	39.4	9.3	-	-	-	-	-	4.6	4.6
35～39	40,000	45.0	5.0	2.5	-	2.5	-	-	2.5	5.0
40～44	34,702	126.8	14.4	8.6	5.8	2.9	-	2.9	5.8	8.6
45～49	35,030	182.7	22.8	11.4	11.4	2.9	-	-	14.3	11.4
50～54	38,415	249.9	41.7	23.4	18.2	15.6	5.2	10.4	28.6	7.8
55～59	53,550	295.1	46.7	41.1	11.2	18.7	5.6	5.6	13.1	28.0
60～64	38,358	432.8	70.4	65.2	20.9	18.2	18.2	26.1	52.1	28.7
65～69	34,391	476.9	72.7	46.5	34.9	40.7	20.4	34.9	81.4	23.3
70～74	34,581	555.2	98.3	98.3	46.3	81.0	26.0	31.8	72.3	14.5
75～79	31,034	731.5	161.1	93.4	38.7	109.6	29.0	67.7	93.4	16.1
80～84	23,697	957.9	223.7	185.7	29.5	88.6	71.7	92.8	126.6	8.4
85～89	15,053	1215.7	259.1	239.2	46.5	66.4	119.6	86.4	279.0	13.3
90～	10,213	1458.9	411.2	205.6	49.0	117.5	137.1	137.1	215.4	19.6

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
総 計	605,609	52.8	41.0	11.9	16.3	1.8	4.8	5.4	4.3
0～4歳	25,485	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	27,553	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	27,529	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	29,162	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24	29,992	-	-	-	3.3	-	-	-	3.3
25～29	33,765	5.9	5.9	-	3.0	-	-	-	3.0
30～34	43,099	11.6	7.0	4.6	9.3	2.3	2.3	2.3	2.3
35～39	40,000	15.0	15.0	-	12.5	-	-	2.5	10.0
40～44	34,702	49.0	34.6	14.4	28.8	-	5.8	-	23.1
45～49	35,030	94.2	54.2	40.0	14.3	2.9	-	8.6	2.9
50～54	38,415	70.3	49.5	20.8	28.6	2.6	5.2	13.0	7.8
55～59	53,550	95.2	67.2	28.0	29.9	3.7	5.6	14.9	5.6
60～64	38,358	112.1	96.5	15.6	20.9	2.6	7.8	10.4	-
65～69	34,391	104.7	90.1	14.5	17.4	-	-	11.6	5.8
70～74	34,581	66.5	57.8	8.7	20.2	-	11.6	2.9	5.8
75～79	31,034	103.1	83.8	19.3	19.3	3.2	12.9	3.2	-
80～84	23,697	97.1	84.4	12.7	33.8	-	16.9	16.9	-
85～89	15,053	59.8	33.2	26.6	46.5	19.9	19.9	6.6	-
90～	10,213	127.3	117.5	9.8	39.2	9.8	29.4	-	-

表1-6 年齢階級別罹患順位及び罹患数

男女計

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	992	肺	813	結腸	502	肝	377	乳房	320
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24	甲状腺	3	胃	1	子宮	1				
25~29	胃	4	結腸	2	乳房	2	甲状腺	2	肺	1
30~34	胃	5	乳房	5	子宮	4	肺	3	甲状腺	2
35~39	胃	9	乳房	6	子宮	5	結腸	3	肝	3
40~44	乳房	17	子宮	10	胃	8	肝	5	結腸	4
45~49	乳房	33	胃	17	肺	14	肝	11	結腸	9
50~54	胃	46	乳房	27	肺	23	直腸	21	結腸	20
55~59	胃	92	結腸	54	乳房	51	肝	46	肺	41
60~64	胃	100	肺	84	結腸	52	乳房	43	肝	42
65~69	胃	133	肺	87	結腸	53	肝	43	乳房	36
70~74	肺	131	胃	127	結腸	72	肝	66	膵	46
75~79	胃	171	肺	171	肝	73	結腸	66	膵	49
80~84	胃	141	肺	117	結腸	80	膵	53	肝	40
85~89	肺	93	胃	77	結腸	54	胆道	31	肝	18
90~	胃	61	肺	42	結腸	33	胆道	24	膵	19

男

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	660	肺	588	結腸	257	肝	232	膵	156
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24										
25~29	胃	3	結腸	1						
30~34	胃	1	肺	1						
35~39	胃	7	結腸	2	肝	2	直腸	1	胆道	1
40~44	肝	4	胃	3	直腸	2	肺	2	結腸	1
45~49	肝	10	胃	9	肺	9	結腸	5	直腸	2
50~54	胃	30	直腸	14	肺	12	結腸	11	肝	11
55~59	胃	67	肝	36	肺	34	結腸	32	直腸	14
60~64	胃	73	肺	64	肝	35	結腸	27	直腸	13
65~69	胃	108	肺	59	結腸	37	肝	29	直腸	23
70~74	肺	106	胃	93	結腸	38	肝	38	膵	35
75~79	肺	142	胃	121	肝	39	結腸	37	膵	28
80~84	胃	88	肺	87	結腸	36	膵	31	肝	19
85~89	肺	51	胃	38	結腸	18	胆道	13	肝	8
90~	肺	20	胃	19	結腸	12	胆道	10	直腸	6

女

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	332	乳房	320	結腸	245	肺	225	肝	145
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24	甲状腺	3	胃	1	子宮	1				
25~29	乳房	2	甲状腺	2	胃	1	結腸	1	肺	1
30~34	乳房	5	胃	4	子宮	4	肺	2	甲状腺	2
35~39	乳房	6	子宮	5	胃	2	甲状腺	2	結腸	1
40~44	乳房	17	子宮	10	胃	5	結腸	3	甲状腺	3
45~49	乳房	33	胃	8	肺	5	子宮	5	結腸	4
50~54	乳房	27	胃	16	肺	11	子宮	11	結腸	9
55~59	乳房	51	胃	25	結腸	22	子宮	16	甲状腺	15
60~64	乳房	43	胃	27	結腸	25	肺	20	甲状腺	11
65~69	乳房	36	肺	28	胃	25	結腸	16	肝	14
70~74	胃	34	結腸	34	肝	28	肺	25	乳房	23
75~79	胃	50	肝	34	乳房	32	結腸	29	肺	29
80~84	胃	53	結腸	44	肺	30	乳房	23	膵	22
85~89	肺	42	胃	39	結腸	36	胆道	18	膵	13
90~	胃	42	肺	22	結腸	21	胆道	14	膵	14

表2-1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

(平成18年)

部位	死亡数			死亡率 (人口10万対)			年齢調整死亡率 (人口10万対)		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
胃	552	359	193	47.1	63.5	31.9	23.0	36.7	12.7
結腸	254	111	143	21.7	19.6	23.6	9.9	11.0	9.1
直腸	125	76	49	10.7	13.4	8.1	6.0	8.3	4.3
肝	295	170	125	25.2	30.1	20.6	13.3	18.8	8.6
胆道	176	94	82	15.0	16.6	13.5	6.8	9.2	5.0
膵	245	133	112	20.9	23.5	18.5	10.2	13.6	7.7
肺	628	456	172	53.6	80.7	28.4	25.9	45.6	11.7
女性乳房	100	-	100	-	-	16.5	-	-	10.8
子宮	33	-	33	-	-	5.4	-	-	2.6
甲状腺	20	7	13	1.7	1.2	2.1	0.7	0.6	0.9
計	2,428	1,406	1,022						

表2-2 部位別死亡率経年変化(平成4年～18年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	41.2	13.8	9.7	16.3	12.3	14.0	35.5			1.3
平成5	42.6	15.3	7.4	15.7	13.4	13.3	40.0			1.5
平成6	44.2	14.5	7.9	17.8	13.1	14.8	38.3			1.4
平成7	42.9	18.6	9.2	20.8	12.9	15.5	38.8			0.8
平成8	46.7	17.6	8.9	19.5	13.1	15.5	42.2			1.7
平成9	46.2	19.3	8.0	20.7	13.4	14.0	43.5			0.7
平成10	46.7	19.5	7.9	23.1	13.4	15.7	46.5			1.0
平成11	44.1	19.0	11.2	24.4	14.6	18.7	42.8			1.6
平成12	45.8	20.5	10.0	24.2	15.6	18.9	44.9			1.2
平成13	47.5	20.0	10.2	25.1	12.1	17.4	45.1			1.3
平成14	43.5	23.0	12.9	23.6	17.2	16.4	48.6			1.9
平成15	43.9	22.7	10.6	22.4	16.6	18.0	48.4			1.0
平成16	46.0	21.0	11.9	24.1	15.4	20.1	50.1			2.1
平成17	48.7	22.1	9.7	22.8	14.1	18.4	53.2			1.3
平成18	47.1	21.7	10.7	25.2	15.0	20.9	53.6			1.7
男										
平成4	53.7	15.6	12.4	24.2	11.4	14.9	51.6			0.4
平成5	56.1	14.9	8.9	22.4	11.2	16.7	61.2			0.7
平成6	58.1	16.1	8.9	24.8	11.0	17.2	57.9			1.1
平成7	56.3	20.9	10.9	28.7	10.6	19.0	58.2			0.4
平成8	61.7	19.2	10.5	25.3	12.7	17.6	67.2			1.1
平成9	61.2	21.1	9.9	29.6	12.0	15.6	65.1			0.1
平成10	60.6	20.8	10.1	30.0	11.5	16.2	68.4			0.5
平成11	59.7	19.6	13.6	33.4	12.6	20.6	65.5			0.9
平成12	61.3	21.7	10.4	32.2	15.7	21.9	69.3			0.9
平成13	64.4	23.2	12.8	34.8	9.9	19.2	71.6			1.2
平成14	55.9	22.9	17.9	31.3	15.8	16.2	73.9			1.1
平成15	59.2	23.3	15.2	30.7	13.4	21.1	76.3			0.9
平成16	63.6	21.2	16.1	32.3	13.2	23.1	74.7			1.1
平成17	61.1	20.4	11.9	29.8	13.3	19.9	82.1			1.2
平成18	63.5	19.6	13.4	30.1	16.6	23.5	80.7			1.2
女										
平成4	29.6	12.1	7.1	8.9	13.1	13.1	20.5	10.3	8.4	2.2
平成5	30.1	15.7	5.9	9.4	15.5	10.1	20.2	11.1	8.1	2.3
平成6	31.2	13.0	6.9	11.4	15.0	12.5	20.0	8.9	8.7	1.6
平成7	30.7	16.3	7.3	13.2	15.2	12.2	20.6	13.2	5.6	1.2
平成8	33.1	16.0	6.8	14.0	13.7	13.5	18.6	11.4	9.4	2.3
平成9	32.4	17.4	5.9	12.5	15.0	12.5	23.4	12.7	8.7	1.3
平成10	33.7	18.3	5.9	16.5	15.2	15.2	26.0	12.6	8.3	1.5
平成11	29.5	18.5	9.0	16.0	16.5	16.9	21.6	15.5	7.0	2.3
平成12	31.3	19.4	9.6	16.7	15.6	16.1	22.0	15.6	7.1	1.5
平成13	31.8	17.0	7.7	16.0	14.2	15.8	20.2	14.8	7.6	1.3
平成14	31.8	23.0	8.2	16.3	18.4	16.6	25.0	13.2	6.3	2.6
平成15	29.7	22.2	6.3	14.7	19.6	15.2	22.4	15.5	10.7	1.2
平成16	29.5	20.8	7.9	16.3	17.5	17.3	27.2	17.6	9.1	3.1
平成17	37.2	23.7	7.6	16.3	14.8	17.1	26.2	16.1	6.8	1.3
平成18	31.9	23.6	8.1	20.6	13.5	18.5	28.4	16.5	5.4	2.1

表2-3 部位別年齢調整死亡率経年変化(平成4年～18年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	30.9	10.1	7.0	12.5	8.7	10.1	26.0			0.8
平成5	31.0	10.8	5.4	11.8	9.2	9.4	28.7			1.0
平成6	31.3	10.1	5.7	13.2	8.4	10.4	26.7			1.1
平成7	29.0	12.6	6.3	14.8	8.2	10.5	25.9			0.5
平成8	30.9	11.6	6.3	13.6	8.1	10.2	28.0			1.1
平成9	29.3	12.0	5.5	14.2	8.0	8.7	27.4			0.4
平成10	29.5	12.0	5.1	15.3	7.6	9.8	28.6			0.5
平成11	26.8	11.2	6.9	15.5	8.1	11.2	25.9			0.6
平成12	26.7	11.4	6.1	15.5	8.5	11.5	25.8			0.6
平成13	27.4	11.7	6.2	15.5	6.0	10.3	25.1			0.7
平成14	23.8	11.8	8.0	14.0	8.6	9.0	27.0			0.9
平成15	23.3	11.7	5.7	12.7	7.7	9.6	25.4			0.5
平成16	23.6	10.6	6.4	13.1	6.9	10.8	25.5			0.9
平成17	23.9	10.3	5.1	11.9	6.4	9.2	27.0			0.5
平成18	23.0	9.9	6.0	13.3	6.8	10.2	25.9			0.7
男										
平成4	46.2	13.5	10.5	20.9	9.7	12.8	43.9			0.3
平成5	47.0	12.4	7.5	19.0	9.3	13.9	51.3			0.6
平成6	47.5	13.1	7.3	20.8	8.8	14.3	47.2			0.9
平成7	44.7	16.7	8.8	23.6	8.3	16.0	46.6			0.3
平成8	49.3	15.7	9.1	20.6	9.9	14.2	53.6			0.9
平成9	46.1	16.1	7.9	22.6	9.1	11.8	48.5			0.0
平成10	45.3	15.6	7.5	22.8	8.1	12.2	50.2			0.3
平成11	43.1	13.9	9.9	24.2	8.7	14.9	46.6			0.9
平成12	42.5	15.0	7.5	23.2	10.6	15.6	47.4			0.6
平成13	43.4	16.1	9.0	24.7	6.4	13.5	47.0			0.8
平成14	36.2	14.7	12.3	21.1	10.2	10.7	47.6			0.6
平成15	37.6	14.6	9.7	20.2	8.2	13.5	47.2			0.5
平成16	38.4	13.1	10.1	20.8	7.4	14.6	44.7			0.6
平成17	35.5	11.6	7.3	18.1	7.5	12.0	48.5			0.6
平成18	36.7	11.0	8.3	18.8	9.2	13.6	45.6			0.6
女										
平成4	19.7	7.3	4.7	5.8	7.8	8.0	13.2	8.5	5.8	1.3
平成5	19.2	9.7	3.7	6.2	9.3	6.2	12.5	9.3	5.4	1.3
平成6	19.5	7.8	4.4	7.0	8.0	7.3	12.0	7.7	4.5	0.8
平成7	18.0	10.0	4.4	7.6	8.4	6.9	11.4	10.4	3.4	0.6
平成8	19.5	9.2	4.3	8.5	7.2	7.6	11.2	8.9	6.5	1.3
平成9	17.2	9.1	3.7	7.6	6.9	6.4	12.7	9.9	5.6	0.6
平成10	17.6	9.3	3.3	9.3	7.4	7.9	13.3	9.0	4.8	0.5
平成11	15.1	9.2	4.6	8.5	8.1	8.3	11.5	12.3	3.9	0.5
平成12	15.3	8.7	5.0	9.3	7.1	8.3	10.8	10.5	4.6	0.5
平成13	15.7	8.4	4.2	7.9	5.5	7.9	9.6	10.4	4.5	0.6
平成14	15.1	9.5	4.6	8.5	7.3	7.6	12.3	9.2	3.6	1.0
平成15	12.7	9.7	2.6	6.5	7.3	6.7	10.0	11.0	6.0	0.5
平成16	13.2	8.6	3.5	6.8	6.5	8.0	11.9	12.2	5.4	1.1
平成17	15.7	9.5	3.5	6.9	5.6	6.9	11.3	10.6	4.1	0.5
平成18	12.7	9.1	4.3	8.6	5.0	7.7	11.7	10.8	2.6	0.9

表2-4 年齢階級別死亡率(人口10万対)

男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,170,936	207.4	47.1	21.7	10.7	25.2	15.0	20.9	53.6	1.7
0~4歳	51,815	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	56,643	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	56,271	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	60,253	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	65,305	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	68,615	5.8	4.4	-	-	-	-	-	1.5	-
30~34	87,089	8.0	1.1	-	2.3	-	-	-	3.4	-
35~39	79,609	13.8	5.0	-	1.3	1.3	-	-	2.5	-
40~44	68,317	17.6	4.4	-	1.5	1.5	-	1.5	4.4	-
45~49	69,141	63.6	15.9	7.2	5.8	8.7	-	1.4	13.0	-
50~54	75,583	88.6	18.5	4.0	5.3	14.6	5.3	11.9	14.6	-
55~59	105,540	143.1	39.8	15.2	8.5	19.9	6.6	12.3	17.1	2.8
60~64	74,452	270.0	49.7	25.5	16.1	45.7	21.5	21.5	63.1	1.3
65~69	64,961	394.1	89.3	41.6	29.2	41.6	30.8	43.1	98.5	3.1
70~74	61,933	547.4	80.7	50.1	38.8	87.2	38.8	64.6	167.9	4.8
75~79	53,145	803.5	188.2	56.4	32.0	109.1	43.3	82.8	261.5	5.6
80~84	37,392	1093.8	275.5	133.7	37.4	120.3	85.6	147.1	256.7	2.7
85~89	21,683	1300.6	290.6	179.9	41.5	96.9	133.7	87.6	396.6	23.1
90~	13,189	1652.9	477.7	257.8	68.2	121.3	159.2	144.1	341.2	15.2

男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	565,327	248.7	63.5	19.6	13.4	30.1	16.6	23.5	80.7	1.2
0~4歳	26,330	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	29,090	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	28,742	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	31,091	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	35,313	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	34,850	5.7	5.7	-	-	-	-	-	-	-
30~34	43,990	2.3	-	-	-	-	-	-	2.3	-
35~39	39,609	12.6	5.0	-	2.5	2.5	-	-	2.5	-
40~44	33,615	14.9	3.0	-	3.0	3.0	-	3.0	3.0	-
45~49	34,111	79.2	23.5	8.8	5.9	14.7	-	2.9	23.5	-
50~54	37,168	86.1	24.2	-	8.1	18.8	2.7	10.8	21.5	-
55~59	51,990	177.0	67.3	17.3	11.5	32.7	9.6	11.5	26.9	-
60~64	36,094	335.2	63.7	30.5	19.4	74.8	22.2	30.5	94.2	-
65~69	30,570	539.7	153.7	39.3	36.0	62.2	49.1	49.1	150.5	-
70~74	27,352	833.6	124.3	51.2	58.5	120.6	65.8	102.4	299.8	11.0
75~79	22,111	1334.2	352.8	95.0	49.7	113.1	63.3	108.5	542.7	9.0
80~84	13,695	1679.4	481.9	131.4	51.1	167.9	94.9	219.1	533.0	-
85~89	6,630	1794.9	467.6	120.7	90.5	120.7	150.8	120.7	693.8	30.2
90~	2,976	2822.6	772.8	504.0	168.0	134.4	336.0	168.0	739.2	-

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	脾	肺	甲状腺
總 計	605,609	168.8	31.9	23.6	8.1	20.6	13.5	18.5	28.4	2.1
0~4歳	25,485	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,553	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	27,529	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	29,162	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	29,992	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	33,765	5.9	3.0	-	-	-	-	-	3.0	-
30~34	43,099	13.9	2.3	-	4.6	-	-	-	4.6	-
35~39	40,000	15.0	5.0	-	-	-	-	-	2.5	-
40~44	34,702	20.2	5.8	-	-	-	-	-	5.8	-
45~49	35,030	48.5	8.6	5.7	5.7	2.9	-	-	2.9	-
50~54	38,415	91.1	13.0	7.8	2.6	10.4	7.8	13.0	7.8	-
55~59	53,550	110.2	13.1	13.1	5.6	7.5	3.7	13.1	7.5	5.6
60~64	38,358	208.6	36.5	20.9	13.0	18.2	20.9	13.0	33.9	2.6
65~69	34,391	264.6	32.0	43.6	23.3	23.3	14.5	37.8	52.3	5.8
70~74	34,581	321.0	46.3	49.2	23.1	60.7	17.4	34.7	63.6	-
75~79	31,034	425.3	70.9	29.0	19.3	106.3	29.0	64.4	61.2	3.2
80~84	23,697	755.4	156.1	135.0	29.5	92.8	80.2	105.5	97.1	4.2
85~89	15,053	1082.8	212.6	205.9	19.9	86.4	126.2	73.1	265.7	19.9
90~	10,213	1312.1	391.7	186.0	39.2	117.5	107.7	137.1	225.2	19.6

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
總 計	605,609	16.5	16.5	-	5.4	1.0	3.3	1.2	-
0~4歳	25,485	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,553	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	27,529	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	29,162	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	29,992	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	33,765	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	43,099	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-
35~39	40,000	2.5	2.5	-	5.0	-	2.5	2.5	-
40~44	34,702	8.6	8.6	-	-	-	-	-	-
45~49	35,030	22.8	22.8	-	-	-	-	-	-
50~54	38,415	20.8	20.8	-	7.8	2.6	5.2	-	-
55~59	53,550	33.6	33.6	-	7.5	3.7	3.7	-	-
60~64	38,358	44.3	44.3	-	5.2	-	2.6	2.6	-
65~69	34,391	29.1	29.1	-	2.9	-	-	2.9	-
70~74	34,581	17.4	17.4	-	8.7	-	8.7	-	-
75~79	31,034	32.2	32.2	-	9.7	-	3.2	6.4	-
80~84	23,697	33.8	33.8	-	21.1	-	12.7	8.4	-
85~89	15,053	26.6	26.6	-	46.5	19.9	26.6	-	-
90~	10,213	58.7	58.7	-	29.4	-	29.4	-	-

Ⅲ 受療状況関係

表3-1 来院の動機

動機	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	2,244	622	335	143	180	81	100	379	253	78	73
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接受診	860	240	146	64	63	37	39	98	120	30	23
	38.3	38.6	43.6	44.8	35.0	45.7	39.0	25.9	47.4	38.5	31.5
紹介	1,055	283	136	56	103	42	56	231	83	41	24
	47.0	45.5	40.6	39.2	57.2	51.9	56.0	60.9	32.8	52.6	32.9
施設検診	24	8	0	1	2	0	0	4	5	2	2
※	1.1	1.3	0.0	0.7	1.1	0.0	0.0	1.1	2.0	2.6	2.7
集団検診	147	37	34	8	1	0	0	26	28	2	11
※	6.6	5.9	10.1	5.6	0.6	0.0	0.0	6.9	11.1	2.6	15.1
健康診断	80	25	15	11	0	0	0	3	15	2	9
※	3.6	4.0	4.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.8	5.9	2.6	12.3
その他	73	28	3	3	8	2	5	17	2	1	4
	3.3	4.5	0.9	2.1	4.4	2.5	5.0	4.5	0.8	1.3	5.5
不明	5	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0
	0.2	0.2	0.3	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

動機	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	1,219	425	187	89	120	46	63	275			14
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
直接受診	449	161	86	40	41	20	24	71			6
	36.8	37.9	46.0	44.9	34.2	43.5	38.1	25.8			42.9
紹介	610	198	70	35	71	24	36	172			4
	50.0	46.6	37.4	39.3	59.2	52.2	57.1	62.5			28.6
施設検診	11	5	0	1	1	0	0	4			0
	0.9	1.2	0.0	1.1	0.8	0.0	0.0	1.5			0.0
集団検診	60	23	18	1	0	0	0	18			0
	4.9	5.4	9.6	1.1	0.0	0.0	0.0	6.5			0.0
健康診断	43	18	10	10	0	0	0	2			3
	3.5	4.2	5.3	11.2	0.0	0.0	0.0	0.7			21.4
その他	43	20	2	2	5	2	3	8			1
	3.5	4.7	1.1	2.2	4.2	4.3	4.8	2.9			7.1
不明	3	0	1	0	2	0	0	0			0
	0.2	0.0	0.5	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0			0.0

動機	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	1,025	197	148	54	60	35	37	104	253	78	59
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接受診	411	79	60	24	22	17	15	27	120	30	17
	40.1	40.1	40.5	44.4	36.7	48.6	40.5	26.0	47.4	38.5	28.8
紹介	445	85	66	21	32	18	20	59	83	41	20
	43.4	43.1	44.6	38.9	53.3	51.4	54.1	56.7	32.8	52.6	33.9
施設検診	13	3	0	0	1	0	0	0	5	2	2
	1.3	1.5	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	2.0	2.6	3.4
集団検診	87	14	16	7	1	0	0	8	28	2	11
	8.5	7.1	10.8	13.0	1.7	0.0	0.0	7.7	11.1	2.6	18.6
健康診断	37	7	5	1	0	0	0	1	15	2	6
	3.6	3.6	3.4	1.9	0.0	0.0	0.0	1.0	5.9	2.6	10.2
その他	30	8	1	1	3	0	2	9	2	1	3
	2.9	4.1	0.7	1.9	5.0	0.0	5.4	8.7	0.8	1.3	5.1
不明	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	0.2	0.5	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※を併せて「検診」とする。 注) 下欄は構成割合(%)

表3-2 自覚症状の有無

自覚症状	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	2,244	622	335	143	180	81	100	379	253	78	73
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	1,264	312	207	99	59	64	81	197	169	51	25
	56.3	50.2	61.8	69.2	32.8	79.0	81.0	52.0	66.8	65.4	34.2
なし	862	276	115	39	115	13	15	158	62	26	43
	38.4	44.4	34.3	27.3	63.9	16.0	15.0	41.7	24.5	33.3	58.9
不明	118	34	13	5	6	4	4	24	22	1	5
	5.3	5.5	3.9	3.5	3.3	4.9	4.0	6.3	8.7	1.3	6.8

自覚症状	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	1,219	425	187	89	120	46	63	275			14
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
あり	663	207	115	61	42	35	51	148			4
	54.4	48.7	61.5	68.5	35.0	76.1	81.0	53.8			28.6
なし	493	192	67	25	75	8	9	108			9
	40.4	45.2	35.8	28.1	62.5	17.4	14.3	39.3			64.3
不明	63	26	5	3	3	3	3	19			1
	5.2	6.1	2.7	3.4	2.5	6.5	4.8	6.9			7.1

自覚症状	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	1,025	197	148	54	60	35	37	104	253	78	59
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	601	105	92	38	17	29	30	49	169	51	21
	58.6	53.3	62.2	70.4	28.3	82.9	81.1	47.1	66.8	65.4	35.6
なし	369	84	48	14	40	5	6	50	62	26	34
	36.0	42.6	32.4	25.9	66.7	14.3	16.2	48.1	24.5	33.3	57.6
不明	55	8	8	2	3	1	1	5	22	1	4
	5.4	4.1	5.4	3.7	5.0	2.9	2.7	4.8	8.7	1.3	6.8

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-3 病巣のひろがり

ひろがり	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,760	455	256	113	144	70	81	301	227	51	62
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
早期	392	200	49	27	4	3	0	20	62	21	6
	22.3	44.0	19.1	23.9	2.8	4.3	0.0	6.6	27.3	41.2	9.7
限局性	541	74	80	38	107	17	4	90	98	12	21
	30.7	16.3	31.3	33.6	74.3	24.3	4.9	29.9	43.2	23.5	33.9
所属リンパ節転移	328	84	53	23	4	8	6	74	46	3	27
	18.6	18.5	20.7	20.4	2.8	11.4	7.4	24.6	20.3	5.9	43.5
隣接臓器浸潤	170	29	19	9	9	17	30	35	8	7	7
	9.7	6.4	7.4	8.0	6.3	24.3	37.0	11.6	3.5	13.7	11.3
遠隔転移	296	61	50	15	14	22	37	78	12	7	0
	16.8	13.4	19.5	13.3	9.7	31.4	45.7	25.9	5.3	13.7	0.0
その他	33	7	5	1	6	3	4	4	1	1	1
	1.9	1.5	2.0	0.9	4.2	4.3	4.9	1.3	0.4	2.0	1.6

ひろがり	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	941	315	143	68	95	40	51	217			12
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
早期	196	136	26	17	2	2	0	13			0
	20.8	43.2	18.2	25.0	2.1	5.0	0.0	6.0			0.0
限局性	266	51	46	24	71	6	2	61			5
	28.3	16.2	32.2	35.3	74.7	15.0	3.9	28.1			41.7
所属リンパ節転移	174	52	31	15	2	5	4	61			4
	18.5	16.5	21.7	22.1	2.1	12.5	7.8	28.1			33.3
隣接臓器浸潤	104	22	12	3	8	11	19	26			3
	11.1	7.0	8.4	4.4	8.4	27.5	37.3	12.0			25.0
遠隔転移	184	50	25	9	9	15	23	53			0
	19.6	15.9	17.5	13.2	9.5	37.5	45.1	24.4			0.0
その他	17	4	3	0	3	1	3	3			0
	1.8	1.3	2.1	0.0	3.2	2.5	5.9	1.4			0.0

ひろがり	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	819	140	113	45	49	30	30	84	227	51	50
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
早期	196	64	23	10	2	1	0	7	62	21	6
	23.9	45.7	20.4	22.2	4.1	3.3	0.0	8.3	27.3	41.2	12.0
限局性	275	23	34	14	36	11	2	29	98	12	16
	33.6	16.4	30.1	31.1	73.5	36.7	6.7	34.5	43.2	23.5	32.0
所属リンパ節転移	154	32	22	8	2	3	2	13	46	3	23
	18.8	22.9	19.5	17.8	4.1	10.0	6.7	15.5	20.3	5.9	46.0
隣接臓器浸潤	66	7	7	6	1	6	11	9	8	7	4
	8.1	5.0	6.2	13.3	2.0	20.0	36.7	10.7	3.5	13.7	8.0
遠隔転移	112	11	25	6	5	7	14	25	12	7	0
	13.7	7.9	22.1	13.3	10.2	23.3	46.7	29.8	5.3	13.7	0.0
その他	16	3	2	1	3	2	1	1	1	1	1
	2.0	2.1	1.8	2.2	6.1	6.7	3.3	1.2	0.4	2.0	2.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-4 診断方法

診断方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,789 100.0	462 100.0	262 100.0	115 100.0	145 100.0	73 100.0	83 100.0	304 100.0	229 100.0	51 100.0	65 100.0
エックス線	1,556 87.0	397 85.9	223 85.1	100 87.0	92 63.4	61 83.6	69 83.1	301 99.0	222 96.9	32 62.7	59 90.8
超音波	1,271 71.0	354 76.6	200 76.3	79 68.7	129 89.0	61 83.6	76 91.6	57 18.8	219 95.6	38 74.5	58 89.2
RI	422 23.6	30 6.5	14 5.3	7 6.1	28 19.3	12 16.4	9 10.8	190 62.5	104 45.4	8 15.7	20 30.8
CT	1,668 93.2	425 92.0	241 92.0	101 87.8	136 93.8	68 93.2	82 98.8	297 97.7	218 95.2	41 80.4	59 90.8
内視鏡	1,176 65.7	448 97.0	236 90.1	110 95.7	36 24.8	43 58.9	51 61.4	202 66.4	22 9.6	19 37.3	9 13.8
細胞診	785 43.9	177 38.3	78 29.8	36 31.3	9 6.2	23 31.5	21 25.3	233 76.6	123 53.7	46 90.2	39 60.0
組織診	1,352 75.6	436 94.4	234 89.3	103 89.6	24 16.6	35 47.9	18 21.7	209 68.8	210 91.7	43 84.3	40 61.5
手術	1,063 59.4	314 68.0	208 79.4	94 81.7	20 13.8	30 41.1	16 19.3	119 39.1	184 80.3	36 70.6	42 64.6
その他	171 9.6	18 3.9	12 4.6	7 6.1	44 30.3	5 6.8	9 10.8	65 21.4	6 2.6	2 3.9	3 4.6

診断方法	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	958 100.0	321 100.0	146 100.0	69 100.0	96 100.0	42 100.0	52 100.0	219 100.0			13 100.0
エックス線	820 85.6	270 84.1	125 85.6	61 88.4	59 61.5	35 83.3	41 78.8	216 98.6			13 100.0
超音波	621 64.8	238 74.1	113 77.4	46 66.7	86 89.6	35 83.3	45 86.5	45 20.5			13 100.0
RI	220 23.0	23 7.2	5 3.4	5 7.2	17 17.7	9 21.4	7 13.5	148 67.6			6 46.2
CT	892 93.1	292 91.0	135 92.5	60 87.0	91 94.8	39 92.9	51 98.1	213 97.3			11 84.6
内視鏡	745 77.8	310 96.6	134 91.8	65 94.2	27 28.1	26 61.9	32 61.5	149 68.0			2 15.4
細胞診	398 41.5	116 36.1	46 31.5	23 33.3	5 5.2	18 42.9	8 15.4	173 79.0			9 69.2
組織診	695 72.5	302 94.1	129 88.4	62 89.9	16 16.7	17 40.5	10 19.2	152 69.4			7 53.8
手術	511 53.3	207 64.5	116 79.5	55 79.7	11 11.5	16 38.1	12 23.1	84 38.4			10 76.9
その他	104 10.9	9 2.8	5 3.4	5 7.2	29 30.2	1 2.4	6 11.5	48 21.9			1 7.7

診断方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	831 100.0	141 100.0	116 100.0	46 100.0	49 100.0	31 100.0	31 100.0	85 100.0	229 100.0	51 100.0	52 100.0
エックス線	736 88.6	127 90.1	98 84.5	39 84.8	33 67.3	26 83.9	28 90.3	85 100.0	222 96.9	32 62.7	46 88.5
超音波	650 78.2	116 82.3	87 75.0	33 71.7	43 87.8	26 83.9	31 100.0	12 14.1	219 95.6	38 74.5	45 86.5
RI	202 24.3	7 5.0	9 7.8	2 4.3	11 22.4	3 9.7	2 6.5	42 49.4	104 45.4	8 15.7	14 26.9
CT	776 93.4	133 94.3	106 91.4	41 89.1	45 91.8	29 93.5	31 100.0	84 98.8	218 95.2	41 80.4	48 92.3
内視鏡	431 51.9	138 97.9	102 87.9	45 97.8	9 18.4	17 54.8	19 61.3	53 62.4	22 9.6	19 37.3	7 13.5
細胞診	387 46.6	61 43.3	32 27.6	13 28.3	4 8.2	5 16.1	13 41.9	60 70.6	123 53.7	46 90.2	30 57.7
組織診	657 79.1	134 95.0	105 90.5	41 89.1	8 16.3	18 58.1	8 25.8	57 67.1	210 91.7	43 84.3	33 63.5
手術	552 66.4	107 75.9	92 79.3	39 84.8	9 18.4	14 45.2	4 12.9	35 41.2	184 80.3	36 70.6	32 61.5
その他	67 8.1	9 6.4	7 6.0	2 4.3	15 30.6	4 12.9	3 9.7	17 20.0	6 2.6	2 3.9	2 3.8

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-5 治療方法

治療方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,789	462	262	115	145	73	83	304	229	51	65
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術	1,175	363	226	94	27	35	18	132	182	37	61
	65.7	78.6	86.3	81.7	18.6	47.9	21.7	43.4	79.5	72.5	93.8
放射線療法	136	6	2	5	0	8	7	61	36	11	0
	7.6	1.3	0.8	4.3	0.0	11.0	8.4	20.1	15.7	21.6	0.0
化学療法	660	161	110	48	39	24	50	124	94	9	1
	36.9	34.8	42.0	41.7	26.9	32.9	60.2	40.8	41.0	17.6	1.5
ホルモン療法	107	0	0	1	0	0	0	1	96	2	7
	6.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.3	41.9	3.9	10.8
免疫療法	24	19	2	0	0	0	0	1	2	0	0
	1.3	4.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	0.0	0.0
対症療法のみ	229	48	28	8	22	22	28	56	9	6	2
	12.8	10.4	10.7	7.0	15.2	30.1	33.7	18.4	3.9	11.8	3.1
その他	70	8	0	0	48	3	2	1	1	0	7
	3.9	1.7	0.0	0.0	33.1	4.1	2.4	0.3	0.4	0.0	10.8

治療方法	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	958	321	146	69	96	42	52	219			13
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
手術	573	244	125	53	17	20	12	91			11
	59.8	76.0	85.6	76.8	17.7	47.6	23.1	41.6			84.6
放射線療法	67	5	1	2	0	6	4	49			0
	7.0	1.6	0.7	2.9	0.0	14.3	7.7	22.4			0.0
化学療法	381	118	65	27	29	18	31	93			0
	39.8	36.8	44.5	39.1	30.2	42.9	59.6	42.5			0.0
ホルモン療法	3	0	0	1	0	0	0	1			1
	0.3	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.5			7.7
免疫療法	17	16	0	0	0	0	0	1			0
	1.8	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5			0.0
対症療法のみ	129	34	16	5	15	12	12	35			0
	13.5	10.6	11.0	7.2	15.6	28.6	23.1	16.0			0.0
その他	42	6	0	0	30	1	2	1			2
	4.4	1.9	0.0	0.0	31.3	2.4	3.8	0.5			15.4

治療方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	831	141	116	46	49	31	31	85	229	51	52
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術	602	119	101	41	10	15	6	41	182	37	50
	72.4	84.4	87.1	89.1	20.4	48.4	19.4	48.2	79.5	72.5	96.2
放射線療法	69	1	1	3	0	2	3	12	36	11	0
	8.3	0.7	0.9	6.5	0.0	6.5	9.7	14.1	15.7	21.6	0.0
化学療法	279	43	45	21	10	6	19	31	94	9	1
	33.6	30.5	38.8	45.7	20.4	19.4	61.3	36.5	41.0	17.6	1.9
ホルモン療法	104	0	0	0	0	0	0	0	96	2	6
	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.9	3.9	11.5
免疫療法	7	3	2	0	0	0	0	0	2	0	0
	0.8	2.1	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
対症療法のみ	100	14	12	3	7	10	16	21	9	6	2
	12.0	9.9	10.3	6.5	14.3	32.3	51.6	24.7	3.9	11.8	3.8
その他	28	2	0	0	18	2	0	0	1	0	5
	3.4	1.4	0.0	0.0	36.7	6.5	0.0	0.0	0.4	0.0	9.6

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-6 手術

手術	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,789	462	262	115	145	73	83	304	229	51	65
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
治癒切除	960	301	172	73	17	21	5	116	165	31	59
	53.7	65.2	65.6	63.5	11.7	28.8	6.0	38.2	72.1	60.8	90.8
非治癒切除	173	56	46	17	3	11	9	11	12	6	2
	9.7	12.1	17.6	14.8	2.1	15.1	10.8	3.6	5.2	11.8	3.1
その他手術	42	6	8	4	7	3	4	5	5	0	0
	2.3	1.3	3.1	3.5	4.8	4.1	4.8	1.6	2.2	0.0	0.0
していない	614	99	36	21	118	38	65	172	47	14	4
	34.3	21.4	13.7	18.3	81.4	52.1	78.3	56.6	20.5	27.5	6.2

手術	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	958	321	146	69	96	42	52	219			13
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
治癒切除	453	198	99	43	10	9	4	80			10
	47.3	61.7	67.8	62.3	10.4	21.4	7.7	36.5			76.9
非治癒切除	92	40	23	6	1	9	5	7			1
	9.6	12.5	15.8	8.7	1.0	21.4	9.6	3.2			7.7
その他手術	28	6	3	4	6	2	3	4			0
	2.9	1.9	2.1	5.8	6.3	4.8	5.8	1.8			0.0
していない	385	77	21	16	79	22	40	128			2
	40.2	24.0	14.4	23.2	82.3	52.4	76.9	58.4			15.4

手術	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	831	141	116	46	49	31	31	85	229	51	52
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
治癒切除	507	103	73	30	7	12	1	36	165	31	49
	61.0	73.0	62.9	65.2	14.3	38.7	3.2	42.4	72.1	60.8	94.2
非治癒切除	81	16	23	11	2	2	4	4	12	6	1
	9.7	11.3	19.8	23.9	4.1	6.5	12.9	4.7	5.2	11.8	1.9
その他手術	14	0	5	0	1	1	1	1	5	0	0
	1.7	0.0	4.3	0.0	2.0	3.2	3.2	1.2	2.2	0.0	0.0
していない	229	22	15	5	39	16	25	44	47	14	2
	27.6	15.6	12.9	10.9	79.6	51.6	80.6	51.8	20.5	27.5	3.8

注) 下欄は構成割合 (%)

IV 地域特性

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用
(数は人; 率は人口10万対) 集計期間 平成18年1月～12月

表4-1 医療圏別罹患数、罹患率、年齢調整罹患率、死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

男8部位、女10部位計

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男	合計	2,160	382.1	232.1	1,406	248.7	143.8
	南加賀	494	434.0	259.7	279	245.1	138.0
	石川中央	1,054	319.9	222.0	735	223.1	149.4
	能登中部	366	436.9	218.3	216	257.9	120.9
	能登北部	246	642.2	256.7	176	459.5	170.7
女	合計	1,718	283.7	153.0	1,022	168.8	73.5
	南加賀	446	362.4	199.6	229	186.1	80.6
	石川中央	840	243.0	142.8	546	157.9	78.8
	能登中部	278	297.1	144.1	146	156.0	54.3
	能登北部	154	356.0	129.9	101	233.5	65.0

胃

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	992	84.7	46.5	552	47.1	23.0
	南加賀	235	99.2	54.5	113	47.7	22.8
	石川中央	480	71.1	43.9	280	41.5	23.2
	能登中部	172	97.0	44.7	90	50.8	19.9
	能登北部	105	128.7	46.5	69	84.6	27.8
男	合計	660	116.7	71.8	359	63.5	36.7
	南加賀	148	130.0	79.6	68	59.7	34.4
	石川中央	326	99.0	69.1	187	56.8	37.2
	能登中部	111	132.5	66.3	54	64.5	31.4
	能登北部	75	195.8	78.1	50	130.5	50.3
女	合計	332	54.8	26.3	193	31.9	12.7
	南加賀	87	70.7	34.3	45	36.6	14.0
	石川中央	154	44.5	23.8	93	26.9	13.1
	能登中部	61	65.2	27.8	36	38.5	10.6
	能登北部	30	69.3	21.5	19	43.9	10.1

結腸

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	502	42.9	22.7	254	21.7	9.9
	南加賀	133	56.1	29.3	50	21.1	9.3
	石川中央	227	33.6	19.9	133	19.7	10.5
	能登中部	94	53.0	25.6	42	23.7	8.9
	能登北部	48	58.8	20.2	29	35.6	10.9
男	合計	257	45.5	27.6	111	19.6	11.0
	南加賀	71	62.4	36.3	23	20.2	10.6
	石川中央	112	34.0	23.0	54	16.4	10.5
	能登中部	50	59.7	33.9	20	23.9	11.4
	能登北部	24	62.7	27.2	14	36.5	15.1
女	合計	245	40.5	18.8	143	23.6	9.1
	南加賀	62	50.4	23.9	27	21.9	8.8
	石川中央	115	33.3	17.7	79	22.9	10.5
	能登中部	44	47.0	18.3	22	23.5	6.7
	能登北部	24	55.5	13.9	15	34.7	7.1

直腸

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	225	19.2	11.5	125	10.7	6.0
	南加賀	51	21.5	14.5	16	6.8	4.0
	石川中央	110	16.3	10.5	75	11.1	6.9
	能登中部	40	22.6	11.0	20	11.3	5.2
	能登北部	24	29.4	12.1	14	17.2	6.8
男	合計	139	24.6	15.9	76	13.4	8.3
	南加賀	28	24.6	16.8	5	4.4	2.8
	石川中央	70	21.2	15.0	47	14.3	9.9
	能登中部	26	31.0	16.5	13	15.5	7.2
	能登北部	15	39.2	18.3	11	28.7	12.8
女	合計	86	14.2	8.1	49	8.1	4.3
	南加賀	23	18.7	12.6	11	8.9	5.2
	石川中央	40	11.6	7.0	28	8.1	4.5
	能登中部	14	15.0	6.7	7	7.5	3.9
	能登北部	9	20.8	7.0	3	6.9	2.0

肝

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	377	32.2	18.6	295	25.2	13.3
	南加賀	64	27.0	15.1	51	21.5	11.2
	石川中央	228	33.8	21.8	169	25.0	15.1
	能登中部	55	31.0	15.8	48	27.1	12.3
	能登北部	30	36.8	14.8	27	33.1	11.4
男	合計	232	41.0	26.9	170	30.1	18.8
	南加賀	39	34.3	20.8	29	25.5	14.7
	石川中央	140	42.5	31.1	97	29.4	21.0
	能登中部	36	43.0	24.9	30	35.8	19.3
	能登北部	17	44.4	21.6	14	36.5	14.6
女	合計	145	23.9	11.2	125	20.6	8.6
	南加賀	25	20.3	10.4	22	17.9	8.5
	石川中央	88	25.5	13.4	72	20.8	9.8
	能登中部	19	20.3	7.4	18	19.2	6.1
	能登北部	13	30.0	8.7	13	30.0	8.8

胆道

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	194	16.6	7.6	176	15.0	6.8
	南加賀	41	17.3	7.1	34	14.4	6.1
	石川中央	96	14.2	7.6	95	14.1	7.4
	能登中部	29	16.4	6.0	24	13.5	4.6
	能登北部	28	34.3	12.2	23	28.2	8.3
男	合計	108	19.1	10.8	94	16.6	9.2
	南加賀	21	18.4	9.4	18	15.8	8.2
	石川中央	50	15.2	10.0	49	14.9	9.7
	能登中部	20	23.9	11.2	15	17.9	7.8
	能登北部	17	44.4	19.4	12	31.3	10.4
女	合計	86	14.2	5.2	82	13.5	5.0
	南加賀	20	16.3	5.8	16	13.0	4.8
	石川中央	46	13.3	5.9	46	13.3	5.7
	能登中部	9	9.6	2.2	9	9.6	2.3
	能登北部	11	25.4	6.0	11	25.4	6.8

脾

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	267	22.8	11.6	245	20.9	10.2
	南加賀	66	27.9	13.9	57	24.1	11.5
	石川中央	129	19.1	11.4	125	18.5	10.4
	能登中部	42	23.7	9.7	35	19.7	8.7
	能登北部	30	36.8	10.3	28	34.3	8.8
男	合計	156	27.6	16.4	133	23.5	13.6
	南加賀	38	33.4	20.1	31	27.2	16.1
	石川中央	75	22.8	16.0	66	20.0	13.5
	能登中部	23	27.5	12.0	18	21.5	9.9
	能登北部	20	52.2	16.3	18	47.0	14.2
女	合計	111	18.3	7.8	112	18.5	7.7
	南加賀	28	22.8	8.8	26	21.1	8.1
	石川中央	54	15.6	7.4	59	17.1	7.9
	能登中部	19	20.3	8.6	17	18.2	8.3
	能登北部	10	23.1	6.0	10	23.1	5.2

肺

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	813	69.4	35.6	628	53.6	25.9
	南加賀	205	86.5	44.2	143	60.4	28.6
	石川中央	383	56.7	33.6	329	48.7	27.5
	能登中部	129	72.7	29.7	84	47.4	18.1
	能登北部	96	117.7	38.5	72	88.3	27.6
男	合計	588	104.0	60.2	456	80.7	45.6
	南加賀	143	125.6	73.1	103	90.5	50.4
	石川中央	274	83.2	56.0	234	71.0	47.3
	能登中部	96	114.6	51.1	64	76.4	33.0
	能登北部	75	195.8	71.9	55	143.6	51.5
女	合計	225	37.2	17.3	172	28.4	11.7
	南加賀	62	50.4	22.3	40	32.5	12.8
	石川中央	109	31.5	17.1	95	27.5	13.1
	能登中部	33	35.3	14.7	20	21.4	7.9
	能登北部	21	48.5	12.8	17	39.3	9.7

甲状腺

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	89	7.6	5.5	20	1.7	0.7
	南加賀	16	6.8	4.1	6	2.5	1.0
	石川中央	39	5.8	4.7	6	0.9	0.5
	能登中部	23	13.0	7.9	5	2.8	0.6
	能登北部	11	13.5	8.9	3	3.7	1.4
男	合計	20	3.5	2.4	7	1.2	0.6
	南加賀	6	5.3	3.5	2	1.8	1
	石川中央	7	2.1	1.7	1	0.3	0.2
	能登中部	4	4.8	2.3	2	2.4	0.8
	能登北部	3	7.8	3.9	2	5.2	2
女	合計	69	11.4	8.6	13	2.1	0.9
	南加賀	10	8.1	4.7	4	3.3	1.3
	石川中央	32	9.3	7.7	5	1.4	0.8
	能登中部	19	20.3	13.5	3	3.2	0.5
	能登北部	8	18.5	13.6	1	2.3	1.1

女性乳房

	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
計	合計	320	52.8	37.6	100	16.5	10.8
	南加賀	88	71.5	52.4	26	21.1	13.8
	石川中央	161	46.6	34.1	54	15.6	10.8
	能登中部	49	52.4	33.3	11	11.8	6.7
	能登北部	22	50.9	33.8	9	20.8	12.6
浸潤	合計	320	41.0	28.2	100	16.5	10.8
	南加賀	88	62.6	44.0	26	21.1	13.8
	石川中央	161	34.1	23.6	54	15.6	10.8
	能登中部	49	38.5	26.9	11	11.8	6.7
	能登北部	22	39.3	24.9	9	20.8	12.6
上皮内	合計	72	11.9	9.4	0	—	—
	南加賀	11	8.9	8.4	0	—	—
	石川中央	43	12.4	10.4	0	—	—
	能登中部	13	13.9	6.4	0	—	—
	能登北部	5	11.6	8.9	0	—	—

子宮

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
計	合計	99	16.3	12.1	33	5.4	2.6
	南加賀	41	33.3	24.3	12	9.8	3.4
	石川中央	41	11.9	8.7	15	4.3	2.6
	能登中部	11	11.8	11.5	3	3.2	1.4
	能登北部	6	13.9	6.7	3	6.9	1.5
部位不明	合計	11	16.3	1.0	6	1.0	0.4
	南加賀	9	33.3	3.8	4	3.3	0.9
	石川中央	1	11.9	0.2	1	0.3	0.2
	能登中部	1	11.8	1.0	1	1.1	1.0
	能登北部	0	13.9	0.0	0	0.0	0.0
頸部	合計	29	4.8	2.6	20	3.3	1.5
	南加賀	10	8.1	4.1	5	4.1	1.4
	石川中央	15	4.3	2.6	12	3.5	1.9
	能登中部	3	3.2	2.0	2	2.1	0.4
	能登北部	1	2.3	0.7	1	2.3	0.7
体部	合計	33	5.4	2.6	7	1.2	0.7
	南加賀	9	7.3	4.1	3	2.4	1.1
	石川中央	18	5.2	2.6	2	0.6	0.5
	能登中部	2	2.1	2.0	0	0.0	0.0
	能登北部	4	9.2	0.7	2	4.6	0.9
頸部 上皮内	合計	26	4.3	4.6	0	—	—
	南加賀	13	10.6	10.9	0	—	—
	石川中央	7	2.0	2.1	0	—	—
	能登中部	5	5.3	7.2	0	—	—
	能登北部	1	2.3	1.1	0	—	—

V 全国推計値との比較関係

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用

(率は人口10万対)

表5-1 罹患率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平18)	全国推計値 (平15)	石川県 (平18)	全国推計値 (平15)	石川県 (平18)	全国推計値 (平15)
胃	84.7	86.4	116.7	118.4	54.8	55.9
結腸	42.9	51.0	45.5	56.6	40.5	45.7
直腸	19.2	27.2	24.6	35.9	14.2	18.8
肝	32.2	33.4	41.0	46.7	23.9	20.7
胆道	16.6	14.9	19.1	14.1	14.2	15.6
膵	22.8	17.9	27.6	20.1	18.3	15.9
肺	69.4	61.7	104.0	89.8	37.2	34.9
女性乳房					52.8	70.0
子宮					16.3	37.1
甲状腺	7.6	6.3	3.5	3.2	11.4	9.3

表5-2 年齢調整罹患率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平18)	全国推計値 (平15)	石川県 (平18)	全国推計値 (平15)	石川県 (平18)	全国推計値 (平15)
胃	46.5	53.4	71.8	81.1	26.3	31.2
結腸	22.7	30.8	27.6	38.5	18.8	24.7
直腸	11.5	17.6	15.9	25.3	8.1	11.2
肝	18.6	20.3	26.9	31.9	11.2	10.4
胆道	7.6	8.0	10.8	9.2	5.2	7.1
膵	11.6	10.5	16.4	13.7	7.8	7.9
肺	35.6	35.9	60.2	59.5	17.3	18.4
女性乳房					37.6	56.1
子宮					12.1	32.3
甲状腺	5.5	4.9	2.4	2.6	8.6	7.2

表5-3 死亡率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平18)	全国値 (平18)	石川県 (平18)	全国値 (平18)	石川県 (平18)	全国値 (平18)
胃	47.1	40.0	63.5	53.2	31.9	27.4
結腸	21.7	21.7	19.6	22.2	23.6	21.1
直腸	10.7	11.1	13.4	14.4	8.1	8.0
肝	25.2	26.7	30.1	36.7	20.6	17.2
胆道	15.0	13.4	16.6	12.9	13.5	13.8
膵	20.9	18.5	23.5	20.4	18.5	16.8
肺	53.6	50.1	80.7	74.6	28.4	26.8
女性乳房					16.5	17.3
子宮					5.4	8.5

表5-4 年齢調整死亡率の比較

	男		女	
	石川県 (平18)	全国値 (平18)	石川県 (平18)	全国値 (平18)
胃	36.7	31.9	12.7	12.0
結腸	11.0	13.3	9.1	9.0
直腸	8.3	9.0	4.3	3.8
肝	18.8	22.4	8.6	7.4
胆道	9.2	7.4	5.0	5.3
膵	13.6	12.5	7.7	7.4
肺	45.6	44.0	11.7	11.7
女性乳房			10.8	11.7
子宮			2.6	5.1

VI 生存率集計関係

集計対象：平成14年罹患者

表6-1 部位別、性別5年生存率、5年相対生存率 (%)

		胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
5年生存率	男女計	55.0	61.3	61.2	18.1	20.7	12.4	33.7			91.3
	男	54.3	62.3	60.7	16.8	28.1	7.1	32.5			83.3
	女	57.4	61.1	61.6	20.0	13.5	20.7	39.5	86.6	82.3	92.3
5年相対生存率	男女計	63.5	73.5	68.9	19.5	27.7	15.5	38.1			95.3
	男	63.7	78.0	71.7	18.3	42.0	9.4	36.6			87.3
	女	63.1	67.4	65.5	21.5	15.0	24.6	42.4	90.3	84.8	96.3

表6-2 検診群、外来群別5年生存率 (%)

		胃	結腸	直腸	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計	検診群	86.4	83.3	75.0	63.7			100.0
	外来群	50.2	60.5	60.2	30.9			89.5
男	検診群	83.6	81.8	75.0	60.8			-
	外来群	49.6	60.4	60.0	28.6			83.3
女	検診群	94.1	85.7	75.0	70.0	95.0	100.0	100.0
	外来群	52.1	60.3	61.0	35.4	85.4	79.1	90.5

表6-3 病巣のひろがり別5年生存率 (%)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
早期がん	85.3	87.1	91.4	50.0	60.0	-	69.5	100.0	100.0	100.0
進行がん	32.6	58.3	55.3	17.4	16.2	13.9	33.6	83.5	74.0	92.9

※ 進行がんは、限局性、リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移の患者を総計したものである。

資 料

(目的)

第1条 がん対策を効果的に推進するため、県民に発生したがん患者に関する情報を収集し、その実態を把握、分析することを目的とする。

(実施主体)

第2条 本事業の実施主体は、石川県とし、社団法人石川県医師会の協力を得て行うものとする。

(事業内容)

第3条 本事業は、次に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) がん患者に関する情報の収集
 - (2) がん患者に関する情報の確認及び管理
 - (3) がん患者に関する情報の入力
 - (4) がん患者に関する情報の集計・解析
 - (5) がん患者に関する情報の保管
 - (6) がん患者に関する統計資料の利用及び公表
 - (7) 届出医師及び医療機関への関係するがん患者情報の提供
 - (8) 他県との情報交換
 - (9) その他がん情報管理事業に必要な調査研究
- 本事業のがん患者に関する情報を、「がん登録資料」とする。

(事業の運営)

第4条 本事業は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」の指導を受けるものとする。

2 本事業におけるがん登録資料の利用に関して、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」の意見を求めるものとし、同部会部会長は、議事の審議に関し必要があるときは、会議に委員以外の学識経験者の出席を求め、意見を聴取することができるものとする。

なお、事業に関する必要な事項は、「石川県地域がん情報管理事業実施要領」に定めるものとする。

(医療機関等の協力)

第5条 本事業は、県内全医療機関及び金沢市の保健所の協力・参加を得て行うものとする。

(守秘義務)

第6条 この事業に従事した者は、業務上知り得た秘密を他に洩らしてはならない。また、その業務を離れた場合も同様とする。

附 則 この要綱は、平成3年7月31日から施行する。

附 則 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成16年9月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成18年9月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成20年11月20日から施行する。

(趣 旨)

第1 この要領は、「石川県地域がん情報管理事業実施要綱」に基づいて実施する事業に関して、必要な事項を定めるものとする。

(事業の対象)

第2 対象とする疾患の範囲は、国際疾病分類に掲げるすべての悪性新生物（上皮内がんを含む。）とすべての頭蓋内腫瘍とする。

2 届出をする患者の範囲は、県内に住所を有し、医療機関で前項に規定する疾患の確診・疑診を受けた者及びその疾患による死亡者とする。

(届出の時期)

第3 診療に従事する医師は、他の診療科又は他の医療機関の医師からの届出の有無にかかわらず、自施設における初回診療終了時に届出のものとする。

届出の時期は下記のとおりとする。

(1) 入院患者の場合は、退院時

(2) 外来患者の場合は、治療終了時又は検査、治療のために他院に紹介した時

(3) 死亡患者の場合は、死亡診断時

(届出の方法)

第4 診療に従事する医師は、別紙様式「石川県悪性新生物患者届出票」（以下「届出票」という。）により、所定の事項を記載のうえ石川県医師会に届出のものとする。

(死亡情報の届出)

第5 保健所長は、第2の1に規定する疾患に関する人口動態に係る死亡情報について、石川県健康福祉部健康推進課を経由し、石川県医師会に送付するものとする。

(業務区分)

第6 関係機関の業務区分は、別紙「石川県地域がん情報管理事業業務区分」により行うものとする。

(情報の照合、検査等)

第7 石川県医師会は、第4、第5による届出を受け、その情報について、照合、検査等を行った後、その情報を石川県保健環境センターに送付するものとする。

(情報の集計・解析等)

第8 石川県保健環境センターは、石川県医師会より送付された情報について、公衆衛生学的集計・解析を行い、その結果を石川県健康福祉部健康推進課に送付するものとする。

(情報の報告等)

第9 石川県健康福祉部健康推進課は、がん情報に関する報告書の作成、事業の運営調整等を行うものとする。

(その他)

第10 この要領に定めるもののほか、必要な事項はその都度、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」で、協議、審議のうえ別に定めるものとする。

附 則 この要領は平成3年7月1日から施行する。

附 則 この要領は平成4年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成16年9月1日から施行する。

附 則 この要領は平成17年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成18年9月1日から施行する。

附 則 この要領は平成20年11月20日から施行する。

<資料3> 石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領

(目的)

第1 この要領は、石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱について定め、もって、個人の秘密保護及び情報管理の徹底を図ることを目的とする。

(守秘義務)

第2 地域がん情報管理の作業に従事する者は、地域がん情報に係る情報及びそれ以外の作業上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その業務を離れた場合も同様とする。

2 石川県医師会長は、地域がん情報管理担当医師（以下「担当医」という。）及び登録作業を行わせる担当係員（以下「係員」という。）に対し、情報の秘密保護に関する誓約を文書で行わせるものとする。

(情報の保守管理)

第3 届出票以外の個人情報記載された書類は、情報を入力した後すべて裁断又は焼却廃棄するものとする。

- 2 届出票は、すべて施錠できる場所に厳重に保管するものとする。
- 3 入力作業終了後は、必要以外に画面表示をしないものとする。
- 4 入力後のフロッピーディスクは、すべて施錠できる場所に厳重に保管するものとする。
- 5 地域がん情報管理における情報の保守管理及び安全対策は、別紙「障害対策及びセキュリティ対策」によるものとする。
- 6 作業中の事故及び故障に備えるためコピーしたフロッピーディスクは、前述のとおり保管し、保存の必要性がなくなった時点で、すみやかに情報を消去するものとする。

(届出票の問合せに関する留意事項)

第4 届出票の問合せは、原則として、届出医師に担当医が文書で行うものとする。

ただし、届出医師が、所属する医療施設の他の者（がん登録担当医師、病歴室担当者又は医事課長）を指定する場合には、その者に問合わせるものとする。

2 担当医が、医療施設へ出張照会を行う場合には、事前に届出医師と協議の上、医療施設へ出向し、届出票の必要事項のみ採録するものとする。

(登録資料の利用)

第5 地域がん情報として報告・提供される統計資料以外の情報は、石川県個人情報保護条例の趣旨に鑑み、個人情報の保護に配慮しつつ、がんの原因究明、がん予防活動の評価、医療活動の評価等、がん予防の推進ならびにがん医療の向上に寄与する目的で利用することができる。その手続きは「石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則」に定める。

附 則 この要領は、平成3年7月31日から施行する。

附 則 この要領は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成16年1月30日から施行する。

＜資料４＞ 石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則

(目的)

第1 この細則は、「石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領」第5に基づき、石川県地域がん情報管理事業資料（以下「がん登録資料」という。）を利用するにあたって必要な事項を定める。

(利用者)

第2 がん登録資料を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の各号に定める者のうち、石川県健康福祉部健康推進課長が石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の意見を聞き、適切と認めた者とする。

- (1) 石川県健康福祉部、石川県保健環境センター及び石川県医師会において、石川県地域がん情報管理事業に従事する者
- (2) 石川県地域がん情報管理事業に協力している医師、医療機関及び検診機関の管理者
- (3) 悪性新生物の診断、治療及び予防を研究目的としている者

(がん登録資料の利用)

第3 利用者は、がん登録資料の利用にあたっては本要領に定める利用手続きを経なければならない。

(利用の申請)

第4 がん登録資料の利用を希望する者は、健康推進課長あて「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用申請書」(様式第1号)により申請しなければならない。
なお、個人を特定しうる情報を含む資料を利用する場合は「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用に関する誓約書」(様式第2号)を添えて申請しなければならない。

(利用の審査)

第5 健康推進課長は、前条による申請の審査にあたっては、以下の基準に基づき、申請内容について石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の意見を聞くものとする。

- (1) 利用目的(研究等)が悪性新生物の診断・治療及び予防を目的としていること。
 - (2) 利用目的(研究等)の公益性が高いこと。
 - (3) がん登録情報利用の必要性が高いこと。
 - (4) がん登録情報の提供による個人又は、第三者の権利利益侵害の可能性がないこと。
- 2 前項の審査は、次の各号についてはがん登録・評価等部会の部会長、副部会長、法律の専門家による簡易審査とすることができる。簡易審査の結果については、審査を行った委員以外のすべての委員に報告されなければならない。
- (1) 個人を特定しうる情報を含まない統計解析を目的とした資料の提供を希望する場合
 - (2) 石川県地域がん情報管理事業に協力している医師または医療機関の管理者が、現在の診療に役立てる等の目的で、届出患者の予後の情報提供を希望する場合
 - (3) がん検診の精度管理のため、検診受診者のがん罹患状況などの資料の提供を希望する場合
- 3 健康推進課長は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会具申」(様式第3号)に基づき、登録資料利用の承認について決定し、「審査結果通知書」(様式第4号)により通知するものとする。

(提供と受領)

第6 利用者は利用を承認された対象範囲及び項目についてのみ、コンピュータ出力帳票又は磁気媒体により提供を受けるものとする。

なお、オンライン供給による資料の提供は行わないものとする。

- 2 利用者は、「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)受領書」(様式第5号)を健康推進課長に提出しなければならない。
- 3 利用期間は当該提供に係る承認の日から最長1年間とする。

(返却、消去)

第7 利用者は、利用期間が終了したとき、又は利用目的が完了したときには、提供された資料のすべてを返却又は消去し、直ちに「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)返却・消去報告書」(様式第6号)を提出しなければならない。

- 2 前項の様式第6号の提出は、第5第2項第1号については省略することができる。

(利用者の責務)

第8 がん登録資料利用者は、次の各号を遵守しなければならない。

- (1) がん登録資料を承認された目的、方法以外に利用してはならない。また、第三者にがん登録資料を譲渡、貸与、閲覧させてはならない。
- (2) がん登録資料から得た患者個人及び届出医療機関の情報を漏らしてはならない。
- (3) がん登録資料から得た患者個人、その家族及び届出医療機関と接触してはならない。
- (4) がん登録資料の保管に最大限配慮しなければならない。

(利用者への検査等)

第9 健康推進課長は、この細則によりがん情報を提供した場合、必要に応じてその資料の保管状況等について立ち入り検査し、または報告を聴取することができる。

- 2 がん登録資料の提供を受けた者は、前項の検査、報告に協力しなければならない。
- 3 健康推進課長は、検査等の結果、利用者には遵守事項の違反があった場合は、ただちに提供した資料の返還を求めることができる。

(利用の明示と成果の報告)

第10 利用者は、研究結果の報告、発表、投稿にあたっては、石川県地域がん情報管理事業の資料を利用したことを明記しなければならない。

- 2 利用者は、「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用(研究)成果報告書」(様式第7号)と報告、発表、投稿した報告書、抄録、論文の写しを健康推進課長あてに提出しなければならない。
- 3 前項の様式第7号の提出は、第5第2項第2号、第3号については省略することができる。

(利用状況の報告)

第11 健康推進課長は、定期的のがん情報資料の利用状況について、石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会に報告しなければならない。

(主管部局)

第12 主管部課は、石川県健康福祉部健康推進課とする。

(その他)

第13 健康推進課長は、本取扱要領に記載のない申請事項については、関係機関と協議して定める。

附 則 この細則は平成16年1月30日から施行する。

附 則 この細則は平成16年9月1日から施行する。

附 則 この細則は平成17年4月1日から施行する。

附 則 この細則は平成18年9月1日から施行する。

- 1 石川県健康福祉部健康推進課の業務
 - (1) がん情報に関する報告書の作成、公表
 - (2) 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の事務
 - (3) 登録資料利用の事務
 - (4) 石川県地域がん情報管理事業の関係機関等との連絡調整
 - (5) 届出票等の作成
 - (6) 委託業務の管理

- 2 石川県医師会の業務
 - (1) 医療機関に対する届出の依頼及びその体制の確立
 - (2) 届出票の受理及び保管
 - (3) 届出票の検査
 - (4) 届出票の内容に関する医療機関への照会及び訂正
 - (5) 届出情報の入力
 - (6) 登録資料利用の事務
 - (7) 医療機関への届出票等の配布
 - (8) 医療機関への届出謝金の支払
 - (9) 委託業務の報告

- 3 石川県及び金沢市の保健所の業務
 - (1) 保健所管内におけるがんに関わる死亡情報の入力及び送付
 - (2) 死亡情報の確認

- 4 石川県保健環境センターの業務
 - (1) 情報システムの運用管理
 - (2) 情報の集計、解析、検索
 - ① 年間届出数
 - ② 罹患数(罹患率)
 - ③ 死亡者数(死亡率)
 - ④ 生存率
 - ⑤ 入院率
 - ⑥ 治療方法
 - ⑦ その他公衆衛生学的解析に必要な事項
 - (3) 報告資料の作成
 - (4) 情報の保管

1 障害対策

医師会側の入力情報の障害対策として、悪性新生物届出データをコンピュータ本体の記憶装置から1ヶ月に1回はフロッピーディスクに退避させておくものとする。

2 セキュリティ対策

セキュリティ対策は、次のとおりとする。

(1) 医師会側のシステム及び操作

①システムの起動

医師会側システムは、石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領第2の2の係員ごとに保持する個人用IDフロッピーディスクをセットし、個人パスワードを正しく入力しない限り起動しないものとする。

②情報処理の開始

起動後の情報処理は、システムパスワードを正しく入力しない限り開始されないものとする。

③保健所側データの解読

保健所側より届くデータフロッピーは、キーワードを正しく入力しない限り解読されないものとする。

④出力

医師会側より石川県保健環境センターへのデータフロッピーは、キーワードを付して送付するものとする。

(2) 保健所側のシステム及び操作

①システムの起動

保健所側システムは、パスワードを正しく入力しない限り起動しないものとする。

②出力

保健所側より医師会へのデータフロッピーは、暗号化して送付するものとする。

(3) 石川県保健環境センター側のシステム及び操作

医師会側より届くデータフロッピーは、キーワードを正しく入力しない限り解読されないものとする。

(目的)

第1条 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会（以下、「協議会」という。）は、健康診査管理指導等事業実施のための指針（平成10年3月31日付老健第65号厚生省老人保健福祉局老人保健課長通知）（以下、「指針」という。）に基づき設置し、がん、心臓病、脳血管疾患等の生活習慣病の動向把握、並びに市町及び健診機関に対する検診の実施方法や精度管理、情報の利用等のあり方について、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とする。

(構成)

第2条 協議会には、次の部会（以下、「部会」という。）を設け、所掌事務を協議する。

- (1) 循環器疾患等部会
- (2) 胃がん部会
- (3) 子宮がん部会
- (4) 肺がん部会
- (5) 乳がん部会
- (6) 大腸がん部会
- (7) がん登録・評価等部会

(所掌事務)

第3条 協議会は、各部会における健康診査管理事業のあり方の検討及び報告の取りまとめを行う。

2 各部会の所掌事務は、指針の第3に規定する各部会の運営方針による。

(委員及び部会委員の委嘱等)

第4条 協議会及び部会委員は、次の各号に掲げる者のうちから健康福祉部長が委嘱又は任命し、それぞれ15名以内の委員をもって構成する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 石川県医師会が推薦する者
- (3) 関係団体が推薦する者
- (4) 行政機関の職員
- (5) その他部長が必要と認める者

(委員の任期)

第5条 協議会及び部会の委員の任期は、2年とする。

2 前項の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第6条 協議会には、会長及び副会長を各1名置く。

2 協議会の会長及び副会長は、健康福祉部長が指名する。

3 各部会には、部会長及び副部会長を各1名置く。

4 各部会の部会長及び副部会長は、健康福祉部長が指名する。

5 会長及び部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

6 副会長及び副部会長は、それぞれの会長及び部会長を補佐し、会長及び部会長

に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第7条 会議は、協議会にあつては会長が、部会にあつては各部会長が招集する。
また、委員の半数以上の出席をもって、会議は成立するものとする。

(庶務)

第8条 協議会、及び部会の庶務は、石川県健康福祉部健康推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会及び各部会の運営に関して必要な事項は会長及び部会長が定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成18年9月1日から施行する。

<資料8> 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会委員名簿

石川県生活習慣病検診等管理指導協議会

(任期:平成22年8月31日まで)

区 分	氏 名	職 名	備考
学 識 経 験 者	馬 淵 宏	金沢大学大学院医学系研究科脂質研究講座特任教授	会長
”	小坂 健夫	金沢医科大学教授(消化器外科治療学)	
”	井上 正樹	金沢大学医薬保健研究域医学系教授(分子移植学)	
”	佐川 元保	金沢医科大学教授(呼吸機能治療学)	
”	野口 昌邦	金沢大学附属病院乳腺科特任教授	
”	太田 哲生	金沢大学医薬保健研究域医学系教授(がん局所制御学)	
”	中川 秀昭	金沢医科大学教授(健康増進予防医学)	
石川県医師会推薦	浮田 俊彦	石川県医師会副会長	副会長
”	近藤 邦夫	石川県医師会理事	
その他の関係機関推薦	素谷 宏	石川県成人病予防センター理事長	
行 政 機 関	井上 直子	金沢市駅西福祉健康センター長	
”	伊川 あけみ	石川県保健所長会会長	

がん登録・評価等部会

(任期:平成22年8月31日まで)

区 分	氏 名	職 名	備考
学 識 経 験 者	中川 秀昭	金沢医科大学教授(健康増進予防医学)	部会長
”	矢野 聖二	金沢大学がん研究所教授	
”	尾島 茂樹	金沢大学人間社会研究域法学系教授	
”	越島 久弥	弁護士	副部会長
石川県医師会推薦	大平 政樹	石川県医師会理事	
”	東野 義信	石川県医師会理事	
”	上田 博	石川県医師会理事	
その他の関係機関推薦	喜多 一郎	金沢社会保険病院長	
”	素谷 宏	石川県成人病予防センター理事長	
行 政 機 関	井上 直子	金沢市駅西福祉健康センター長	
”	川島 ひろ子	石川県保健環境センター技監	
”	小林 勝義	石川県能登北部保健福祉センター所長	

提出用

石川県悪性新生物患者届出票 (秘)

事務局 使用欄	受付番号
	受付年月日

使事
務局

医療機関	名称		診療科	届出医師名	
貴院患者ID			性別	生年月日	
姓・名			1 男 2 女 3 他	0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 年 月 日	
住所					
診断名	左右 両側臓器のみ記載	1 右 2 左 3 両側		病理診断名 詳細をお願いします。	
	部位 臓器名と詳細部位	(例 胃U, 肺S2 など) 悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載			
診断情報	初発・再発	1 初発 2 再発・治療開始後 3 疑い例			
	診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (AFPやPSAなど。CEAやCA19-9は部位特異的ではない。) 5 臨床検査 (画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術肉眼所見を含む。) 6 臨床診断			
	診断日	自施設 診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	当該がん初回治療前の診断のための検査を行ったうち、がんと診断する根拠となった検査を行った日。検体採取日や検査日。
		初回 診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	前医で診断された場合や再発・治療開始後の場合は、初めて診断された日が分かればご記入ください。
発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他・不明(自覚症状も含む。)				
病期	病巣の拡がり	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明			
	UICC TNM	T	N	M	ステージ
	その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。			
治療法 貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください。	観血的治療	1 手術	1 有	2 無	
		2 体腔鏡的(胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有	2 無	
		3 内視鏡的	1 有	2 無	
		上記治療を総合した治療結果	1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明 4 姑息・対症療法 9 不詳		
	その他の治療	1 放射線	1 有	2 無	
		2 化学療法	1 有	2 無	
		3 免疫療法	1 有	2 無	
4 内分泌療法	1 有	2 無			
9 その他	1 有	2 無			
死亡年月日	0 西暦 1 平成	年 月 日			
備考欄					

記入・届出上の留意事項

項 目	内 容									
共 通 事 項	記入は、該当する番号に○をつけ、それ以外は具体的に記入してください。									
届 出 対 象 者	診断時に県内に住所を有する者を対象とします。									
届 出 対 象 疾 患	<p>① すべての原発性悪性新生物(上皮内がんを含む。)を対象とし、転移性のものは除きます。</p> <p>② 頭蓋内腫瘍は、原則的に良性・良悪性不詳の場合でも、届出対象とします。</p> <p>※ 他医からの既報の有無に関わらず、ご報告ください。</p> <p>※ 原発不明の悪性新生物の場合、「原発部位不明」としてご報告ください。 (例:「原発不明の転移性肝がん」は「原発部位不明、遠隔転移」として届出ください。)</p> <p>※ 同一の患者に複数の独立した腫瘍(多重がん)が診断された場合、それぞれの部位について別々の届出票を作成してください。</p>									
届 出 時 期	<p>自施設における初回診療終了時</p> <p>① 入院患者の場合：退院時</p> <p>② 外来患者の場合：治療終了時又は検査・治療のために他院に紹介した時</p> <p>③ 死亡患者の場合：死亡診断時</p>									
医 療 機 関	① 医 療 機 関 名称・診療科・届出医師名を記入してください。 届出内容について照会することがあります。									
患 者	② 貴 院 患 者 ID 患者(カルテ)番号を記入してください。 届出内容について照会することがあります。									
	③ 姓 ・ 名 姓・名を楷書で記入してください。									
	④ 性 別 該当する番号に○をつけてください。 手術や薬物などで性転換している場合には、「3 他」を選んでください。									
	⑤ 生 年 月 日 該当する年号に○をつけ、患者の生年月日を記入してください。									
	⑥ 住 所 診断時に患者が居住していた住所を番地まで詳細に記入してください。									
診 断 名	⑦ 左 右 両側臓器の場合のみ、該当する番号に○をつけてください。 両側に発生した症例がそれぞれ原発の場合は、多重がんとして別々の届出票に記入してください。									
	⑧ 部 位 当該がんが 原発したと考えられる臓器名と部位 を詳しく記入してください。 診断名は日本語とし、楷書で記入してください。 例：噴門食道接合部、胃前庭部、主気管支(分岐部)、直腸S状結腸移行部 など									
	⑨ 病 理 診 断 名 形態、性状、分化度、リンパ腫と白血病の由来細胞 (B-cell、T-cell等)を記入してください。 例：高分化腺癌、乳頭(状)腺癌(低分化)、粘液癌 など									
診 断 情 報	⑩ 初 発 ・ 再 発 該当する番号に○をつけてください。 「2 再発・治療開始後」は、自施設にて患者を診療した時点で、他施設にて当該がんの初回治療を開始した後、あるいは自施設・他施設を問わずに初回治療が完了した後(再発治療を含む。)の状態である場合とします。									
	<p>⑪ 診 断 根 拠 (複数回答可)</p> <p>患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となった検査に○をつけてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">「1 原発巣の組織診」</td> <td>原発巣からの病理組織診断によるがんの診断 (白血病の骨髄穿刺も含む。)</td> </tr> <tr> <td>「2 転移巣の組織診」</td> <td>転移巣からの病理組織診断によるがんの診断</td> </tr> <tr> <td>「3 細胞診」</td> <td>喀痰、尿検査、膈分泌物などによる剥離細胞診、TVブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過・吸引細胞診、洗浄細胞診を含む。 白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も含む。</td> </tr> <tr> <td>「4 部位特異的腫瘍マーカー」</td> <td>PSA、AFP、HCG、VMA、血清・尿中免疫グロブリン高値など</td> </tr> <tr> <td>「5 臨床検査」</td> <td>画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術下の肉眼的診断を含む。</td> </tr> </table>	「1 原発巣の組織診」	原発巣からの病理組織診断によるがんの診断 (白血病の骨髄穿刺も含む。)	「2 転移巣の組織診」	転移巣からの病理組織診断によるがんの診断	「3 細胞診」	喀痰、尿検査、膈分泌物などによる剥離細胞診、TVブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過・吸引細胞診、洗浄細胞診を含む。 白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も含む。	「4 部位特異的腫瘍マーカー」	PSA、AFP、HCG、VMA、血清・尿中免疫グロブリン高値など	「5 臨床検査」
「1 原発巣の組織診」	原発巣からの病理組織診断によるがんの診断 (白血病の骨髄穿刺も含む。)									
「2 転移巣の組織診」	転移巣からの病理組織診断によるがんの診断									
「3 細胞診」	喀痰、尿検査、膈分泌物などによる剥離細胞診、TVブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過・吸引細胞診、洗浄細胞診を含む。 白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も含む。									
「4 部位特異的腫瘍マーカー」	PSA、AFP、HCG、VMA、血清・尿中免疫グロブリン高値など									
「5 臨床検査」	画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術下の肉眼的診断を含む。									

診断情報	⑫ 診断日	<p>当該がん初回治療前の診断のために行った検査のうち、がんと診断する根拠となった検査を行った日を診断日として記入してください。 診断日は下記の表を参考に、「⑩診断方法」で最も番号の小さい検査を行った日を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">⑩初発・再発</th> <th rowspan="2">⑪診断方法</th> <th colspan="2">⑫診断日</th> </tr> <tr> <th>自施設診断日</th> <th>初回診断日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「1 初発」又は 「3 疑い例」</td> <td>「1 原発巣の組織診」 「2 転移巣の組織診」 「3 細胞診」</td> <td>検体採取日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「4 部位特異的腫瘍マーカー」 「5 臨床検査」</td> <td>検査日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「6 臨床診断」</td> <td>臨床診断した日 (入院日、初診日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「2 再発・治療開始後」</td> <td>「1～6」いずれでも</td> <td>自施設での当該腫瘍初診日</td> <td>他施設での診断日 (分かる範囲で記入)</td> </tr> </tbody> </table>	⑩初発・再発	⑪診断方法	⑫診断日		自施設診断日	初回診断日	「1 初発」又は 「3 疑い例」	「1 原発巣の組織診」 「2 転移巣の組織診」 「3 細胞診」	検体採取日		「4 部位特異的腫瘍マーカー」 「5 臨床検査」	検査日		「6 臨床診断」	臨床診断した日 (入院日、初診日)		「2 再発・治療開始後」	「1～6」いずれでも	自施設での当該腫瘍初診日	他施設での診断日 (分かる範囲で記入)
	⑩初発・再発	⑪診断方法			⑫診断日																	
自施設診断日			初回診断日																			
「1 初発」又は 「3 疑い例」	「1 原発巣の組織診」 「2 転移巣の組織診」 「3 細胞診」	検体採取日																				
	「4 部位特異的腫瘍マーカー」 「5 臨床検査」	検査日																				
	「6 臨床診断」	臨床診断した日 (入院日、初診日)																				
「2 再発・治療開始後」	「1～6」いずれでも	自施設での当該腫瘍初診日	他施設での診断日 (分かる範囲で記入)																			
⑬ 発見経緯	<p>当該がんが診断される発端となった状況について、該当する番号に○をつけてください。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>「1 がん検診」</td> <td>がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合</td> </tr> <tr> <td>「2 健診・人間ドック」</td> <td>健康一般に関する審査を目的とし、一連の検査を行う場合</td> </tr> <tr> <td>「3 他疾患の経過観察中」</td> <td>他疾患の経過観察中の諸検査にて発見された場合 (入院時のルーチン検査を含む。)</td> </tr> </tbody> </table>	「1 がん検診」	がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合	「2 健診・人間ドック」	健康一般に関する審査を目的とし、一連の検査を行う場合	「3 他疾患の経過観察中」	他疾患の経過観察中の諸検査にて発見された場合 (入院時のルーチン検査を含む。)															
「1 がん検診」	がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合																					
「2 健診・人間ドック」	健康一般に関する審査を目的とし、一連の検査を行う場合																					
「3 他疾患の経過観察中」	他疾患の経過観察中の諸検査にて発見された場合 (入院時のルーチン検査を含む。)																					
病期	⑭ 病巣の拡がり	<p>該当するいずれかに○をつけてください。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>「0 上皮内」</td> <td>がん病巣が上皮内に限局している場合</td> </tr> <tr> <td>「1 限局」</td> <td>がんが原発した臓器、または組織内に限局している場合</td> </tr> <tr> <td>「2 所属リンパ節転移」</td> <td>原発臓器のリンパ節には転移が見られるが、それ以上広がっていない場合</td> </tr> <tr> <td>「3 隣接臓器浸潤」</td> <td>原発臓器から隣接する臓器、または組織に直接浸潤がある場合</td> </tr> <tr> <td>「4 遠隔転移」</td> <td>遠隔リンパ節・遠隔臓器への転移(肝転移・肺転移など)がある場合 播種性転移(がん性腹膜炎・胸膜炎など)がある場合 白血病、リンパ肉腫など全身性の場合</td> </tr> </tbody> </table>	「0 上皮内」	がん病巣が上皮内に限局している場合	「1 限局」	がんが原発した臓器、または組織内に限局している場合	「2 所属リンパ節転移」	原発臓器のリンパ節には転移が見られるが、それ以上広がっていない場合	「3 隣接臓器浸潤」	原発臓器から隣接する臓器、または組織に直接浸潤がある場合	「4 遠隔転移」	遠隔リンパ節・遠隔臓器への転移(肝転移・肺転移など)がある場合 播種性転移(がん性腹膜炎・胸膜炎など)がある場合 白血病、リンパ肉腫など全身性の場合										
	「0 上皮内」	がん病巣が上皮内に限局している場合																				
	「1 限局」	がんが原発した臓器、または組織内に限局している場合																				
「2 所属リンパ節転移」	原発臓器のリンパ節には転移が見られるが、それ以上広がっていない場合																					
「3 隣接臓器浸潤」	原発臓器から隣接する臓器、または組織に直接浸潤がある場合																					
「4 遠隔転移」	遠隔リンパ節・遠隔臓器への転移(肝転移・肺転移など)がある場合 播種性転移(がん性腹膜炎・胸膜炎など)がある場合 白血病、リンパ肉腫など全身性の場合																					
⑮ UICC TNM	<p>UICCの分類に従い、分かる範囲で記入してください。 分類の詳細は、「TNM悪性腫瘍の分類(第6版)-日本語版」(L.H.Sobin編 金原出版株式会社)をご参照ください。</p>																					
⑯ その他	<p>深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記入してください。</p>																					
治療法	⑰ 観血的治療	<p>貴院における初回の一連の治療について、すべて記入してください。</p>																				
	⑱ その他の治療	<p>貴院における初回の一連の治療について、すべて記入してください。 「9 その他」は、TAE・PEIT・温熱療法・レーザー治療等を行った場合は「1 有」に、行っていない場合は「2 無」に○をつけてください。</p>																				
死亡年月日	⑲ 死亡年月日	<p>患者が死亡した場合、該当する年号に○をつけ、死亡年月日を記入してください。</p>																				
備考欄	⑳ 備考欄	<p>連絡欄としてご活用ください。 患者の紹介先、病状、治療等参考になる事項がありましたら、記入してください。 (病状等の詳細について、照会することがあります。)</p>																				

<資料10>

平成18年度石川県がん情報管理事業におけるがん登録届出医療機関名及び届出数

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金 沢	浅ノ川総合病院	89
	浅野内科医院	1
	石川県済生会金沢病院	116
	石川県成人病予防センター	188
	石川県予防医学協会	58
	石川県立中央病院	21
	うきた産婦人科医院	1
	うきた病院	1
	おぎの胃腸科クリニック	38
	大平胃腸科外科クリニック	5
	丘村クリニック	1
	映寿会みらい病院	41
	金沢医療センター	70
	金沢社会保険病院	118
	金沢市立病院	117
	金沢大学医学部附属病院	843
	金沢西病院	23
	斉藤内科倉西外科医院	3
	半田内科医院	7
	ふたば乳腺クリニック	59
南ヶ丘病院	20	
ヤザキ外科医院	1	
加 賀	板谷医院	28
	加賀市民病院	246
	蓮井医院	3
	山下医院	5

地区	医療機関名	届出数
小 松	小松市民病院	332
	神足産婦人科	1
	森田病院	6
	やわたメディカルセンター	7
能 美	能美市立病院	2
	芳珠記念病院	77
白 山 ののいち	松南病院	1
	新村病院	19
	野々市産婦人科医院	1
河 北	内灘温泉病院	2
	金沢医科大学病院	582
	北谷クリニック	17
	二ツ屋病院	3
	山崎外科胃腸科医院	3
羽 咋	西村内科・胃腸科クリニック	2
	村上内科産婦人科医院	1
七 尾	円山病院	7
	恵寿総合病院	75
	公立能登総合病院	134
能登北部	伊藤医院	9
	市立輪島病院	35
	升谷病院	7
	山岸医院	8
合 計		3,434

【参考:平成17年度届出数 2,654件】

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので、平成17年度に診断されたとしても、平成18年度中に届出票が提出されると平成18年度分の報告となる。

石川県におけるがん登録
(平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計)

平成22年3月発行

発行 石川県健康福祉部健康推進課
石川県金沢市鞍月1丁目1番地
電話 076(225)1448

集計・解析 石川県保健環境センター
石川県金沢市太陽が丘1丁目11番地
電話 076(229)2011